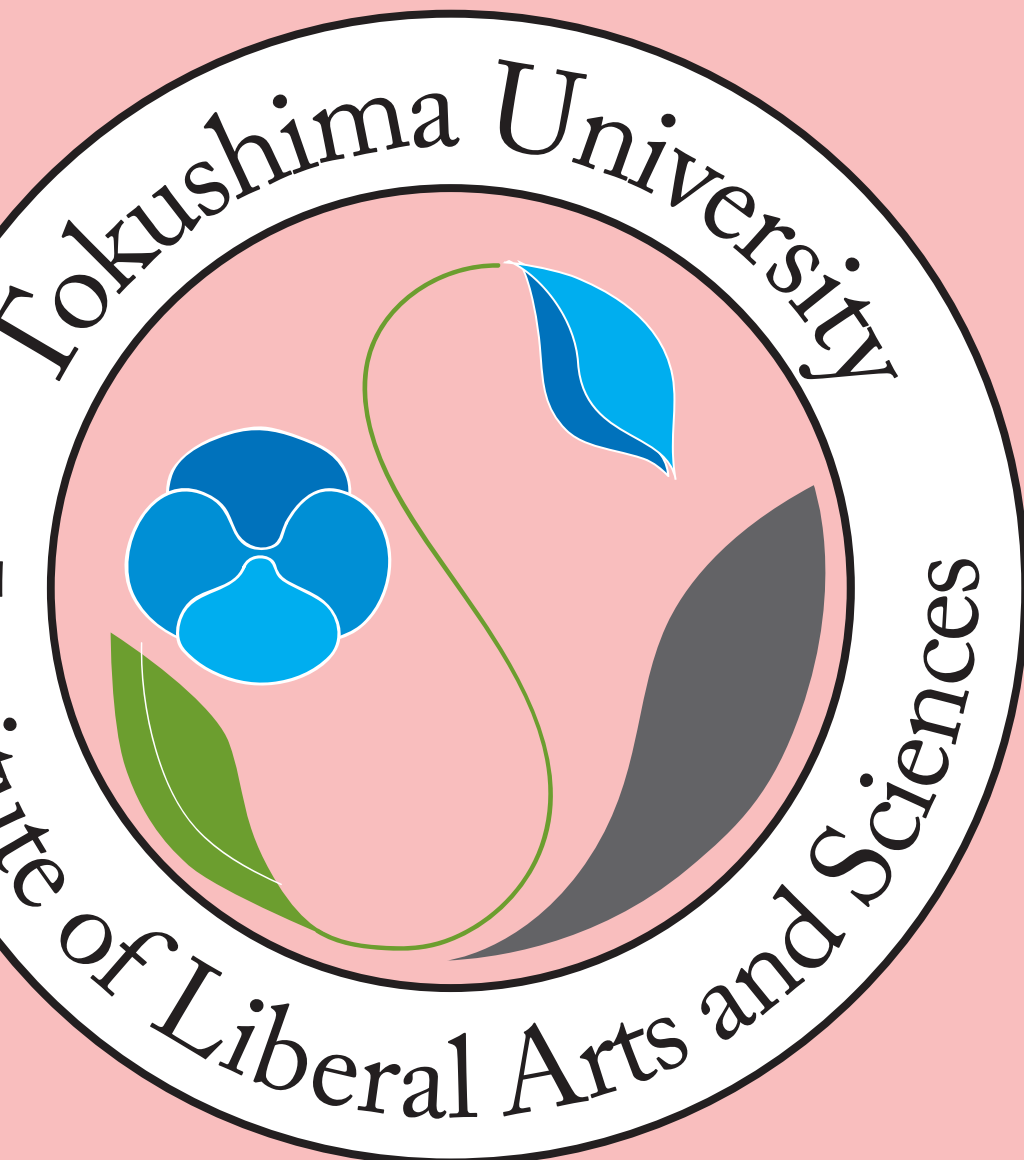


徳島大学教養教育

教養教育履修の手引

2025 (令和7) 年度



は じ め に

徳島大学に入学おめでとうございます。

みなさんはこれまで、徳島大学のこと、入学する学部で何を学べるのか、いろいろ調べたことと思います。大学では専門学部で専門的なことを学びます。専門的な学びはみなさんが思い描く将来の仕事に直結しやすいため、専門分野だけをイメージして大学に入学した人が多いと思います。そのため、専門的な学びを支える「教養」を身に付けることは、これまであまり考えたことがないかもしれません。みなさんが「教養」を身に付けるために大学が行っているのが「教養教育」です。

教養は英語で Liberal Arts (リベラル・アーツ) と言います。教養を身に付けることは、自分で考え表現する、自分で判断し行動する「自由」を獲得することです。それは、すべての学びの原点であり、将来どんな専門分野で学ぶにせよ、不可欠な学びです。自分の知らないことを自ら分け入って知るといふこと、自分で考え自分で方向を見つけること、それが教養の力です。

徳島大学は、教養教育の多種多様な授業を提供しています。みなさんの知的好奇心を大いに満足させてくれる授業が開講されているはずです。自らの意思で未知の世界に分け入り、知的な冒険をしてください。身に付けた教養は、専門的な学びを支えることのみならず、社会人になったときの土台にもなるはずです。それは、年月を経ても新たなものにチャレンジしていく力になるでしょう。

この「教養教育履修の手引」をしっかりと読んで、大学での最初の学びをスタートしてください。みなさんの最初の学びを心から応援します。

掲 示 の 確 認

学生のみなさんへの連絡は、すべて教務システム及び掲示により行います。少なくとも1日1回は、教務システムと教養教育掲示板（教養教育4号館1階）を確認するようにしてください。

教養教育院のHP

「履修の手引」、「時間割」、「授業概要（シラバス）」は、教養教育院のホームページ（HP）でも見ることができます。

<https://www.las.tokushima-u.ac.jp>

2025（令和7）年度 教養教育関係行事予定

年 月 日	学 年 暦	教養教育院関係行事予定
【2025年(令和7年)】 4月1日(火)～9日(水)		新入生オリエンテーション SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～
4月2日(水) ～6日(日)24:00		Webによる履修登録開始 Webによる履修登録締切
4月7日(月)	【入学式】	
4月10日(木)		前期授業開始
4月9日(水) ～10日(木)12:00		第1回履修登録変更期間
4月14日(月) ～15日(火)9:00		第2回履修登録変更期間
4月16日(水) ～23日(水)18:00		第3回履修登録変更期間
4月23日(水)18:00		前期履修登録変更締切
5月17日(土)		英語統一試験 (TOEIC-IP、TOEFL ITP) 3年生
5月24日(土)		〃 1年生
6月7日(土)		〃 追試験
7月23日(水)～8月5日(火)		前期試験期間及び総括授業期間
8月6日(水)～8日(金)		補講期間
8月18日(月)		追試験願出締切
8月19日(火)		Webによる前期試験成績通知完了日
9月1日(月)～5日(金)		追試験・再試験期間
9月12日(金)		Webによる追試験・再試験の成績通知完了日
9月18日(木) ～22日(月)9:00		Webによる履修登録開始 Webによる履修登録締切
9月24日(水) ～25日(木)9:00		第1回履修登録変更期間
9月26日(金) ～30日(火)9:00		第2回履修登録変更期間
10月1日(水)		後期授業開始
10月1日(水) ～15日(水)18:00		第3回履修登録変更期間
10月15日(水)18:00		後期履修登録変更締切
10月25日(土)～26日(日)	【大学祭 (蔵本)】	
11月1日(土)～2日(日)	【大学祭 (常三島)】	
11月2日(日)	【開学記念日】	
【2026年(令和8年)】 1月16日(金)	【大学入学共通テスト 試験場設営のため休業日】	
1月17日(土)～18日(日)	【大学入学共通テスト】	
1月28日(水)～2月10日(火)		後期試験期間及び総括授業期間
2月12日(木)～13日(金)		補講期間
2月16日(月)		追試験願出締切
2月17日(火)		Webによる後期試験成績通知完了日
2月25日(水)～26日(木)	【一般選抜 (前期日程)】	
2月27日(金)～3月5日(木)		追試験・再試験期間
3月6日(金)		Webによる追試験・再試験の成績通知完了日
3月12日(木)	【一般選抜 (後期日程)】	
3月23日(月)	【卒業式・修了式】	

2025（令和7）年度 学年暦（教養教育）

4

日	月	火	水	木	金	土
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
...	...	1	2	3	4	5
6	7	8	9	①10	①11	12
13	①14	①15	①16	②17	②18	19
20	②21	②22	②23	③24	③25	26
27	③28	②9	③30

5

...	火③1	月④2	③
④	⑤	⑥	④7	④8	④9	10
11	⑤12	④13	⑤14	⑤15	⑤16	17
18	⑥19	⑤20	⑥21	⑥22	⑥23	24
25	⑦26	⑥27	⑦28	⑦29	⑦30	31

6

1	⑧2	⑦3	⑧4	⑧5	⑧6	7
8	⑨9	⑧10	⑨11	⑨12	⑨13	14
15	⑩16	⑨17	⑩18	⑩19	⑩20	21
22	⑪23	⑩24	⑪25	⑪26	⑪27	28
29	⑫30

7

...	...	⑪1	⑫2	⑫3	⑫4	5
6	⑬7	⑫8	⑬9	⑬10	⑬11	12
13	⑭14	⑬15	⑭16	⑭17	⑭18	19
20	⑮21	⑭22	⑮23	⑮24	⑮25	26
27	⑯28	⑯29	⑯30	⑯31

8

...	⑰1	2
3	⑱4	⑱5	6	7	8	9
10	⑲11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31
コマ数	16	16	16	16	16	

9

...	⑳1	㉑2	㉒3	㉓4	㉔5	6
7	㉕8	9	10	11	12	13
14	㉖15	16	17	18	19	20
21	22	㉗23	24	25	26	27
28	29	30

10

日	月	火	水	木	金	土
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
...	①1	①2	①3	4
5	①6	①7	②8	②9	②10	11
12	⑬13	②14	月②15	③16	③17	18
19	③20	③21	③22	④23	④24	25
26	④27	④28	④29	⑤30	⑤31	...

11

...	1
2	③	⑤4	⑤5	月⑤6	⑥7	8
9	⑥10	⑥11	⑥12	⑥13	⑦14	15
16	⑦17	⑦18	⑦19	⑦20	⑧21	22
⑳23	㉑24	⑧25	⑧26	⑧27	⑨28	29
30

12

...	⑧1	⑨2	⑨3	⑨4	⑩5	6
7	⑨8	⑩9	⑩10	⑩11	⑪12	13
14	⑩15	⑪16	⑪17	⑪18	⑫19	20
21	⑪22	⑫23	⑫24	25	26	27
28	29	30	31

1

...	①	2	3
4	5	6	7	⑫8	⑬9	10
11	⑬12	月⑫13	⑬14	⑬15	16	17
18	⑬19	⑬20	⑭21	⑭22	⑭23	24
25	⑭26	⑭27	⑮28	⑮29	⑮30	31

2

1	⑮2	⑮3	⑮4	⑮5	⑮6	7
8	⑮9	⑮10	⑲11	12	13	14
15	⑰16	17	18	19	20	21
22	㉑23	24	25	26	㉒27	28
コマ数	16	16	16	16	16	

3

1	㉓2	㉔3	㉕4	㉖5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	㉗20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

休業期間
 祝・休・土・日
 試験期間・総括授業
 追・再試期間
 追・再試予備期間
 補講期間

※日付横の○内の数字は授業回数を示す。

目 次

第1章 徳島大学における学びについて	1
Ⅰ. 教養教育の理念・目標	1
Ⅱ. 大学での学びの全般的な注意	1
第2章 教養教育の履修全体にわたる事項	3
Ⅰ. 単位の基準	3
Ⅱ. 教養教育の開設授業科目	4
Ⅲ. 特別な単位の認定	8
1. 入学前の既修得単位の認定	8
2. 「放送大学」の修得単位の認定	8
3. 外国語技能検定試験による単位の認定	9
4. 留学による単位の認定	10
5. 特別な単位の認定に関する注意事項	11
Ⅳ. 授業の履修手続き	11
1. 履修登録の期間と方法	12
2. 履修登録の変更について	15
3. 履修登録確認について	16
Ⅴ. 授業を受ける	16
1. 授業の場所	16
2. 授業の時間帯	17
3. 授業のクラス分け	17
4. 授業を受ける態度	17
5. オフィスアワー・オンラインオフィスアワーについて	18
6. 気象警報等が徳島県徳島市に発表された場合の授業の休講	18
7. 授業への出席について	18
Ⅵ. 試験及び成績の評価	18
1. 受験資格	18
2. 学期末試験の期間	18
3. 試験の受験心得	18
4. 成績の評価	19
5. 成績等に関する疑義	19
6. 不正行為について	19
7. 成績の通知	20
8. 追試験	20
9. 再試験	21
10. 再履修について	21
Ⅶ. 教養教育の授業に関する付随的な事項	21
1. Grade Point 評価	21
2. 科目ナンバリング	22
3. 授業参観について	23
4. 教養教育の授業公開について	23
5. 理工学部 JABEE (日本技術者教育認定機構) について	23
6. 学生による授業評価アンケートについて	23
7. 「eラーニング科目 (知プラe)」について	24
8. メディア授業科目について	24
9. データサイエンス学修プログラムについて	24
第3章 学部・学科別の履修方法	28
① 総合科学部	28
② 医学部	32
1. 医学部医学科	32
2. 医学部医科栄養学科	34
3. 医学部保健学科	36
① 医学部保健学科看護学専攻	36
② 医学部保健学科放射線技術科学専攻	38

③ 医学部保健学科検査技術科学専攻	40
③ 歯学部	42
1. 歯学部歯学科	42
2. 歯学部口腔保健学科	44
④ 薬学部	46
⑤ 理工学部	48
1. 理工学部理工学科数理科学コース、自然科学コース、社会基盤デザインコース	48
2. 理工学部理工学科機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、 知能情報コース、光システムコース	50
3. 理工学部理工学科医光／医工融合プログラム	52
⑥ 理工学部夜間主コース	54
1. 理工学部理工学科社会基盤デザインコース	54
2. 理工学部理工学科機械科学コース、応用化学システムコース、電気電子システムコース、 知能情報コース	56
⑦ 生物資源産業学部	58
⑧ 留学生	60
第4章 語学マイレージ・プログラム	61
第5章 教養教育 開講授業科目・授業題目・担当者一覧（2025年度）	81
第6章 規則集	95
1. 徳島大学教養教育履修規則	95
2. 徳島大学語学マイレージ・プログラム実施要領	98
第7章 教養教育に関わる学生生活	101
1. 学生窓口と取扱時間	101
(1) 教養教育履修学生の窓口事務	101
(2) 2年生以降の窓口事務	101
(3) 取 扱 時 間	101
2. 学生への連絡方法（掲示及び教務システム）	101
3. 学 生 証	102
4. 各種証明書の発行	102
5. 講義室の使用	104
6. 授 業 料	104
7. 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付奨学金）	104
8. 奨 学 金	105
9. 健康管理関係	105
10. 課外活動その他学生生活に関すること	105
11. 交通事故の防止	105
12. そ の 他	105
(1) 学生の呼び出し等について	105
(2) 郵便物について	105
(3) 喫 煙 について	105
(4) 遺失物及び拾得物について	106
(5) 交通事故・盗難について	106
(6) 携帯電話等の使用について	106
(7) エレベーターの使用について	106
(8) そ の 他	106
第8章 常三島キャンパス	108
総合科学部建物配置図（教養教育棟を含む）	108
理工学部建物配置図	108
教養教育4、5、6号館	109
総合科学部1、2、3号館	110
理工学部共通講義棟（K棟）	110
総合運動場	111

第 1 章

徳島大学における学びについて

- I. 教養教育の理念・目標 1
- II. 大学での学びの全般的な注意 1

用語の説明

「履修」：受きたい授業が決まったら、登録の作業を行い受講の手続きをします。授業を受け、試験やレポートを提出して、合格すればその授業の単位が修得できます。この一連の流れを履修といいます。

「履修要件」：自分の所属する学部学科が、履修規則によって定めた進級や卒業のため各々の科目において最低限修得しなければならない単位の条件を履修要件といいます。自分の所属する学科の教養教育の履修要件については、学部・学科別の履修方法（p.28～p.60）で説明しています。

「単位」：単位とは、予習・復習に時間をかけて、1時間半の授業を受け、試験やレポートなどによって成績の評価を受けて合格した場合に認定されるものです。授業によって、1単位、2単位などのように決まっています。時間割や、授業概要（シラバス）に示されています。詳しくは「単位の基準」（p.3）で説明しています。

第1章 徳島大学における学びについて

I. 教養教育の理念・目標

徳島大学では、教養教育の理念と3つの目標を定め、学生の皆さんの学びへの意欲と、知識、能力を高めようとしています。

<理念>

徳島大学における教養教育は、幅広い学問領域を学ぶことを通じて、広い視野を持ち、俯瞰的に物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた人間性に富む人格の形成を促すとともに、自律して未来社会の諸問題に立ち向かう「進取の気風」を身につけ、「持続可能な社会づくり」を担うための学問的基盤を形成することを理念としています。

<3つの目標>

1. 大学での学びに適応し、主体的に知的訓練に取り組む態度を身につけて、社会人として必要な豊かな人間性と高い倫理観を修得する。
2. 諸科学の基本的思考法や、情報処理能力、言語運用能力などを身につけて、複合的な視点から専門分野を理解するために必要な基礎知識を修得する。
3. グローバル化社会に対応した国際感覚と地域社会のさまざまな課題を主体的に捉える態度を身につける。

II. 大学での学びの全般的な注意

1. 資料に目を通す

大学では、自分で授業を選び、自主的に学んでいく姿勢を持たなくてはなりません。

本学の授業科目には教養教育院が行う教養教育科目と皆さんの所属する学部が行う専門教育科目があります。

教養教育院が行う教養教育科目については、次の資料が用意されています。

- ・『教養教育履修の手引（本冊子）』
教養教育で行われる授業を履修するための重要な事項が説明されています。
- ・『教養教育授業概要（シラバス）』（Webから閲覧します）
教養教育で行われるそれぞれの授業の概要が説明されています。
- ・『教養教育時間割』
前・後期別に作成されています。再履修の方法、科目の読替についても確認できます。
- ・『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』
教養教育のカリキュラムや授業の登録方法などが分かりやすく説明されています。

また、皆さんの所属する学部の専門教育科目などの授業については、次の資料が用意されています。

- ・『学部学科の履修の手引』
- ・『専門科目の時間割』
- ・『専門科目の授業概要（シラバス）』

皆さんは、これらの資料をもとにして、それぞれ所属する学部学科によって決められた教養教育科目と専門教育科目の単位を修得し、卒業することになります。

2. 時間割を作る

大学では、各自が自由に授業を選ぶため、ひとりひとりが異なる「時間割」を作成することになります。

授業には、学部ごとに必ずとらなければならない必修科目と学生が選択を行う選択科目があります。まず、必修科目から時間割を埋めていく手順となります。SIH 道場などの集中講義も忘れないように時間割に加えてください。

詳しくは、『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』にある「授業時間割表の作り方」に従って時間割を作成してください。

3. 授業の登録

時間割が決まったら、パソコンやタブレット等で教務システム（Web 及びスマートフォンアプリ）によって受講科目を登録します。その方法については、『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』に詳しく説明していますので、そちらを見てください。Web 履修登録は、前期は4月6日(日)24時まで、後期は9月22日(月)9時まで（理工学部夜間主コースも同じ）に登録してください。なお、履修登録数が受講定員を超過した場合は、抽選による受講調整を行います。抽選があった場合、結果は教務システムに反映されます。抽選がある受講科目を登録した学生は必ず教務システムで結果を確認するようにしてください。

4. 相談窓口

教養教育に関して分からないことがあったら、教養教育4号館1階の教育支援課教養教育係に相談してください。それぞれの学部にある学務（教務）係や学部・学科の教務委員やクラス担任も、履修相談などに応じています。

また、各授業担当教員のオフィスアワーの時間や場所は、『教養教育授業概要（シラバス）』の各授業の概要の中に記載されています。

5. 日々のお知らせ

休講、補講、教員からの連絡等は、教務システムからメール配信される他、manaba（マナバ）、掲示板等により知ることができます。教養教育に関するお知らせ等は、教務システムからの配信の他、教養教育4号館1階の掲示板及び電子掲示板に掲示します。毎日少なくとも一回は、教務システム、manaba、教養教育掲示板・電子掲示板を確認するようにしてください。確認を怠ると重要な情報を見逃すことがあります。

授業が、教員の出張のためや気象状況などで休講になることがあります。休講情報は、教務システムからメール配信されます。

6. その他

大学等（本学を含む。）を卒業又は中途退学して、本学に入学した学生は、入学前の既修得単位を本学の単位に認定できる制度がありますので、期日内にその手続きをしてください。

説明会を4月2日(水)18時からオンラインで開催しますので、既修得単位の認定を申請する学生は、必ず出席してください。前日までに事前予約が必要です。詳しくは、「第2章 Ⅲ. 1. 入学前の既修得単位の認定」(p.8)を参照ください。

第 2 章

教養教育の履修全体にわたる事項

I. 単位の基準	3
II. 教養教育の開設授業科目	4
III. 特別な単位の認定	8
1. 入学前の既修得単位の認定	8
2. 「放送大学」の修得単位の認定	8
3. 外国語技能検定試験による単位の認定	9
4. 留学による単位の認定	10
5. 特別な単位の認定に関する注意事項	11
IV. 授業の履修手続き	11
1. 履修登録の期間と方法	12
2. 履修登録の変更について	15
3. 履修登録確認について	16
V. 授業を受ける	16
1. 授業の場所	16
2. 授業の時間帯	17
3. 授業のクラス分け	17
4. 授業を受ける態度	17
5. オフィスアワー・オンラインオフィスアワーについて	18
6. 気象警報等が徳島県徳島市に発表された場合の 授業の休講	18
7. 授業への出席について	18
VI. 試験及び成績の評価	18
1. 受験資格	18
2. 学期末試験の期間	18
3. 試験の受験心得	18
4. 成績の評価	19
5. 成績等に関する疑義	19
6. 不正行為について	19
7. 成績の通知	20
8. 追試験	20
9. 再試験	21
10. 再履修について	21
VII. 教養教育の授業に関する付随的な事項	21
1. Grade Point 評価	21
2. 科目ナンバリング	22
3. 授業参観について	23
4. 教養教育の授業公開について	23
5. 理工学部 JABEE（日本技術者教育認定機構）について	23
6. 学生による授業評価アンケートについて	23
7. 「eラーニング科目（知プラ e）」について	24
8. メディア授業科目について	24
9. データサイエンス学修プログラムについて	24

第2章 教養教育の履修全体にわたる事項

I. 単位の基準

1単位あたりの学修時間は大学設置基準第21条、徳島大学学則第30条で45時間を標準とすることが定められています。これに従って、授業ごとに単位数が決められていますが、1回の授業について、講義については2時間の予習と復習が、演習、実験、実習については1時間の予習又は復習が必要です。各授業科目に対する単位数は、時間割表とシラバスに次のように数字と記号で表されています。なお、ウェルネス総合演習は、授業名に演習がついていますが、単位の考え方は講義と同じです。また、外国語については、単位の考え方は原則演習ですが、発信型英語は講義の扱いとなります。

単位数の表記の例（原則1学期15回の授業に対する単位数）

	時間割での表記の仕方	履修すると与えられる単位数	
教養科目群	1 L	1単位	
	2 L	2単位	
創成科学科目群	1 L	1単位	
	2 L	2単位	
	1 S	1単位	
	2 S	2単位	
基礎科目群	SIH 道場	1単位（8回の授業相当）	
	高大接続科目	2単位 ※	
	基礎科目	1単位	
		2 L	2単位
	実験	2 E	2単位（4講時の実験の授業）
	情報科学	2 L	2単位
外国語科目群	外国語の科目	1単位	
	発信型英語	2 L	2単位

L、S、Eは授業形式であり、Lは講義、Sは演習、Eは実験を表しています。

※高大接続科目の修得単位について

- ・総合科学部、医学部医科栄養学科、医学部保健学科看護学専攻、医学部保健学科検査技術科学専攻及び歯学部口腔保健学科の学生が高大接続科目の「数学」の単位を修得したときは、教養科目群の「自然と技術」の単位に充てることができます。
- ・薬学部の学生が高大接続科目の「物理学、生物学」を修得したときは、1授業題目（2単位）まで、教養科目群の「自然と技術」に含めることができます。ただし、大学入学共通テスト出題教科「理科」で選択しなかった科目に限ります。
- ・生物資源産業学部の学生が高大接続科目の「数学、物理学、化学、生物学」の単位を修得したときは、1授業題目（2単位）まで教養科目群の「自然と技術」の単位に充てることができます。ただし、入学時の選抜方法によって「自然と技術」に充てることができる授業題目が異なるので注意が必要です。
- ・医学部医学科及び歯学部歯学科では、高大接続科目「物理学、化学、生物学」のいずれか1授業題目（2単位）を必修の科目としています。

上記以外の学部学科は、卒業に必要な単位と認められませんので注意してください。詳細は、「第3章 学部・学科別の履修方法」の頁を参照してください。

高大接続科目の「英語」を修得したときは、卒業に必要な単位には含まれませんが、語学マイレージ・プログラムのマイレージポイントの一部に算入されます。

II. 教養教育の開設授業科目

教養教育では、開設されている授業科目を4つの科目群に分けています。各科目群にはいくつかの授業科目があり、そしてそれぞれの授業科目のもとに複数の授業題目が設けられています。

次の科目表を参照してください。

科 目 表

授業科目の区分		授 業 題 目
科 目 群	授 業 科 目	
教養科目群	歴史と文化 人間と生命 生活と社会 自然と技術 ウェルネス総合演習	} 個々の授業題目 ウェルネス総合演習
創成科学科目群	グローバル科目 イノベーション科目 地域科学科目 医療基盤科目	} 個々の授業題目
基礎科目群	SIH 道場 高大接続科目 基礎数学 基礎物理学 基礎物理学実験 基礎化学 基礎化学実験 基礎生物学 基礎生物学実験 情報科学	SIH 道場～アクティブ・ラーニング 入門～ } 個々の授業題目 情報科学入門
外国語科目群	英語 初修外国語	基盤英語、主題別英語、発信型英語 ドイツ語入門、ドイツ語初級、フランス語入門、フランス語初級、中国語入門、中国語初級※

上記の他、外国人留学生に対しては、日本事情及び日本語があります。

※ドイツ語、フランス語、中国語は開講形態（ペアクラス）によって、授業題目にⅠ、Ⅱの枝番がつくことがあります。

学生の皆さんは、所属する学部学科によって定められている履修要件に従って、それぞれの科目群から、授業科目・授業題目を選んで履修し、卒業に必要な単位を満たす必要があります。

各科目群及び授業科目の概要は次のとおりです。

1. 教養科目群

人間、文化、社会、自然に関わる幅広い学問領域から、「ものの考え方・捉え方」を学び、様々な知見を自らの分野に援用し、応用できる感性・知性の修得を目指す科目です。

次の5つの授業科目で構成されています。

1) 歴史と文化

- ・人文科学分野（歴史学、思想、倫理学、文学、芸術、考古学、地理学、文化人類学など）を中心とした授業で構成されています。
- ・これらの授業では、人間が創造してきた文化や社会の特質、またはそれらの変遷等を学びます。
- ・様々な地域、時代、分野の人間の営みを学ぶことで、これからの世界で生きていくために必要な、「物事を複眼的に捉える知」を身につけます。

2) 人間と生命

- ・人間の思考・行動と身体・生命に関わる科学的・倫理的課題についての思考を深める科目です。
- ・生命についての基礎的な知識を得て、生命に関わる問題への適切な判断や生命倫理、倫理的であることの意味などの根元的な問を思索することがテーマとなり、科学リテラシーと人間・生命の理解を統合的に考える科目です。
- ・人文科学分野（哲学、倫理学など）、行動科学分野（心理学、教育学など）、生命科学分野（生物学、生命科学など）を含む複合的な分野の授業で構成されています。

3) 生活と社会

- ・社会の現象の理解、人間の集団の特性、社会の成り立ち、それを律する法律、社会を動かしている経済、政治、国際的関わりなどについての理解を深めます。
- ・社会科学分野（法律学、政治学、経済学、経営学、社会学など）を中心として、医学分野、工学・技術分野などへ裾野を広げた授業で構成されています。

4) 自然と技術

- ・自然の構造や成り立ち、物質の反応の有様、現象のあり方と科学技術の進歩について理解し、さらには科学技術の社会生活への影響などについて考える科目です。
- ・技術が社会を動かす時代でもあり、技術の基盤、自然についての理解、技術と環境との調和など幅広く科学リテラシーを身につけます。
- ・自然科学に工学、医学、歯学、薬学等の応用的な分野を含めることで、現代的な課題を広く学びます。

各学部学科において、履修する単位が指定されていますので、「第3章 学部・学科別の履修方法」に従って、それぞれの授業科目に属する授業題目を履修し、必要な単位を揃えてください。

また、次のことに注意して履修してください。

- ア 修得済みの同じ授業題目の授業を再度履修することはできません。
- イ 各授業科目において卒業に必要な単位として認められるのは6単位までです。
※ただし、単位数の上限を別に定めている場合があるため、各学部・学科別の履修条件に従い履修してください。

5) ウェルネス総合演習

健康で生きがいと人間性に満ちた心身の健全性を意味する「ウェルネス」について、スポーツ、生活科学、文化をテーマにしながらか講義と演習、実習により総合的に学び、考えます。

ウェルネス総合演習は2単位までしか卒業の単位に含まれません。

2. 創成科学科目群

現代社会の諸問題を学び、それらの課題を主体的に捉える態度を身につけます。

次の4つの授業科目で構成されています。

1) グローバル科目

異なる価値観や文化を知り、それらを認め合い、さらに積極的なコミュニケーションを図るグローバル人材として必要なことを学びます。

2) イノベーション科目

さまざまな領域における創造的思考と、それを実現するための「ものづくり・ことづくり」や「協働推進・プロジェクト推進」のための技法を学びます。

3) 地域科学科目

地域問題を、自らの課題として受け止められる公共の精神と、地域における組織人として必要な資

質を得ることを目指して、地域創生、地域貢献の意義などの体験的学修も含めて学びます。

4) 医療基盤科目

横断的な医療分野の基盤教育と汎用的技能を学びます。専門領域における社会的意義を理解し、チーム医療、健康社会づくり等のスキルの獲得を目指します。

3. 基礎科目群

大学での専門分野を学ぶ前提となる基礎学力を修得します。

次の授業科目で構成されています。

1) S I H道場

専門分野の早期体験、ラーニングスキルの習得、学習の振り返り等の主体的な学修習慣を身につけることなどを学びます。全学部学科で1単位が必修の科目です。

2) 高大接続科目

「数学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「英語」が開講されています。

「数学」、「物理学」、「化学」、「生物学」では、高校レベルの数学、物理学、化学、生物学を勉強しながら、身のまわりの出来事を理解し、さらには基礎数学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学への繋がりを学びます。

「英語」では、高校までの英語学習を振りかえり、大学での学びに備え、自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立することを目指します。

3) 基礎数学、基礎物理学、基礎物理学実験、基礎化学、基礎化学実験、基礎生物学、基礎生物学実験

学部・学科あるいはコース、専攻に応じて指定される必修の科目です。専門分野での学びに不可欠な基礎学力を身につけます。基礎知識の習得を目指した講義と、知識と実技の連携を目指す実験・実習が準備されています。

4) 情報科学

情報の取り扱いやその倫理などの情報リテラシーの基本に加え、コンピュータの活用方法を学びます。また数理・データサイエンス・AIの基礎を学びます。

4. 外国語科目群

言語はそれを話す人の思考様式や物事の認識方法がある程度規定します。本科目群では英語や初修外国語の学修を通じて、各言語の運用能力を養成し、母語とは異なる言語の世界への理解を深めることを目指します。

次の授業科目で構成されています。

1) 英語

基礎英語力及び英語コミュニケーション力を養い、十分な言語運用力と自律学修スキルを取得します。

<英語の区分>

英語は、基盤英語(B: Basic English)、主題別英語(T: Thematic English)、発信型英語(C: Communicative English)で構成されています。

基盤英語(B): 高校までに身につけた英語力の充実を図り、大学で自律的に学修を続けるための基礎力をつくります。

主題別英語(T): 科学・時事・文学・文化などのコンテンツを英語で学び、基盤英語で身につけた英語力と自律学修スキルのさらなる向上を図ります。

発信型英語(C): 自信を持って、英語でコミュニケーションをするための話す力と書く力を身につけます。

基盤英語と主題別英語は1授業で1単位です。発信型英語は、1授業で2単位の授業です。

各学部学科の履修要件に従って、4単位から8単位までを履修することになります。各学部学科に応じて履修のパターンが用意されています。

また、次のことに注意して履修してください。

ア 基盤英語(B)の履修は上限2単位です。

ただし、医学部医学科及び薬学部は上限1単位です。

イ 基盤英語(B)の再履修は、次の期の主題別英語(T)を余分にとることで代替可能です。

ウ 主題別英語(T)の再履修は主題別英語(T)で、発信型英語(C)の再履修は原則発信型英語(C)を再受講する必要があります。ただし、履修前に教育支援課教養教育係に問い合わせてください。

エ 発信型英語(C)については、少人数で行うクラスのため、開講数の関係上原則1回の履修とします。ただし、総合科学部は2回の履修とします。

2) 初修外国語

本学の初修外国語にはドイツ語、フランス語、中国語の3言語があり、それらの中から1つの言語を選択して前期と後期に学びます。各言語には「入門」と「初級」の授業題目があり、学部によって履修する題目が異なります。総合科学部生はペアクラス(※1)で履修し、それ以外の学生は前後期で「入門」(計2単位)を履修します。全てのクラスにおいて、後期の内容は前期に学んだ内容を踏まえたものになります。前期に履修したクラスで単位を取得できれば、引き続き後期では同じクラスを履修登録してください(※2)。なお、1クラスの履修希望者が多ければ、抽選が行われる場合があります。抽選から漏れた場合は、「IV. 授業の履修手続き」(11ページ)をご覧ください。

※1:「ペアクラス」とは、1週間に2つの授業題目を履修し、各学期で2単位ずつ、1年間で計4単位を履修するクラスです。具体的には、前期に「〇〇語入門Ⅰ」と「同Ⅱ」を履修し、後期には「〇〇語初級Ⅰ」と「同Ⅱ」を履修します。

※2:前期の単位を取得できなかった場合については『教養教育時間割』の「再履修」のページを参照してください。

[ドイツ語紹介] 「ドイツ」といえば、ゲーテやグリム兄弟、カント、ヘーゲル、バッハ、ベートーベン、アインシュタインと、文化・音楽の国、学術・科学の国です。現在では、第二次世界大戦における負の歴史に向き合いながらも、EUのリーダー国となっています。ただ、ドイツ語が使われるのはドイツだけではなくありません。オーストリア、スイス、ルクセンブルクなどでドイツ語は公用語であり、とりわけ中欧・東欧において重要な言語です。近代化以降、ドイツは日本との関係も密接でした。特に徳島は、第一次世界大戦時に鳴門にあった板東俘虜収容所でベートーベン第九交響曲のアジア初演がなされるなど、日独交流で知られているので、徳島でドイツ語を学ぶ意義は大きいでしょう。

[フランス語紹介] フランス語は英語に次いで世界の多くの国や地域で使用され、国連やIOC等の国際機関でも公用語の一つとなっている国際語です。多くの単語が英語に入っており、皆さんは既にフランス語に触れています。しかし言語として体系的に学ぶと、途端に様々なルールに面食らい、英語にはなかった口と頭の使い方を強いられます。それはどの言語でも同じことで、慣れない思考体系に身をさらすことこそ異文化理解の第一歩であり、大学で英語以外の外国語を勉強する意味なのです。でもフランス語には人生を豊かにするというおまけがついています。グルメやファッション、インテリア、アートはフランス語とは切り離せません。フランス語を学べばきっと人生の財産になります。

[中国語紹介] 中国語圏が日本にとって今後も無視できない地域であり続けることは間違いありません。当該地域に行くときはもちろんのこと、日本国内に居る場合においても、中国語圏に関する情報をいち早く得たり、中国語圏の人々と交流したりするためには、中国語を学んでおく必要があります。その中国語は、漢字使用言語である点において、日本語を母語とする方には親しみやすい言語かもしれませんが、しかし、現代の中華人民共和国で用いられる漢字(「簡体字」)の中には日本の常用字とかなり異なっているものも少なくありません。また、中国語の音声体系は日本語や英語と大きく異なります。中国語の履修をお考えの方は、これらの点にくれぐれもご注意ください。

5. 留学生対象の科目

1) 日本事情

留学生対象です。日本で生活しながら専門を学ぶための基礎となる習慣や文化を体験的に学びます。

外国人留学生が、日本事情の単位を修得したときは、教養科目群の歴史と文化、人間と生命、生活と社会若しくは自然と技術又は創成科学科目群のグローバル科目若しくは地域科学科目の単位に充てることができます。具体的な科目については年度により異なることがありますので、日本事情担当教員に問い合わせてください。

2) 日本語

留学生対象です。日本で生活し、大学で学び、地域とつながるための日本語能力を習得します。

外国人留学生が、日本語の単位を修得したときは、外国語科目群の英語又は初修外国語の単位にそれぞれ充てることができます。

また、語学マイレージ・プログラムのマイレージポイントに算入できることがありますので、履修前に教育支援課教養教育係へ問い合わせてください。

Ⅲ. 特別な単位の認定

1. 入学前の既修得単位の認定

下記の者については、大学・短期大学等における既修得単位のうち、30単位まで教養教育の単位として認定されることがあります。なお、徳島大学の卒業生・中途退学者に対しては、各学部で定めた単位を上限として既修得単位が認められることがあります。また、一部の学部・学科では、専門科目の既修得単位についても認めていますので、これらについては各学部の学務（教務）係で確認してください。

(1) 大学（徳島大学を含む）又は短期大学等を卒業あるいは中途退学した者で、新たに第1年次に入学した者

① 4月2日(水)18時から遠隔形式（Zoom）で説明会を開催します。申請を予定している学生は、必ず前日までにメール（教養教育係 kykyotuk@tokushima-u.ac.jp）で申し込みの上、出席してください。説明会のZoom URLは申込者のみへ送付します。説明会では具体的な単位認定の手続き・方法について説明しますので、必ず出席してください。なお、申請者は、既修得単位が確定する7月頃までは、各学部・学科の履修要件に沿って通常の受講手続きを行い、授業を受けてください。単位認定の結果により、履修を取りやめることができますが、その際は必ず教育支援課教養教育係へ申し出てください。

② 申請書以外に、単位を取得した大学・短期大学等の成績証明書や認定を受けようとする大学・短期大学における授業内容が判る資料（シラバスなど）が必要となります。申請前に予め用意してください。

なお、大学によっては教養教育科目と基礎科目を分離していない場合があります。また、認定の過程で専門科目として取得した単位が教養教育の単位として認定される場合もあります。成績証明書やシラバス（コピー可/シラバスの表紙・目次も添付すること）などについては、教養教育科目（基礎科目を含む）・専門科目の両方について準備しておくといでしょう。

③ 申請締切後に関係委員が提出書類を審査します。シラバス（コピー可）などが入手できない場合には、申請者との面接等により各申請科目の授業内容を確認することになります。

④ 既修得単位の認定は、予備審査の後、各学部の教授会（6～7月頃）で最終的に認定され、その後申請者へ通知されます。

関係する事柄については別途教務システムや掲示によりお知らせしますので注意しておいてください。

(2) 編入学した者……入学前に当該学部から案内があります。

(3) 補欠入学した者……当該学部の学務（教務）係へ問い合わせてください。

(4) 本学の学生で転学部、転学科を許可された者……当該学部の学務（教務）係へ問い合わせてください。

(5) 外国語科目は単位を認定すると共に語学マイレージ・プログラムのポイントに算入することができます。詳細は77ページを参照してください。

2. 「放送大学」の修得単位の認定

徳島大学が指定した放送大学の開設科目は、教養教育科目として認定することができます。

ただし、「放送大学」・「eラーニング科目（知プラe）」（24ページ参照）により修得できる単位数は

合計で8単位までです。受講にあたっては、本学を通して放送大学へ受講申請をする必要があります。徳島大学が指定する開設科目、受講手続き等の詳細については、教育支援課教養教育係に相談してください。学内の出願受付期間は、第1学期は前年度の1月中旬～下旬、第2学期は6月下旬～7月中旬頃です。詳しくは教務システム、各学部掲示板等でお知らせします。

なお、外国語科目は単位認定するとともに語学マイレージ・プログラムのポイントに算入することができます。詳細は75ページを参照してください。

3. 外国語技能検定試験による単位の認定

本学在学中に受験して取得した外国語技能検定試験の成績により、外国語の科目の単位が以下のように認定されます。これらの検定試験による単位の認定は1つの外国語につき6単位までとし、履修要件を超える単位及び既に修得している単位は認定しません。該当する検定試験に合格、あるいは所定の得点に達した場合に、単位の認定を希望するものは速やかに教育支援課教養教育係まで申し出てください。

入学前に受験して取得した外国語技能検定試験は該当しません。

なお、外国語科目は単位認定するとともに、語学マイレージ・プログラムの「教養教育科目」のマイレージポイントを認定することができます。ただし、単位認定に使用した外国語技能検定試験は、「外国語技能検定試験」のマイレージポイントにはなりません。詳細は75ページを参照してください。

認定できる外国語技能検定試験の種類、評価等、題目及び単位数は入学年度によって異なります。必ず、各自の入学適用年度の履修の手引を確認してください。また、学部・学科によって、認定の際の条件等を設けている場合があります。

インターネットによる外国語技能検定試験の成績の取扱いについては、教養教育院ホームページに詳細を掲載していますので参照してください。

<https://www.las.tokushima-u.ac.jp/campus-life/>

(1) 英語

検定試験の種類	評価等	認定する題目及び単位数	備考
実用英語技能検定（英検） （公益財団法人 日本英語検定協会）	1 級	基盤英語 2 単位	
		主題別英語 2 単位	
		発信型英語 2 単位	
	準 1 級	基盤英語 2 単位 主題別英語 2 単位	
TOEFL iBT （ETS Japan 合同会社）	100 点以上	基盤英語 2 単位	
		主題別英語 2 単位	
		発信型英語 2 単位	
	80 ～ 99 点	基盤英語 2 単位 主題別英語 2 単位	
TOEFL ITP（Level 1） （ETS Japan 合同会社）	600 点以上	基盤英語 2 単位	
		主題別英語 2 単位	
		発信型英語 2 単位	
	550 ～ 599 点	基盤英語 2 単位 主題別英語 2 単位	
TOEIC （一般財団法人 国際ビジネス コミュニケーション協会）	870 点以上	基盤英語 2 単位	
		主題別英語 2 単位	
		発信型英語 2 単位	
	730 ～ 869 点	基盤英語 2 単位 主題別英語 2 単位	
IELTS（Academic） （公益財団法人 日本英語検定協会、 ブリテイッシュ・カウンシル）	7 以上	基盤英語 2 単位	
		主題別英語 2 単位	
		発信型英語 2 単位	
	6 ～ 6.5	基盤英語 2 単位 主題別英語 2 単位	

注：医学部医学科は、外国語技能検定試験（英語）の成績による単位認定は行わない。

(2) ドイツ語

検定試験の種類	評価等	単位認定	備考
ドイツ語技能検定試験（独検） （公益財団法人 ドイツ語学文学 振興会）	3 級以上	ドイツ語入門 2 単位 ドイツ語初級 2 単位	
	4 級	ドイツ語入門 2 単位	
	5 級	前期開講のドイツ語入門 1 単位	

注：ドイツ語の履修を 4 単位課す総合科学部においては、認定題目の「入門」を「入門Ⅰ」または「入門Ⅱ」、「初級」を「初級Ⅰ」または「初級Ⅱ」に読み替えるものとする。

(3) フランス語

検定試験の種類	評価等	単位認定	備考
実用フランス語技能検定試験 （仏検） （公益財団法人 フランス語教育 振興協会）	3 級以上	フランス語入門 2 単位 フランス語初級 2 単位	
	4 級	フランス語入門 2 単位	
	5 級	前期開講のフランス語入門 1 単位	

注：フランス語の履修を 4 単位課す総合科学部においては、認定題目の「入門」を「入門Ⅰ」または「入門Ⅱ」、「初級」を「初級Ⅰ」または「初級Ⅱ」に読み替えるものとし、入門「Ⅰ」と「Ⅱ」、初級の「Ⅰ」と「Ⅱ」のそれぞれ 2 授業題目をひとまとまりとし、2 単位を一括で認定する。5 級は認定対象としない。

(4) 中国語

検定試験の種類	評価等	単位認定	備考
中国語検定試験 （一般財団法人 日本中国語検定 協会）	4 級以上	中国語入門 2 単位 中国語初級 2 単位	
	準 4 級	前期開講の中国語入門 1 単位	
中国政府漢語水平考試（HSK） （中国国家漢語水平考試委員会）	3 級以上	中国語入門 2 単位 中国語初級 2 単位	

注：中国語の履修を 4 単位課す総合科学部においては、認定題目の「入門」を「入門Ⅰ」または「入門Ⅱ」、「初級」を「初級Ⅰ」または「初級Ⅱ」に読み替えるものとする。

[中国語単位認定についての注記]

- (1) 申請は 1 学期につき 1 回のみとする。
- (2) 1 回の申請において、成績証明書は 1 種類の試験 1 式のみ提出可とする。
- (3) 通し番号がある題目（週 2 コマクラス）は若番を優先する。
（例）「中国語入門Ⅰ」>「中国語入門Ⅱ」
- (4) 同一試験の同一級を複数回合格しても、単位認定を複数回申請することは出来ない。最初の申請分のみを採用する。
（例）中国語検定準 4 級に 2 回合格することにより、中国語入門 2 単位を申請することは不可。
- (5) 中国政府漢語水平考試（HSK）の 5・6 級は成績表に合否が表記されないため、6 割（基準点：180 点）以上のスコアで 5・6 級の能力を有していると判断する。

4. 留学による単位の認定

本学が指定する大学が主催する語学研修を受講し、成績評価が合格に達した者に対し、単位を認定するとともに、その科目に対するマイレージポイント及び「語学留学等」のマイレージポイントを認定します。

なお、履修要件を超える単位及び既に修得済みの単位は認定しませんが、該当科目が修得済みのために単位認定ができなかった場合であっても、語学留学のマイレージポイントは単独で認定できることがあります。

詳細は 76 ページを参照してください。

① 英語

指定研修先

南イリノイ州立大学カーボンデール校（アメリカ合衆国）

オークランド大学（ニュージーランド）

モナシュ大学（オーストラリア連邦）

研修時間	認定する題目及び単位数	備考
60 時間以上 90 時間未満	主題別英語 2 単位	研修時間により語学マイ レージ・プログラムの付 与ポイントが異なる
90 時間以上 120 時間未満		
120 時間以上		

② フランス語

指定研修先

グルノーブル第三大学（フランス共和国）

ボルドー第三大学（フランス共和国）

研修クラス	認定する題目及び単位数	備考
初心者対象	フランス語入門 2 単位	
既修 90 時間以上の能力を要するクラス	フランス語初級 2 単位	

注1：フランス語の履修を4単位課す総合科学部においては、認定題目の「入門」を「入門Ⅰ」または「入門Ⅱ」、
「初級」を「初級Ⅰ」または「初級Ⅱ」に読み替えるものとし、入門「Ⅰ」と「Ⅱ」、初級の「Ⅰ」と「Ⅱ」
のそれぞれ2授業題目をひとまとまりとし、2単位を一括で認定する。

注2：各クラスとも60時間以上の研修時間をもって2単位に相当するものとする。

③ 中国語

指定研修先

復旦大学（中華人民共和国）

武漢大学（中華人民共和国）

吉林大学（中華人民共和国）

南京大学（中華人民共和国）

開南大学（台湾）

淡江大学（台湾）

研修時間	認定する題目及び単位数	備考
30 時間以上 60 時間未満	中国語入門 1 単位又は 中国語初級 1 単位	研修内容により認定 する題目を判断する
60 時間以上 120 時間未満	中国語入門 2 単位	
120 時間以上	中国語入門 2 単位 中国語初級 2 単位	

注1：研修時間とは教室で行なわれる授業の時間数を指し、課外活動等は除外する。

注2：履修を4単位課す総合科学部においては、「入門」を「入門Ⅰ」または「入門Ⅱ」、「初級」を「初級Ⅰ」
または「初級Ⅱ」と読み替えるものとする。

5. 特別な単位の認定に関する注意事項

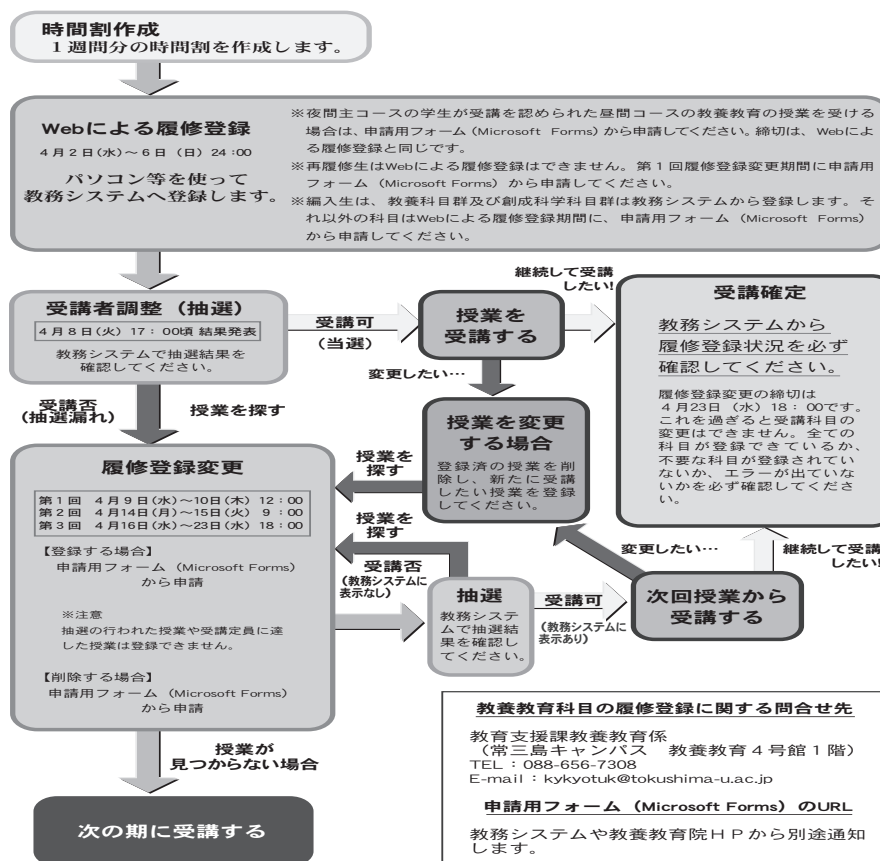
単位の認定は、予備審査の後、各学部の教授会の議を経て決定されます。申請から2～3ヶ月を要しますので、余裕をもって申請してください。進級あるいは卒業判定に必要な単位の申請期限等については、掲示等により別途お知らせします。

IV. 授業の履修手続き

教養教育授業の履修計画の立案に当たっては、「教養教育履修の手引」及び「教養教育授業概要（シラバス）」を熟読するとともに「教養教育時間割」を参照し、『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』に従って、立案してください。この場合、各学部・学科によって、卒業に必要な単位数が異なりますので、履修要件を満たすように計画してください。

授業の履修手続きの流れは、次の図（教養教育の履修登録手続き）のとおりです。

教養教育の履修登録手続き（前期の例） ※学びのファーストステップも参照してください。



各授業の調整状況は教養教育院HPのキャンパスライフ・履修登録のページを確認してください。

1. 履修登録の期間と方法

教養教育の科目を履修するためには、履修しなければならない科目、履修したい科目を登録することが必要です。『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』の「履修登録の手順」に従って、登録してください。

(1) web（教務システム）による履修登録の期間

前期授業履修登録期間 令和7年4月2日(水)～4月6日(日)24:00

4月8日(火)午前から抽選作業 17時頃に受講者決定

後期授業履修登録期間 令和7年9月18日(木)～9月22日(月)9:00

9月22日(月)午後から抽選作業 19時頃に受講者決定

全ての科目を履修登録期間中に登録してください。

(2) 履修登録の方法

履修登録は、パソコンやタブレット等を使用して教務システムで登録します。^(※1・※2) Webによる履修登録期間は、教務システムから自由に登録・削除を行えますが、Webによる履修登録期間終了以降は教務システムからではなく、申請用フォーム (Microsoft Forms) を使用します。

申請用フォーム (Microsoft Forms) のリンク (URL) は教務システム及び教養教育院ホームページからお知らせしますので、Cアカウントでログインし手続きを行ってください。

以下の科目は、同講時に第1希望から第3希望まで履修登録できます。

・教養科目群 (ウェルネス総合演習を除く)・創成科学科目群・外国語科目群 (英語)

注1) 英語を第1希望から第3希望まで履修登録できるのは総合科学部の学生のみです。

注2) 新入生が受講する以下の必修の授業は予め一括登録されています。以下の授業以外の教養教育科目、専門教育科目は各自で登録が必要です。

【一括登録を行う教養教育科目】

S I H道場、基礎数学、基礎物理学、基礎物理学実験、基礎化学、基礎化学実験、基礎生物学、基礎生物学実験、情報科学、英語（総合科学部の新入生以外）

① ウェルネス総合演習

Web履修登録期間に教務システムから登録をしてください。授業には、学部学科の指定があるクラスと全学対象のクラスがあります。いずれも受講定員が1クラス45名となっていますので、履修希望が多い場合は抽選となります。

ただし、集中講義として開講される授業は、別途指定する期間に指定する方法で登録します。登録方法は掲示等でお知らせします。

また、通常の授業の受講に特別な事情で不安がある場合（肢体不自由、身体衰弱、退院後間もない、病気、けがの場合など）は、予め担当教員に相談することをおすすめします。

② 外国語科目

外国語科目は、学部・学科により、時間割の指定があります。

〈英語〉

以下の学生は、指定された時間割により予め履修クラスが割り振られており、教養教育係において全員分の履修登録を一括で行います（留年した学生を除く）。

- ・総合科学部2年生
- ・総合科学部以外の学部の学生

総合科学部の新入生は、時間割指定のクラスの中から希望のクラスを選択し、自分で履修登録を行ってください。

〈初修外国語〉

全ての学部の学生が、時間割指定のクラスの中から希望のクラスを選択し、自分で履修登録を行ってください。

〈英語・初修外国語共通〉

再履修者、編入学者はクラス指定にかかわらず、授業を選択することができますが、履修登録は教務システムではなく、申請用フォーム（Microsoft Forms）から申請してください。ただし、抽選が行われた授業には履修登録できません。

〈受講調整（抽選）について〉

総合科学部の英語、及び全ての学部の初修外国語は、履修定員を超えた登録があった場合、定員超過による受講調整（抽選）が行われることがあります。受講調整が行われた場合は、結果を教養教育4号館1階の掲示板及び教養教育院HPでお知らせします。

抽選に外れた場合は、次に受ける授業を選び、履修登録変更期間に、申請用フォーム（Microsoft Forms）から申請してください。なお、抽選に外れた授業の削除は不要です。

初修外国語について、第一希望クラスの抽選に外れた場合は、以下のいずれかの方法で別のクラスを履修することができます。

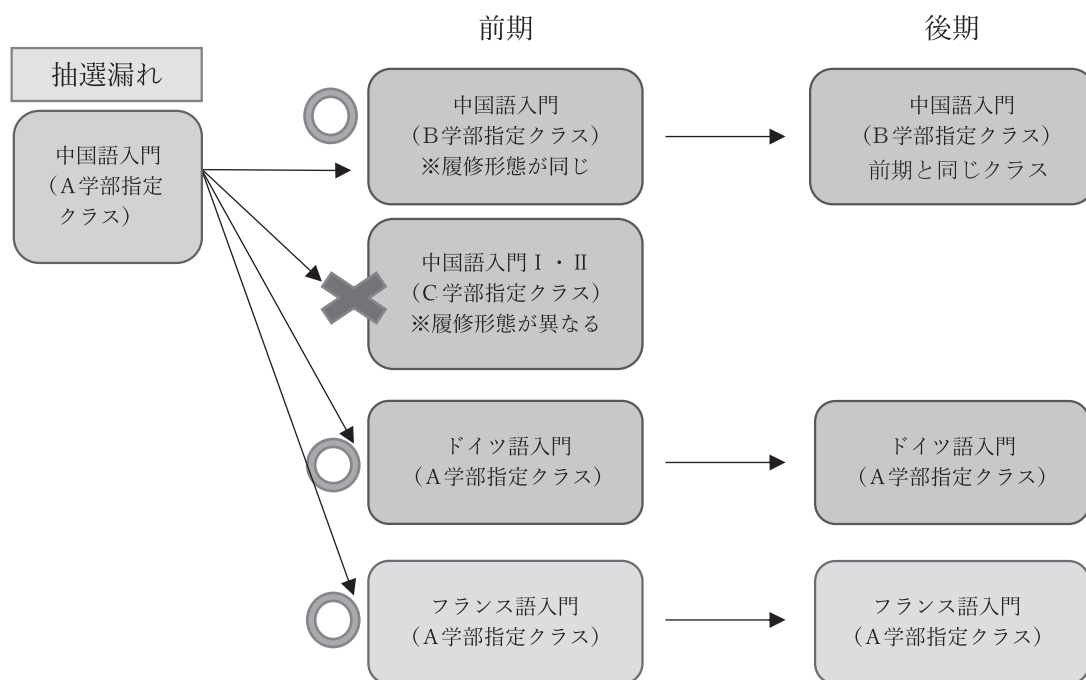
- ・自学部・学科向けの異なる言語を履修登録する。
- ・他学部・学科向けの同じ言語のクラスを履修登録する。

他学部・学科向けの同じ言語のクラスは、定員に余裕がある場合のみ履修することができます。

その場合、履修形態が同じ授業を選択してください。（履修形態が同じクラスとは、週2コマのペアクラス（I・IIの枝番がつく）か否かで判断します。）

例) 履修要件でI・IIのつかない「中国語入門」を履修する必要がある学部学科は、中国語入門I・II（ペアクラス）は履修できません。

履修登録は他の授業と同様、履修登録変更期間に、申請用フォーム（Microsoft Forms）から申請してください。受入可能なクラスは、抽選後に教務システムやホームページ、掲示板等でお知らせします。



注1) 前期で他学部・学科のクラスを選択する場合は、「時間割」をよく確認し、後期に履修しなければならない必修授業や専門科目の開講時間を避けること。

注2) 後期の履修登録の際には、前期の履修登録者が優先されます。

③ eラーニング科目 (知プラ e) (24 ページ参照)

履修登録期間中に教務システムから登録します。eラーニング科目 (知プラ e) を受講するためには、授業開始前に行なわれるガイダンスを受けることが必要です。ガイダンスの開催日時・方法は教務システムや掲示板等でお知らせします。

④ 集中講義

教務システムで登録するものの他、別途指定する期間に指定する方法で登録する場合があります。指定期間を過ぎると、履修登録・削除はできません。

※1 : 学生用ユーザー ID (C アカウント) について

学生用ユーザー ID (C アカウント) は、学内・学外で利用できます。入学時に web より取得した学生用ユーザー ID (C アカウント) は、初期パスワードが設定されており、有効期限が 30 日間となっていますので、必ず期間内に情報センター HP「統合認証ポータル」から変更してください。

なお、変更後のパスワードの有効期間は 400 日です。継続して利用する場合は、その都度情報センター HP「統合認証ポータル」から変更する必要があります。パスワードは学内からのみ変更可能です。

※2 : 再履修の履修登録について

再受講となった科目を受講する場合の履修登録は教務システムを使用せず、申請用フォーム (Microsoft Forms) から登録します。(教務システム及びスマートフォンアプリでの履修登録はできません)

ただし、教養科目群 (ウェルネス総合演習除く) 及び創成科学科目群等の全学部対象の授業は web から登録可能です。詳細は掲示等でお知らせします。

(3) 受講調整（抽選）について

履修登録数が受講定員を超えた場合は、コンピュータにより抽選します。抽選結果は教務システムに反映されるので、抽選がある受講科目を登録した学生は、必ず抽選結果を確認するようにしてください。

また、履修登録の誤り等の情報は教務システムのメッセージ等でお知らせしますので必ず確認してください。

2. 履修登録の変更について

(1) 履修登録変更期間について

Webによる履修登録後（抽選後）の授業科目の登録・変更・削除は、以下の履修登録変更期間に申請用フォーム（Microsoft Forms）で手続きをすることができます。

前期授業

第1回履修登録変更期間（4月9日(水)～4月10日(木)12時）

4月11日(金)抽選作業 夕方に受講者決定

第2回履修登録変更期間（4月14日(月)～4月15日(火)9時）

4月15日(火)抽選作業 夕方に受講者決定

※第1回及び第2回の履修登録変更期間受付分の抽選結果は、教務システムから確認してください。

第3回履修登録変更期間

4月16日(水)～4月23日(水)18時まで 先着順で受け付け

※第3回履修登録変更期間では、受講定員に空きがあり、受入可能な授業について、1日毎に先着順で登録します。

後期授業

第1回履修登録変更期間（9月24日(水)～9月25日(木)9時）

9月25日(木)抽選作業 夕方に受講者決定

第2回履修登録変更期間（9月26日(金)～9月30日(火)9時）

9月30日(火)抽選作業 夕方に受講者決定

※第1回及び第2回の履修登録変更期間受付分の抽選結果は、教務システムから確認してください。

第3回履修登録変更期間

10月1日(水)～10月15日(水)18時まで 先着順で受け付け

※第3回履修登録変更期間では、受講定員に空きがあり、受入可能な授業について、1日毎に先着順で登録します。

(2) 履修登録変更の手続きについて

抽選にはずれた場合や履修登録後（抽選作業後）に履修科目を追加・変更したい場合の手続きについて説明します。

（抽選にはずれた場合）

抽選にはずれた場合は、履修登録変更期間に次に希望する授業を申請用フォーム（Microsoft Forms）から履修登録します。その際、既に抽選が行われた授業には新規登録はできません。教養教育掲示板及び教養教育院ホームページに、各授業の履修登録状況一覧表を掲示（掲載）しているので、確認の上、次に受講する授業を決めてください。

抽選にはずれた場合は、申請用フォーム（Microsoft Forms）からの削除申請の手続きは不要です。

(履修科目を新たに追加する場合)

履修登録のない講時には、授業を追加することができます。希望する授業を申請用フォーム (Microsoft Forms) から登録します。既に抽選が行われた授業には新規登録はできません。また、一つの講時に二つの授業は登録できません。この場合、重複による履修登録エラーとなり、両方の授業とも登録できないので注意してください。

(履修科目を変更する場合)

既に登録している授業を変更する場合には、「削除」の手続きと「登録」の手続きの一連の作業が必要となります。まず、登録済みの授業を削除します。削除するには申請用フォーム (Microsoft Forms) から手続きを行ってください。次に新たに登録しようとする授業を申請用フォーム (Microsoft Forms) から登録します。既に抽選が行われた授業には新規登録はできません。

(3) 注意事項について

- ① 履修登録変更期間の登録・削除・変更は全て申請用フォーム (Microsoft Forms) から行います。申請用フォーム (Microsoft Forms) の登録情報を基に、手作業による抽選作業を行い、受講可能な学生のみ教務システムへ登録し、抽選もれ等で受講不可である学生は登録されません。教務システムには「抽選もれ」等の表示がされませんのでご注意ください。※専門科目はこの申請用フォームは利用できません。
- ② 抽選が実施された授業への登録はできません。
抽選後、履修の取り消し等で、受講定員より受講者が少なくなる場合がありますが、その場合も新たに登録することはできません。
- ③ 教養教育、専門教育に関わらず同じ講時に複数の登録はできません。この場合、重複による履修登録エラーとなり、両方の授業とも登録できないので注意してください。エラーが表示された場合は、速やかに同じ講時に登録済みの授業について、申請用フォーム (Microsoft Forms) から削除の申請をしてください。(専門科目は教務システムで履修取り消しをしてください。)
なお、同一曜日講時の重複登録により無効となった履修登録は、教養教育又は専門教育で同一曜日講時の授業の一方を削除すると、片方の授業は自動的に有効に戻り、履修可となります。

3. 履修登録確認について

履修登録の確認は、教務システムの履修登録画面で随時見ることができます。また、受講調整や履修登録の変更を行った場合は、必ずその都度確認してください。履修登録されていない科目は、授業を受けても単位を修得することはできません。

履修登録期間を過ぎると、授業の登録、削除及び変更はできません。

V. 授業を受ける

1. 授業の場所

教養教育の授業は、教養教育4号館・5号館・6号館、総合科学部1号館・2号館・3号館及び理工学部共通講義棟 (K棟) の各講義室で行われます。ただし、一部の授業は、所属学部で行われるものもありますので、「教養教育時間割」で確認してください。なお、情報科学は情報センターで、ウェルネス総合演習は総合運動場及び常三島体育館でも実施されます。(この手引の p.108 ~ p.111 に配置図がありますので参照してください。)

2. 授業の時間帯

教養教育の授業時間は、1 講時を 45 分とし、原則として 2 講時 90 分を 1 コマ（ひとまとまり）として実施されます。なお、各講時の授業時間帯は次のとおりです。

講時別授業時間帯

講 時	時 間 帯		備 考
第 1・2 講時	8 時 40 分～ 9 時 25 分	9 時 25 分～ 10 時 10 分	昼間コース授業
第 3・4 講時	10 時 25 分～ 11 時 10 分	11 時 10 分～ 11 時 55 分	〃
第 5・6 講時	12 時 50 分～ 13 時 35 分	13 時 35 分～ 14 時 20 分	〃
第 7・8 講時	14 時 35 分～ 15 時 20 分	15 時 20 分～ 16 時 05 分	〃
第 9・10 講時	16 時 20 分～ 17 時 05 分	17 時 05 分～ 17 時 50 分	〃
第 11・12 講時	18 時 00 分～ 18 時 45 分	18 時 45 分～ 19 時 30 分	夜間主コース授業
第 13・14 講時	19 時 40 分～ 20 時 25 分	20 時 25 分～ 21 時 10 分	〃

※夜間授業（第 11 講時～ 14 講時）は、理工学部夜間主コースの学生しか受講できません。

3. 授業のクラス分け

クラス分けは次のとおりです。なお、各授業の具体的なクラス分けは、オリエンテーション時に配付の「教養教育時間割クラス分け一覧」のとおりです。教養教育と専門教育でのクラス分けが異なる場合がありますので、履修登録時にクラスを間違わないように注意してください。

【教養科目群(ウェルネス 総合演習除く)】 【創成科学科目群】	…… クラスの指定はなく、各自が履修したい授業を自由に選ぶことができます。受講定員が定められており、受講希望者が定員数を超えた場合は、抽選等により受講者の調整（抽選）を行います。（一部、学部学科指定の教養科目群があります。例：理工学部：キャリアプランなど）
【教養科目群(ウェルネス 総合演習)】 【基礎科目群】 【外国語科目群(初修外国語)】	…… 時間割に記載のとおり、原則受講対象学部・学科が指定されています。一部、学部学科の指定のない授業、指定があっても複数の授業の中から選択できる場合もあります。
【外国語科目群(英語)】	…… 時間割に記載のとおり、原則受講対象学部・学科が指定されています。総合科学部の新生のみ、総合科学部対象の複数のクラスの中から希望のクラスを選択します。その他の学生は、予め受講クラスが割り振られています。

留学生対象

【コミュニケーションのための日本語】	…… 特別聴講学生（非正規生）用に開講する科目です。正規生は受講できません。
--------------------	--

4. 授業を受ける態度

皆さんは大学生であるといえども、広い意味では社会人でもあります。授業を受けるにもマナーが必要です。次のことには特に注意してください。

- ・遅刻をしない
- ・授業中に勝手に出入りしない
- ・飲食しない
- ・携帯電話・スマートフォンの電源は切るか、マナーモードに設定する
- ・私語はしない
- ・その他、迷惑になることをしない

5. オフィスアワー・オンラインオフィスアワーについて

シラバスに記載されている「オフィスアワー」は、授業担当教員がみなさんからの質問に答えるために、研究室に在室している時間帯です。遠慮せずに教員の研究室を訪ねてください。本学の専任教員でない非常勤の教員については、非常勤講師控室（教養教育4号館1階）などで対応します。

授業によっては、教務システムから教員へ学修上の相談や授業内容の質問、連絡ができる「オンラインオフィスアワー」が利用可能です。利用できる授業は、教務システムから確認することができます。

また教員の連絡先は、シラバスで確認することができます。シラバスは、教務システムへCアカウントでログインし確認してください。

6. 気象警報等が徳島県徳島市に発表された場合の授業の休講

- 1 昼間に開講する授業については、午前7時に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」、「洪水警報」（以下「警報」という。）又は特別警報（波浪特別警報を除く。（以下「特別警報」という。））が発表中の場合は、午前の授業を休講とします。午前11時に警報又は特別警報が発表中の場合は、午後の授業を休講とします。
- 2 夜間に開講する授業については、午後4時に警報又は特別警報が発表中の場合は、すべて授業を休講とします。
- 3 授業開始後に警報が発表された場合は、次の時限以降の授業を休講とします。ただし、特別警報が発表された場合は、直ちに休講とします。

※1から3までの措置により、授業が休講とならなかった場合でも、居住地域や通学経路等に気象警報や避難指示等が発表または発令される等、安全確保の観点から授業を欠席した場合や、公共交通機関の遅延・運休等によりやむをえず欠席した場合は、当該学生に不利益が生じないように取り扱われます。

※※遠隔授業も同様の休講措置となります。

7. 授業への出席について

病気や事故等やむを得ない事情を除いて、授業へは必ず出席するよう心がけてください。令和2年4月1日から開始された高等教育の修学支援新制度における授業料等減免及び給付型奨学金支給の要件の一つとして、「授業の出席率」が求められています。

VI. 試験及び成績の評価

1. 受験資格

試験は原則として前期・後期の学期末に行われ、授業時間数の3分の2以上出席していなければ、学期末試験の受験資格を失います。なお、試験を欠席した者で、追試験対象者以外は再受講となります。

2. 学期末試験の期間

試験期間は次のとおりです。

学期末試験は通常の授業と同じ曜日・講時に行われます。

前期試験及び総括授業 令和7年7月23日(水)～8月5日(火)

後期試験及び総括授業 令和8年1月28日(水)～2月10日(火)

3. 試験の受験心得

学期末試験をはじめとする、すべての試験の受験に当たっては、次のことを厳守しなければなりません。

- (1) 試験受験時は「学生証」を机の上に置いてください。
- (2) 学生証を所持していない学生は、教育支援課教養教育係において、「仮学生証」の交付を受けてください。

- (3) 「学生証」、「仮学生証」のどちらも所持しない者は試験を受けることはできません。
- (4) 携帯電話の使用は認めません。(時計は全教室に設置してあります。)
- (5) 遅刻の限度は試験開始後 20 分です。これを越えた者は受験資格を失います。
- (6) 退出する場合は試験開始後 20 分を待たなければなりません。

4. 成績の評価

- (1) 成績の評価は、試験、レポート、学修状況などによって行われます。期末試験が終わった後に総括授業などが行われる場合、その授業における学修状況も成績評価の対象となります。
- (2) 成績は、1 科目 100 点満点で採点され、60 点以上が合格となり、60 点未満は不合格となります。
 なお、平成 27 年度入学生より成績証明書には、90 点以上が秀、80 点～89 点が優、70 点～79 点が良、60 点～69 点が可として、記載されます。単位認定されたもの（入学前の既修得単位、放送大学の修得単位、外国語技能検定試験による単位等）については、認と記載されます。

成績評価基準

可否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	秀 (Outstanding)	90～100	科目の到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	優 (Excellent)	80～89	科目の到達目標を十分に達成している。
	良 (Good)	70～79	科目の到達目標を達成している。
	可 (Fair)	60～69	科目の到達目標を最低限達成している。
	認 (Qualified)	認定	単位認定：入学前の既修得単位、放送大学の修得単位、外国語技能検定試験、短期語学研修等による単位（卒業要件を満たす単位等となるが、GPA の計算には含めない。）
不合格	不	59 以下	科目の到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。

5. 成績等に関する疑義

成績や授業への出席状況について疑義がある場合は、成績通知完了日の 1 週間後までに教育支援課教養教育係又は授業担当者に申し出ることができます。調査・検討した結果は、おおよそ 2 週間以内に通知します。

6. 不正行為について

学期末試験をはじめとする単位認定に関する試験で不正行為をした者は、徳島大学学則により相応の懲戒処分を受けるとともに、不正行為があった学期中に履修した全科目（教養教育科目及び専門教育科目）の成績が取り消されます。

もちろん、取り消された科目は、再受講（改めて初めから受講すること）することとなります。

- (1) 不正行為とは、次のとおりです。

- ・試験における不正行為

- ① カンニング（カンニングペーパー、IT 機器、参考書又は他人の答案等を見ること、他人から解答内容を教わることなど）を行うこと。また、解答内容を教えること、カンニングに協力すること、替え玉受験をすることに加え、解答内容やそのヒントになるものを、試験監督者の指示する以外の場所に置いたり、身につけたりすること。
- ② 机の上に、鉛筆、シャープペンシル等の筆記具、消しゴム、時計（計算や翻訳、端末機能のないものに限る。）等、持ち込みを許可されたもの以外を置くこと。
- ③ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類等で、試験監督者がカバン等に収納するよう指示したものを収納せず、身に付けたり、机の中に置いたりすること。

- ④ 使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
 - ⑤ 試験場において、試験監督者の指示に従わないこと。
 - ⑥ 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為を行うこと。
 - ⑦ その他、単位認定試験の公平性を損なう行為を行うこと。
 - ・レポート、小テスト等における不正行為
 - ① 他人のレポートの模写又はインターネット上のホームページや著書、論文等の他人の意見や図表等の盗用、剽窃によりレポートを作成すること。
 - ② レポートや小テスト等の代筆を行うこと又は代筆を依頼すること。
- (2) その他、不正行為と見なされるものとして、次のようなこともあります。これも、上記に準じて扱われますので注意してください。

教養教育院では、授業への取組態度を含め総合的に成績評価を行っていただくよう各教員にお願いしております。その一つとして、小レポート等の提出を毎時間求める授業があります。このような授業にて代筆を行うことは「替え玉受験」と同じです。また、代返（他人がなりすまして出席を装う行為で、他人に学生証を渡しカードリーダーに通すことも含みます）、及び、学生証をカードリーダーに通した後に退出し、実際には授業に出席しないことも同等に扱われる場合があります。

7. 成績の通知

- (1) 履修科目の成績は、次のとおり教務システムの成績照会画面でお知らせしますので、必ず確認してください。

前期試験成績の通知完了日 令和7年8月19日(火)

後期試験成績の通知完了日 令和8年2月17日(火)

- (2) 教務システムによる成績通知の表示内容は、次のとおりです。

60点以上の点数記載の科目……合格

不と記載されている科目……不合格につき「再試験」を受験できる科目

(不) 〃 ……不合格につき再受講（改めて初めから授業を受講）となる科目

欠 〃 ……試験を欠席した科目（追試験対象者以外は再受講となる）

(欠) 〃 ……受験資格（2/3以上の授業出席）がない科目（再受講となる）

8. 追試験

- (1) 下記①～③の理由により学期末試験を受験できなかった者は、欠席届及び必要な証明書類を添えて「追試験」の実施を願い出ることができます。ただし、授業への規定出席日数が不足する者はこの対象にはなりません。

欠席理由		必要な証明書類
①	病気、ケガ	医師の診断書
②	本人の責に帰することのできない特別の事情 ・忌引（2親等内の親族に限る）※注1 ・公共交通機関の事故又は遅延 ・不慮の事故	会葬御礼の書面等 公共交通機関発行の事故（遅延）証明書 第三者の証明（交通事故の場合は事故証明書）
③	教養教育院教授会が認めた行事・大会等への参加※注2、3	大会日程・参加者名簿等が記載されたプログラム

注1 法事等事前に日程が決まっているようなものは原則認められません。

注2 大会参加前に教養教育係へ申し出なければなりません。

注3 移動日は考慮しますが、必要最低限の日程としてください。練習等のための早期出発は認められません。

- (2) 追試験の願い出は、前項の事実を証明する証明書（医師の診断書など）に「学期末試験欠席届」を添えて、前期は 8月18日(月)までに、後期は 2月16日(月)までに教育支援課教養教育係へ申し出なければなりません。追試験の可否は教養教育院教授会で審議され、許可された者には許可書が交付されます。

なお、「学期末試験欠席届」の用紙は教育支援課教養教育係にあります。

(3) 追試験の期間は次のとおりです。

- ・前期追試験期間 令和7年9月1日(月)～9月5日(金)
- ・後期追試験期間 令和8年2月27日(金)～3月5日(木)

(4) 追試験を受験する場合は「追試験許可書」(教養教育院教授会押印のもの)を教育支援課教養教育係で受け取ってください。試験日等は、授業担当教員から口頭又は掲示により連絡されます。追試験は、原則、追試験期間中の同じ曜日・講時に実施されますが、授業によってはレポート試験や、曜日・講時を変更して実施する場合があります。なお、「追試験許可書」は、追試験の実施を授業担当教員に申し出る際に提出することとします。遅くとも試験開始時刻までには授業担当教員に提出してください。

(5) 追試験の成績は、1科目100点満点で採点され、60点以上が合格となり、60点未満は不合格となります。不合格の場合は「再受講」となります。

9. 再試験

(1) 学期末試験の成績が不合格となり、成績通知表に再試験の指示を示す「不」の標示が記載されている科目については、次の期間内に再試験を受験することができます。なお、授業によっては再試験が実施されないものもありますので「シラバス(授業概要)」の「再試験の有無」欄で十分確認してください。

- ・前期再試験期間 令和7年9月1日(月)～9月5日(金)
- ・後期再試験期間 令和8年2月27日(金)～3月5日(木)

(2) 再試験の受験を希望する場合は、再試験期間開始日の1週間前まで(前期試験は8月25日(月)17時、後期試験は2月20日(金)17時まで)に教育支援課教養教育係へ願い出てください。申請の方法については、教務システム及び掲示等でお知らせします。

(3) 再試験は、再試験期間の同じ曜日・講時に同じ講義室で行われます。通常の実施と異なる場合は、授業担当教員から口頭又は掲示により連絡されます。

(4) 再試験合格者の成績は、一律に60点となります。不合格の場合は「再受講」となります。

10. 再履修について

再受講と判定された科目は、次の学期以降に、もう一度履修登録からやり直す必要があります。これを再履修と呼んでいます。再履修となった場合、学年が上になるに従って、自分が所属する学部学科の専門の授業履修の関係で、受講上制約が生じる可能性があります。

なお、基礎科目群及び外国語科目群を再履修する場合は、教養教育時間割に掲載されている再履修方法及び再履修クラスを必ず確認し、受講してください。

Ⅶ. 教養教育の授業に関する付随的な事項

1. Grade Point 評価

教養教育では、点数評価をもとに、Grade Point (GP) 評価を行っています。GP 評価とは1から5までの数字を用いた評価です。GP の計算方式は以下のようになります。

点数が60点以上の場合

$$GP = (\text{点数評価} - 50) / 10$$

点数が60点に満たない場合

$$GP = 0$$

したがって、100点なら GP = 5.0、80点なら GP = 3.0、60点なら GP = 1.0 となります。

GPによって2つの平均値を計算することができます。個人の成績の平均値（GPA）とクラスの成績の平均値（GPC）です。

GPA = (科目の単位数 × GP) の総和 / (履修登録した単位数の合計)

GPC = 履修登録した受講者の GP の総和 / (履修登録した受講者数の合計)

GPA を用いて、教養教育では各学部・専攻ごとにもっとも点数の高かった学生を「教養教育優秀学生賞」として表彰します。履修登録した科目で単位をとれなかった場合（不合格や試験の欠席など）、GPは0点と計算されます。成績評価が「認定」の科目は、GPの対象外となっています。授業計画を立てる際は十分気をつけてください。

【「徳島大学標準 GPA」について】

徳島大学では、平成 27 年度入学生から、主に対外的に用いる GPA として、国際的に用いられる「標準 GPA」を採用する場合があります。

「標準 GP」の換算式

90 点以上 = 4

80 点以上 90 点未満 = 3

70 点以上 80 点未満 = 2

60 点以上 70 点未満 = 1

60 点未満 = 0

・標準 GPA (Grade Point Average) : 学生が取得した科目の成績を集約した値

標準 GPA =
$$\frac{\text{(評価を受けた各授業科目で得た標準 GP} \times \text{当該授業科目の単位数)} \text{の合計}}{\text{評価を受けた各授業の単位数の合計}}$$

「標準 GPA」は、学期と通算について算定する。

※ 正規の手続きによる履修取り消し科目は含めない。

2. 科目ナンバリング

本学で実施される授業科目について、授業内容・レベル等に応じて特定のナンバーを付与しています。学修したい分野について、どの科目から学修していけば体系的に学修することができるか分かるようになり、計画的な学修を実現できるようになります。

科目ナンバリングは、次の項目により 12 桁で構成されています。

科目領域コード (4 桁) + 科目番号 (5 桁) + 学部・学科等コード (3 桁)

また、各コードは次の要素から構成されています。

- ・科目領域コード → その科目が属する学問領域
- ・科目番号 → 1 桁 目：その科目のレベル
2～4 桁目：授業方法
5 桁 目：授業を行う言語
- ・学部・学科等コード → その科目の学部・学科・専攻・コースなど

【例】

PHYS	1000J	LAS
<u>科目領域コード</u> (「物理」を表す)	<u>水準番号</u> (教養 = 1)	<u>言語コード</u> (日本語 = J)	<u>学部・学科等コード</u> (教養教育 = LAS)
<u>個別番号</u> (講義系は 000~399)			

3. 授業参観について

教養教育院では、ファカルティ・ディベロップメント（FD）（教員の授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組み）の一環として、教員同士がお互いに授業方法を学び合い、教養教育の一層の充実を図ることを目的として、「授業参観制度」があります。そのため、授業担当教員以外の教職員等が授業参観をすることがあります。

4. 教養教育の授業公開について

学習機会に対する地域住民の方々の多様なニーズに応じ、教養教育の一部の授業を一般市民・高校生にも公開しています。

学生と市民・高校生が同じ教室で学ぶことは、授業の活性化や世代間交流としても意義があり、学生にとっても市民・高校生にとっても良い刺激となるはずです。

5. 理工学部 JABEE（日本技術者教育認定機構）について

理工学部の一部コースの学生にとっては教養教育科目すべてが JABEE 対応科目となります。JABEE 合格の単位認定要領は、下記のとおりとなっていますので、注意してください。

- (1) JABEE 合格の単位認定は、教養教育の成績が 60 点以上とします。
- (2) 教養教育の再試験で合格した場合は、JABEE も追加合格とします。ただし、再試験が行われない場合は、特に JABEE 用の再試験も行われません。
- (3) JABEE 基準 1（学習・教育目標）との関連については、
教養科目群の歴史と文化、人間と生命、生活と社会は、
 - (a) 「地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養」に、
教養科目群の自然と技術、基礎科目群の情報科学は、
 - (c) 「数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらを応用できる能力」に、
外国語科目群の英語、初修外国語、日本語は、
 - (f) 「日本語による理論的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力及び国際的に通用するコミュニケーション基礎能力」に、
教養科目群のウェルネス総合演習は、
 - (g) 「変化に対応した自主的、継続的に学習できる能力」に当たるものとします。

6. 学生による授業評価アンケートについて

教養教育院では、学期ごとに学生による授業評価アンケートをおこなっています。このアンケートの目的は授業の改善であり、アンケート結果に反映された受講者の意見は授業担当教員に示され、実際の改善のために役立てられます。アンケートは、回答者を特定しないよう設計されており、匿名性は確保されています。成績評価に影響することは一切ありません。学生の皆さんは、授業への参加が毎回の受講や試験のみならず、授業評価とそのフィードバックも含めた全体であるとの認識を持ち、アンケートには率直にかつ良識をもって回答してください。

また、授業評価アンケートで高い評価を得た授業の担当教員には、「教養教育賞」が授与されますが、シラバスの「備考」欄に、当該授業の過去 3 年間の受賞があれば、担当教員の自己申告により記載されています。授業選択の際などに参考にしてください。

なお、各年度・学期の受賞者とその授業、それに対する学生のアンケート自由記述の一部については、以下のホームページで見ることができます。

<https://www.las.tokushima-u.ac.jp/about-our-institute/evaluation/>

7. 「eラーニング科目（知プラ e）」について

「eラーニング科目（知プラ e）」は「四国における e-Knowledge を基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施（知プラ e）事業」に基づいて、四国の5大学（香川・徳島・鳴門教育・愛媛・高知）で平成27年度から共同実施しているものです。授業はeラーニングで行います。一部の科目は1単位になっていますので、履修の際には注意してください。

「放送大学」（8ページ参照）・「eラーニング科目（知プラ e）」により修得できる単位数は合計で8単位までです。

受講に際しては、教務システムや掲示板に履修方法に関する案内を掲載しますので、必ず確認するようにしてください。

eラーニング科目は、授業時間にとらわれることなく、自分のペースで学修することができますが、視聴や課題提出の期限を必ず確認し、計画的な学修を心掛けてください。

8. メディア授業科目について

教室において対面で行われる授業を「対面授業」、教室以外でインターネットやLMSを用いて行われる遠隔授業を「メディア授業」と区別しています。

さらに、「対面授業」の回数が総授業回数の半数を超える授業は「対面授業科目」、「メディア授業」の回数が総授業回数の半数を超える授業は「メディア授業科目」と定義しています。

例：対面授業科目・全て対面で行われる授業

授業回数15回のうち、8回以上が対面授業である授業

メディア授業科目・全てメディア授業（遠隔等）で行われる授業

授業回数15回のうち、8回以上がメディア授業（遠隔等）である授業

大学設置基準第32条第5項で、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、「メディア授業科目」により修得する単位数は60単位を超えないものと定められています。

そのため、各学部・学科等において、卒業要件として取得すべき卒業単位数のうち、卒業要件に算入できる「メディア授業科目（教養教育科目と専門教育科目の計）」の単位数の上限が60単位までとなるため、授業の履修にあたっては、受講しようとする授業が「対面授業科目」であるか「メディア授業科目」であるかを授業概要（シラバス）等で確認し、計画的に履修するようにしてください。

「放送大学」・「eラーニング科目（知プラ e）」により修得する単位もメディア授業科目の単位として取り扱います。

9. データサイエンス学修プログラムについて

いま世界的にAIの開発と応用が進んでいます。日本においても、2019年に内閣府が「AI戦略2019」を公表しており、文系理系を問わず大学及び高専で学ぶすべての学生（約50万人）が「数理・データサイエンス・AI」に関する基礎知識と技術を習得して卒業することを目標として掲げています（<https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/index.html>）。

本学では、データサイエンス・AIの基礎知識と技術を学ぶことの出来る教育科目を「データサイエンス学修プログラム」と位置づけています。「データサイエンス学修プログラム」を構成する科目では、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムが制定したモデルカリキュラムに準拠した内容を学ぶことができます。モデルカリキュラムには「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」があります。本学では、それぞれ以下の科目で構成されます。

【全学部学科共通の履修モデル】

リテラシーレベル（2科目）

1. 基礎科目群・情報科学・「情報科学入門」（各学部学科指定クラス）

2. 創成科学科目群・イノベーション科目・「データサイエンスへの誘い」(全学部学科対象)
応用基礎レベル(2科目)

1. 基礎科目群・情報科学・「情報科学入門」(各学部学科指定クラス)
2. 教養科目群・自然と技術・「AI総合演習」(全学部学科対象)

なお、以下の学部学科では専門教育科目をあわせた以下の科目を履修することでも、応用基礎レベルのモデルカリキュラムを学ぶことができます。

総合科学部(2科目)

1. 基礎科目群・情報科学・「情報科学入門」(指定クラス)
2. 専門教育科目:「データ分析入門」

歯学部口腔保健学科(3科目)

1. 基礎科目群・情報科学・「情報科学入門」(指定クラス)
2. 創成科学科目群・イノベーション科目・「データサイエンスへの誘い」(全学部学科対象)
3. 専門教育科目:「歯科衛生統計」

医学部保健学科においては、「情報科学入門」と「AI総合演習」の2科目で応用基礎レベル相当の内容を学ぶことができますが、より発展的な科目として以下の専門教育科目が開講されています。

- ・専門教育科目「医学統計学」
- ・専門教育科目「医学統計学演習」

上記の科目のすべてが、各学部学科が課程で定める必修科目となっているわけではありませんが、様々な分野を幅広く学ぶことが出来る1年次においてこそ、積極的に受講することをお勧めします。

なお、本学「データサイエンス学修プログラム」は、文部科学省が制定した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの認定を令和4年度に、さらに応用レベルの認定を令和6年度に受けています。

(認定制度については https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00001.htm を参照してください。)

「データサイエンス学修プログラム」の詳細及び学びのサポートについては、デザイン型AI教育研究センターポータルサイトで確認してください。(<https://www.ai.tokushima-u.ac.jp/>)

第 3 章

学部・学科別の履修方法

①	総合科学部	28
②	医学部	32
	1. 医学部医学科	32
	2. 医学部医科栄養学科	34
	3. 医学部保健学科	36
	① 医学部保健学科看護学専攻	36
	② 医学部保健学科放射線技術科学専攻	38
	③ 医学部保健学科検査技術科学専攻	40
③	歯学部	42
	1. 歯学部歯学科	42
	2. 歯学部口腔保健学科	44
④	薬学部	46
⑤	理工学部	48
	1. 理工学部理工学科数理科学コース、自然科学コース、 社会基盤デザインコース	48
	2. 理工学部理工学科機械科学コース、応用化学システムコース、 電気電子システムコース、知能情報コース、光システムコース	50
	3. 理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム	52
⑥	理工学部夜間主コース	54
	1. 理工学部理工学科社会基盤デザインコース	54
	2. 理工学部理工学科機械科学コース、応用化学システムコース、 電気電子システムコース、知能情報コース	56
⑦	生物資源産業学部	58
⑧	留学生	60

第3章 学部・学科別の履修方法

① 総合科学部

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で35単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数				
				小計			
教 養 科 目 群	歴史と文化		2	2	12		
	人間と生命		2				
	生活と社会		2				
	自然と技術		4				
	ウェルネス総合演習						
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		4	2	8		
	イノベーション科目		2				
	地域科学科目		2				
	医療基盤科目						
基 礎 科 目 群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	3	3		
	高大接続科目						
	基礎数学						
	基礎物理学						
	基礎物理学実験						
	基礎化学						
	基礎化学実験						
	基礎生物学						
	基礎生物学実験						
情報科学	情報科学入門	2					
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	2 ^{**}	12		
		主題別英語	2				
		発信型英語	4				
	初修外国語	ドイツ語入門Ⅰ				2 ^{**}	
		ドイツ語入門Ⅱ					
		フランス語入門Ⅰ					
		フランス語入門Ⅱ					
		中国語入門Ⅰ					
		中国語入門Ⅱ					
		ドイツ語初級Ⅰ					2 ^{**}
		ドイツ語初級Ⅱ					
		フランス語初級Ⅰ					
		フランス語初級Ⅱ					
		中国語初級Ⅰ					
中国語初級Ⅱ							
合計			35				

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門Ⅰ」、「入門Ⅱ」、「初級Ⅰ」、「初級Ⅱ」を履修すること。

(1) 教養科目群（12単位）

「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」の3つの授業科目のそれぞれの中から2単位分ずつの授業科目、「自然と技術」の授業科目の中から4単位分の授業科目を修得してください。その他、「教養科目群の全科目」から2単位分の授業科目を修得してください。

(2) 創成科学科目群（8単位）

「グローバル科目」から4単位分の授業科目、「イノベーション科目」から2単位分の授業科目、「地域科学科目」から2単位分の授業科目を修得してください。

(3) 基礎科目群（3単位）

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

③ 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ科目です。修得した場合は、教養科目群の「自然と技術」2単位として含めることができます。

高大接続科目には、「数学」の他、「物理学」、「化学」、「生物学」の授業があります。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

(4) 外国語科目群（12単位）

英語8単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から4単位の計12単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（8単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語4単位の併せて8単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

総合科学部の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語2クラス

2年前期 発信型英語1クラス 後期 発信型英語1クラス

履修登録上の注意：

1年次の外国語は、月5・6、火3・4、水1・2、木1・2の4つの時間帯に開講されていますが、時間割については、まず初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）を決め、その後に英語を決めてください。初修外国語は学生番号等によるクラス分けがあり、選択した外国語と自分の学生番号によって、「月5・6と水1・2」又は「火3・4と木1・2」のどちらかの時間帯で受講します。英語は、初修外国語の時間割が決まった後、空いた時間帯で受講してください。

② 初修外国語（4単位）

一つの外国語を4単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門Ⅰ・Ⅱ」を前期に2単位、「初級Ⅰ・Ⅱ」を後期に2単位の計4単位を修得してください。

「入門」及び「初級」は学生番号で指定されたペアのクラスで受講することが必要です。

ペアのクラスの授業にはⅠ・Ⅱという枝番がついています。ⅠとⅡをペアとして1週間に指定された同じクラスでそれらの2授業科目を受講し、半期（半年）で2単位分を履修します。

ドイツ語と中国語は1単位ずつ、フランス語は2単位が一括で認定されます。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

<語学マイレージ・プログラム>

語学マイレージ・プログラムは英語を基本としますが、英語以外の語学を専攻している総合科学部の学生でドイツ語、フランス語、中国語の語学マイレージ・プログラムを希望する者は、原則として2年次終了までに総合科学部学務係へ申請してください。

① 語学マイレージ・プログラム【英語】

区分/科目名等		必修/選択	ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	必修	120～200	注1
	発信型英語	必修	120～200	
専門教育科目	Academic English I	選択	60～200	注2
	Academic English II	選択		
	Extensive Reading	選択		
	グローバル日本語交流	選択		
	国際交流・協力体験	選択		
外国語技能検定	TOEIC、TOEFL、実用英語技能検定又はIELTS	必修	10～990	注3
語学教育センターが実施するプログラム		選択	0～上限なし	
語学留学等		選択	30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム（短期プログラム）		選択	0～上限なし	注4
協定校への長期留学プログラム		選択	0～上限なし	注5
その他、総合科学部が実施するプログラム		選択	0～上限なし	注6
スーパー英語		選択	0～80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		選択	0～上限なし	
卒業要件（ポイント合計）			700以上	

(注1) 主題別英語、発信型英語については、それぞれ2授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 5科目の中から高得点の2科目まで採用する。

(注3) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績について、TOEIC-IP成績に換算してポイント化する。

(注4) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注5) 1セメスターにつき500ポイントを付与する。

(注6) 総合科学部が留学と認定したプログラムについては、留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

② 語学マイレージ・プログラム【ドイツ語】

区分/科目名等		必修/選択	ポイント	備考
教養教育科目	ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	注1
	ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習Ⅰ（ドイツ語）	選択	60～100	
	実用外国語基礎演習Ⅱ（ドイツ語）	選択	60～100	
外国語技能検定	ドイツ語技能検定試験	必修	0～950	
語学留学等		選択	30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム（短期プログラム）		選択	0～上限なし	注2
協定校への長期留学プログラム		選択	0～上限なし	注3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		選択	0～上限なし	注4
卒業要件（ポイント合計）			700以上	

(注1) ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ1授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注3) 1セメスターにつき500ポイントを付与する。

(注4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

③ 語学マイレージ・プログラム【フランス語】

区分/科目名等		必修/選択	ポイント	備考
教養教育科目	フランス語入門Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	注1
	フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習Ⅰ(フランス語)	選択	60～100	
	実用外国語基礎演習Ⅱ(フランス語)	選択	60～100	
外国語技能検定	実用フランス語技能検定試験	必修	0～950	
語学留学等		選択	30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム(短期プログラム)		選択	0～上限なし	注2
協定校への長期留学プログラム		選択	0～上限なし	注3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		選択	0～上限なし	注4
卒業要件(ポイント合計)			700以上	

(注1) フランス語入門Ⅰ・Ⅱ、フランス語初級Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ1授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注3) 1 Semesterにつき500ポイントを付与する。

(注4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

④ 語学マイレージ・プログラム【中国語】

区分/科目名等		必修/選択	ポイント	備考
教養教育科目	中国語入門Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	注1
	中国語初級Ⅰ・Ⅱ	必修	120～200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習Ⅰ(中国語)	選択	60～100	
	実用外国語基礎演習Ⅱ(中国語)	選択	60～100	
外国語技能検定	中国語検定試験	選択必修	0～950	どちらか1つを 選択
	中国政府漢語水平考試(HSK)	選択必修	0～950	
語学留学等		選択	30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム(短期プログラム)		選択	0～上限なし	注2
協定校への長期留学プログラム		選択	0～上限なし	注3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		選択	0～上限なし	注4
卒業要件(ポイント合計)			700以上	

(注1) 中国語入門Ⅰ・Ⅱ、中国語初級Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ1授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注3) 1 Semesterにつき500ポイントを付与する。

(注4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

(5) 語学マイレージ・プログラム【英語】

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、選択5科目のうち、高得点の2科目までマイレージポイントに算入します。

外国語技能検定試験は、入学時に TOEIC-IP 又は TOEFL ITP のどちらかを選択することができます。

(6) 語学マイレージ・プログラム【ドイツ語】

教養教育科目は、「ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ」及び「ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、実用外国語基礎演習Ⅰ(ドイツ語)及び実用外国語基礎演習Ⅱ(ドイツ語)が算入されます。

(7) 語学マイレージ・プログラム【フランス語】

教養教育科目は、「フランス語入門Ⅰ・Ⅱ」及び「フランス語初級Ⅰ・Ⅱ」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、実用外国語基礎演習Ⅰ(フランス語)及び実用外国語基礎演習Ⅱ(フランス語)が算入されます。

(8) 語学マイレージ・プログラム【中国語】

教養教育科目は、「中国語入門Ⅰ・Ⅱ」及び「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、実用外国語基礎演習Ⅰ(中国語)及び実用外国語基礎演習Ⅱ(中国語)が算入されます。

② 医学部

1. 医学部医学科

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 42 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数			
				小計		
教 養 科 目 群	歴史と文化		2	2	10	
	人間と生命		2			
	生活と社会		2			
	自然と技術		2			
	ウェルネス総合演習					
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目			2	10	
	イノベーション科目	プロフェッショナルリズム入門	2			
	地域科学科目					
	医療基盤科目	医学心理行動学				2
		実験動物学・放射線概論				2
医と法・倫理			2			
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	2	16	
	高大接続科目	物理学				2
		化学－化学のしくみ－ 生物学 －基礎からの細胞生物学－				
	基礎数学	微分積分学	1			
	基礎物理学	基礎物理学 I・物理学概論	1			
		基礎物理学 II・物理学概論	1			
	基礎物理学実験	基礎物理学実験	2			
	基礎化学	基礎化学	1			
		生化学入門	1			
	基礎化学実験					
	基礎生物学	基礎生物学 M	1			
		解剖生理学入門 M	1			
	基礎生物学実験	基礎生物化学実験 M	2			
情報科学	情報科学入門	2				
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	1	2*	6	
		主題別英語	1			
		発信型英語	2			
	初修外国語	ドイツ語入門				
		フランス語入門				
		中国語入門				
		ドイツ語初級				
		フランス語初級				
中国語初級						
合計			42			

*ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	発信型英語	120～200	必修	評点を2倍する
専門教育科目	terminology	0～100	必修	基礎医学Ⅰ、基礎医学Ⅱ、社会医学
	論文読解・抄録作成	0～100	必修	医学研究実習
	医学英語	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
医学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群 (10 単位)

「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」、「自然と技術」の4つの授業科目からそれぞれ2単位分の授業題目、その他「教養科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(2) 創成科学科目群 (10 単位)

「イノベーション科目」から「プロフェッショナルリズム入門」の1授業題目 (2 単位)、「医療基盤科目」から「医学心理行動学」「実験動物学・放射線概論」「医と法・倫理」の3授業題目 (6 単位)、その他、「創成科学科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群 (16 単位)

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」から大学入学共通テスト出題教科「理科」で、受験の際に選択しなかった科目を1授業題目 (2 単位) 修得してください。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。医学部医学科は卒業に必要な単位です。

高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎数学から「微分積分学」の1授業題目 (1 単位)、基礎物理学から「基礎物理学Ⅰ・物理学概論」「基礎物理学Ⅱ・物理学概論」2授業題目 (2 単位)、基礎物理学実験から「基礎物理学実験」1授業題目 (2 単位)、基礎化学から「基礎化学」「生化学入門」の2授業題目 (2 単位)、基礎生物学から「基礎生物学 M」「解剖生理学入門 M」の2授業題目 (2 単位)、基礎生物学実験から「基礎生物化学実験 M」1授業題目 (2 単位) の合計 11 単位を修得してください。

④ 情報科学は2単位必修の科目です。

(4) 外国語科目群 (6 単位)

英語4単位、初修外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語) から2単位の計6単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語 (4 単位)

「基盤英語」から1授業題目 (1 単位)、「主題別英語」から1授業題目 (1 単位)、「発信型英語」から1授業題目 (2 単位) の合わせて4単位を修得してください。基盤英語及び主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

医学科の履修パターン：1年前期 基盤英語1クラス、
1年後期 主題別英語1クラス、発信型英語1クラス

② 初修外国語 (2 単位)

一つの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情により、すでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「発信型英語」の評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目の「terminology」は「基礎医学Ⅰ」、「基礎医学Ⅱ」、「社会医学」のそれぞれの terminology についての成績を集計し、100点満点に換算します。

「論文読解・抄録作成」は、「医学研究実習」において英語論文読解と英文抄録作成を評価し、100点満点に換算します。

(6) 蔵本 DAY

前期木・金曜日、後期水曜日を“蔵本 DAY”と称し、原則蔵本キャンパスで受講し、科目終了後は Student Lab で医学科の研究室に滞在するなど、蔵本での活動に努めることを推奨しています。

2. 医学部医科栄養学科

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 35 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数		
				小計	
教 養 科 目 群	歴史と文化		8	8	
	人間と生命				
	生活と社会				
	自然と技術				
	ウェルネス総合演習				
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		*	4	
	イノベーション科目		2		
	地域科学科目		*		
	医療基盤科目				
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	15	
	高大接続科目				
	基礎数学	統計学	2		
	基礎物理学				
	基礎物理学実験				
	基礎化学	基礎化学 I ・物理化学 (化学平衡と反応速度論)			2
		基礎化学 II ・有機化学 (ライフサイエンスの基礎)			2
	基礎化学実験	基礎化学実験	2		
	基礎生物学	基礎生物学 N	2		
	基礎生物学実験	基礎生物学実験 N	2		
情報科学	情報科学入門	2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	8	
		主題別英語	2		
		発信型英語	2		
	初修外国語	ドイツ語入門	2*		
		フランス語入門			
		中国語入門			
		ドイツ語初級			
		フランス語初級			
		中国語初級			
合計			35		

*の中から2単位を選択。

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	120～200	必修	
専門教育科目	栄養英語	60～100	必修	4科目の中から高得点の2科目を採用する。履修が1科目のみの場合は評点を2倍する。
	外書講読	60～100	選択	
	臨床栄養学総合演習	60～100	選択	
	ライフステージ栄養学総合演習	60～100	選択	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
医学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群（8単位）

「教養科目群の全科目」から8単位分の授業題目を修得してください。ただし、各授業科目において卒業に必要な単位として認められるのは2単位までです。

(2) 創成科学科目群（4単位）

「イノベーション科目」から2単位分の授業題目を修得してください。「グローバル科目」及び「地域科学科目」の中から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群（15単位）

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ科目です。修得した場合は、教養科目群の「自然と技術」2単位として含めることができます。

高大接続科目には、「数学」の他、「物理学」、「化学」、「生物学」の授業があります。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎数学2単位、基礎化学4単位、基礎化学実験2単位、基礎生物学2単位、基礎生物学実験2単位の合計12単位を修得してください。

④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

医科栄養学科の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス、後期 主題別英語2クラス

2年前期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入されます。「主題別英語」はそのままの評点、「発信型英語」は評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目は、「栄養英語」、「外書講読」、「臨床栄養学総合演習」、「ライフステージ栄養学総合演習」の4科目の中から高得点の2科目の評点をマイレージポイントとして算入します。履修した科目が1科目の場合は、その科目の評点を2倍し、マイレージポイントとします。

3. 医学部保健学科

① 医学部保健学科看護学専攻

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で31単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数	
				小計
教養科目群	歴史と文化		4	16
	人間と生命		4	
	生活と社会		4	
	自然と技術		4	
	ウェルネス総合演習			
創成科学科目群	グローバル科目		2	4
	イノベーション科目	2		
	地域科学科目			
	医療基盤科目			
基礎科目群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	3
	高大接続科目			
	基礎数学			
	基礎物理学			
	基礎物理学実験			
	基礎化学			
	基礎化学実験			
	基礎生物学			
	基礎生物学実験			
情報科学	情報科学入門	2		
外国語科目群	英語	基盤英語	2	8
		主題別英語	2	
		発信型英語	2	
	初修外国語	ドイツ語入門	2 ^{**}	
		フランス語入門		
		中国語入門		
		ドイツ語初級		
		フランス語初級		
	中国語初級			
合計			31	

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	120～200	必修	
専門教育科目	原書講読 I	60～100	必修	履修が1科目の場合は評点を1.6倍する
	国際看護学概論	60～100	選択	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
医学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群 (16 単位)

「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」、「自然と技術」の4つの授業科目のそれぞれの中から2単位分ずつの授業題目を修得してください。

(2) 創成科学科目群 (4 単位)

「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、その他、「創成科学科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群 (3 単位)

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ科目です。修得した場合は、教養科目群の「自然と技術」2単位として含めることができます。

高大接続科目には、「数学」の他、「物理学」、「化学」、「生物学」の授業があります。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群 (8 単位)

英語6単位、初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語 (6 単位)

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

保健学科看護学専攻の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス
2年前期 主題別英語1クラス 後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語 (2 単位)

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入されます。「主題別英語」はそのままの評点、「発信型英語」は評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目は、「原書講読Ⅰ」及び「国際看護学概論」が算入されます。

② 医学部保健学科放射線技術科学専攻

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で37単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数		
				小計	
教 養 科 目 群	歴史と文化		2	12	
	人間と生命		4		
	生活と社会		2		
	自然と技術		4		
	ウェルネス総合演習				
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		*	6	
	イノベーション科目		2		
	地域科学科目		*		
	医療基盤科目		*		
基 礎 科 目 群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	11	
	高大接続科目				
	基礎数学	微分積分学	2		
	基礎物理学	基礎物理学・力学概論	2		
	基礎物理学実験				
	基礎化学	化学の基礎	2		
	基礎化学実験				
	基礎生物学	基礎生物学 H	2		
	基礎生物学実験				
情報科学	情報科学入門	2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	8	
		主題別英語	2		
		発信型英語	2		
	初修外国語	ドイツ語入門	2 ^{**}		
		フランス語入門			
		中国語入門			
		ドイツ語初級			
		フランス語初級			
		中国語初級			
合計			37		

*の中から4単位を選択。ただし、科目毎に上限を2単位とする。

**ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	120～200	必修	
専門教育科目	専門外国語	60～100	選択	履修が1科目の場合 は評点を1.6倍する
	国際医療活動論	60～100	選択	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
医学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群 (12 単位)

「歴史と文化」及び「生活と社会」の2つの授業科目のそれぞれの中から2単位分ずつの授業題目、「人間と生命」及び「自然と技術」の2つの授業科目のそれぞれの中から2単位分ずつの授業題目、合計12単位分の授業題目を修得してください。

(2) 創成科学科目群 (6 単位)

「イノベーション科目」から2単位分の授業題目を修得してください。「グローバル科目」、「地域科学科目」、「医療基盤科目」の中から4単位分の授業題目を修得してください。ただし、科目毎に上限を2単位とします。

(3) 基礎科目群 (11 単位)

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎数学2単位、基礎物理学2単位、基礎化学2単位、基礎生物学2単位の合計8単位を修得してください。

④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群 (8 単位)

英語6単位、初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語 (6 単位)

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

保健学科放射線科学技術専攻の履修パターン：

1 年前期 基盤英語 2 クラス 後期 主題別英語 1 クラス

2 年前期 発信型英語 1 クラス 後期 主題別英語 1 クラス

② 初修外国語 (2 単位)

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入されます。「主題別英語」はそのままの評点、「発信型英語」は評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目は、「専門外国語」及び「国際医療活動論」が算入されます。

③ 医学部保健学科検査技術科学専攻

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 35 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数		
				小計	
教 養 科 目 群	歴史と文化		2	4	12
	人間と生命		2		
	生活と社会		2		
	自然と技術		2		
	ウェルネス総合演習				
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		2	2	8
	イノベーション科目		2		
	地域科学科目				
	医療基盤科目	臨床検査学入門	2		
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	7	7
	高大接続科目				
	基礎数学				
	基礎物理学				
	基礎物理学実験				
	基礎化学	化学の基礎	2		
	基礎化学実験				
	基礎生物学	基礎生物学 H	2		
	基礎生物学実験				
情報科学	情報科学入門	2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	2 ^{**}	8
		主題別英語	2		
		発信型英語	2		
	初修外国語	ドイツ語入門			
		フランス語入門			
		中国語入門			
		ドイツ語初級			
		フランス語初級			
		中国語初級			
合計			35		

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	120～200	必修	
専門教育科目	専門外国語	60～100	必修	履修が1科目の場合 は評点を1.6倍する
	国際医療活動論	60～100	選択	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
医学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群（12単位）

「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」、「自然と技術」の4つの授業科目のそれぞれの中から2単位分ずつの授業題目を修得してください。その他、「教養科目群の全科目」から4単位分の授業題目を修得してください。ただし、ウェルネス総合演習を選択する場合は、2単位までしか認められません。

(2) 創成科学科目群（8単位）

「グローバル科目」から2単位分の授業題目、「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「医療基盤科目」から「臨床検査学入門」（2単位）を修得してください。その他、「創成科学科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群（7単位）

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ科目です。修得した場合は、教養科目群の「自然と技術」2単位として含めることができます。

高大接続科目には、「数学」の他、「物理学」、「化学」、「生物学」の授業があります。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎化学2単位、基礎生物学2単位の合計4単位を修得してください。

④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

保健学科検査技術科学専攻の履修パターン：

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 発信型英語1クラス 後期 主題別英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入されます。「主題別英語」はそのままの評点、「発信型英語」は評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目は、「専門外国語」及び「国際医療活動論」が算入されます。

③ 歯学部

1. 歯学部歯学科

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で40単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数	
				小計
教養科目群	歴史と文化			8
	人間と生命			
	生活と社会	現代科学と研究倫理(知ブラe)	2	
	自然と技術			
	ウェルネス総合演習			
創成科学科目群	グローバル科目			5
	イノベーション科目		2	
	地域科学科目			
基礎科目群	医療基盤科目	臨床心理学	1	19
		口腔と健康	2	
	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	
		高大接続科目	物理学 化学－化学のしくみ－ 生物学－基礎からの細胞生物学－	
	基礎数学	統計学	1	
		微分積分学	1	
	基礎物理学	基礎物理学Ⅰ・物理学概論	1	
		基礎物理学Ⅱ・物理学概論	1	
	基礎物理学実験	基礎物理学実験	2	
	基礎化学	基礎化学Ⅰ・物理化学 (平衡と反応速度)	1	
		基礎化学Ⅱ・有機化学 (ライフサイエンスの基礎)	1	
	基礎化学実験	基礎化学実験	2	
	基礎生物学	基礎生物学 DⅠ	1	
基礎生物学 DⅡ		1		
基礎生物学実験	基礎生物学実験 D	2		
情報科学	情報科学入門	2		
外国語科目群	英語	基盤英語	2	8
		主題別英語	2	
		発信型英語	2	
	初修外国語	ドイツ語入門	2*	
		フランス語入門		
		中国語入門		
		ドイツ語初級		
		フランス語初級		
中国語初級				
合計			40	

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の学生便覧を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	主題別英語2授業題目の平均点
	主題別英語		必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	歯科英語1	120～200	必修	評点を2倍する
	歯科英語2	120～200	必修	評点を2倍する
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		3～上限なし	選択	
語学留学等		30～上限なし	選択	
歯学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群（8単位）

- ① 必修科目として、「生活と社会」から「現代科学と研究倫理」（知プラe科目）を修得してください。
- ② 選択科目として、「教養科目群の全科目」から6単位分の授業題目を修得してください。ただし、各授業科目において卒業に必要な単位として認められるのは、6単位までです。（「生活と社会」は「現代科学と研究倫理」（知プラe科目）も含みます。）ウェルネス総合演習を選択する場合は、2単位までしか認められません。

(2) 創成科学科目群（5単位）

「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「医療基盤科目」から「臨床心理学」（1単位）と「口腔と健康」（2単位）の計3単位を修得してください。

(3) 基礎科目群（19単位）

- ① SIH道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」から大学入学共通テスト出題教科「理科」で、受験の際に選択しなかった科目を1授業題目（2単位）修得してください。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。歯学部歯学科は卒業に必要な単位ですが、大学入学共通テストで受験した科目を履修して修得した単位は卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

- ③ 基礎数学2単位、基礎物理学2単位、基礎物理学実験2単位、基礎化学2単位、基礎化学実験2単位、基礎生物学2単位、基礎生物学実験2単位の合計14単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

歯学科の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス

後期 主題別英語2クラス、発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位の計2単位を履修してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。「主題別英語」は、履修した2授業題目の平均点をマイレージポイントとします。

専門教育科目は、「歯科英語1」及び「歯科英語2」の評点を2倍した点数がマイレージポイントとなります。

2. 歯学部口腔保健学科

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で30単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数	
				小計
教 養 科 目 群	歴史と文化		12	12
	人間と生命			
	生活と社会			
	自然と技術			
	ウェルネス総合演習			
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		4	7
	イノベーション科目	2		
	地域科学科目			
	医療基盤科目	臨床心理学 1		
基 礎 科 目 群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	3
	高大接続科目			
	基礎数学			
	基礎物理学			
	基礎物理学実験			
	基礎化学			
	基礎化学実験			
	基礎生物学			
	基礎生物学実験			
情報科学	情報科学入門	2		
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	8
		主題別英語	2	
		発信型英語	2	
		ドイツ語入門	2**	
	フランス語入門			
	中国語入門			
	ドイツ語初級			
	フランス語初級			
	中国語初級			
合計			30	

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部 of 学生便覧を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	主題別英語2授業題目の平均点
	主題別英語		必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	歯科衛生士概論	24～40	必修	
	早期臨床実習	36～60	必修	
	コミュニケーション論	60～100	選択	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		3～上限なし	選択	
語学留学等		30～上限なし	選択	
歯学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群 (12 単位)

「教養科目群の全科目」から 12 単位分の授業題目を修得してください。ただし、各授業科目において卒業に必要な単位として認められるのは、6 単位までです。ウェルネス総合演習を選択する場合は、2 単位までしか認められません。

(2) 創成科学科目群 (7 単位)

「イノベーション科目」から 2 単位分の授業題目、「医療基盤科目」から「臨床心理学」(1 単位)を修得してください。その他、「創成科学科目群の全科目」から 4 単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群 (3 単位)

① SIH 道場は 1 単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ科目です。修得した場合は、教養科目群の「自然と技術」2 単位として含めることができます。

高大接続科目には、「数学」の他、「物理学」、「化学」、「生物学」の授業があります。これらの授業は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 情報科学は 2 単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群 (8 単位)

英語 6 単位、初修外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語) から 2 単位の計 8 単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語 (6 単位)

基盤英語 2 単位、主題別英語 2 単位、発信型英語 2 単位、合わせて 6 単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は 1 科目 1 単位ですが、発信型英語は 2 単位の授業です。

口腔保健学科の履修パターン：1 年前期 基盤英語 2 クラス 後期 主題別英語 2 クラス

2 年前期 発信型英語 1 クラス

② 初修外国語 (2 単位)

ひとつの外国語を 2 単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期 1 単位、後期 1 単位計 2 単位修得してください。

中国語の指定クラスは「教養教育時間割クラス分け一覧」を参照してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。「主題別英語」は、履修した 2 授業題目の平均点をマイレージポイントとします。

専門教育科目の「歯科衛生士概論」及び「早期臨床実習」は、語学マイレージ・プログラムに該当する部分のみをポイント化しますので、専門教育科目の評価とは異なります。

4 薬学部

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 35 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数	
				小計
教養科目群	歴史と文化		8	8
	人間と生命			
	生活と社会			
	自然と技術			
	ウェルネス総合演習			
創成科学科目群	グローバル科目		2	4
	イノベーション科目			
	地域科学科目			
	医療基盤科目			
基礎科目群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	17
	高大接続科目			
	基礎数学	微分積分学	2	
		統計学	2	
	基礎物理学		2	
		基礎物理学実験		
	基礎化学	基礎化学Ⅰ・電子と有機化学	2	
		基礎化学Ⅱ・細胞生物化学の基礎	2	
		基礎化学Ⅲ・薬の科学	2	
	基礎化学実験			
	基礎生物学		2	
	基礎生物学実験			
情報科学	情報科学入門	2		
外国語科目群	英語	基盤英語	1	6
		主題別英語	1	
		発信型英語	2	
	初修外国語	ドイツ語入門	2 ^{**}	
		フランス語入門		
		中国語入門		
		ドイツ語初級		
		フランス語初級		
		中国語初級		
合計			35	

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	薬学英语1	60～100	必修	
	薬学英语2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		30～200	選択	
薬学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群（8単位）

「教養科目群の全科目」から8単位分の授業題目を修得してください。ただし、各授業科目において卒業に必要な単位として認められるのは、6単位までです。ウェルネス総合演習を選択する場合は、2単位までしか認められません。

(2) 創成科学科目群（4単位）

「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、その他、「創成科学科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群（17単位）

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。高大接続科目（物理学・生物学）を修得した場合、1授業題目（2単位）まで、教養科目群の「自然と技術」に含めることができます。ただし、大学入学共通テスト出題教科「理科」で選択しなかった科目に限ります。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎数学4単位、基礎物理学2単位、基礎化学6単位、基礎生物学2単位の合計14単位を修得してください。それぞれクラス指定がありますので、指定された授業題目を受講してください。

基礎物理学及び基礎生物学を再履修となりクラス指定以外の授業題目を履修する場合は、Web履修登録開始日の原則2週間前までに薬学部学務係に事前相談してください。事前相談で許可された授業題目しか履修登録できません。

④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群（6単位）

英語4単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計6単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（4単位）

基盤英語1単位、主題別英語1単位、発信型英語2単位、合わせて4単位を修得してください。基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

薬学部の履修パターン：1年前期 基盤英語1クラス 後期 主題別英語1クラス
2年前期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ひとつの外国語を2単位のまとまりとして、ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「薬学英語1」及び「薬学英語2」が算入されます。

⑤ 理工学部

1. 理工学部理工学科数理科学コース、自然科学コース、社会基盤デザインコース(昼)

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 39 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数			
				小計		
教 養 科 目 群	歴史と文化	技術者・科学者の倫理	2	6	16	
	人間と生命					
	生活と社会	キャリアプラン	2			
	自然と技術	理工学概論	2			
	ウェルネス総合演習					
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目			2		
	イノベーション科目		2			
	地域科学科目		2			
	医療基盤科目					
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	2	15	
	高大接続科目					
	基礎数学		線形代数学Ⅰ			2
			線形代数学Ⅱ			2
			微分積分学Ⅰ			2
			微分積分学Ⅱ			2
	基礎物理学	基礎物理学・力学概論	2			
	基礎物理学実験					
	基礎化学	基礎化学概論	2			
	基礎化学実験					
	基礎生物学					
基礎生物学実験						
情報科学	情報科学入門	2				
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	2*	8	
		主題別英語	2			
		発信型英語	2			
	初修外国語	ドイツ語入門				
		フランス語入門				
		中国語入門				
		ドイツ語初級				
		フランス語初級				
		中国語初級				
合計			39			

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	技術英語入門	60～100	必修	
	技術英語基礎1	60～100	必修	
	技術英語基礎2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
理工学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群・創成科学科目群（16単位）

- ① 必修科目として、教養科目群の「歴史と文化」から「技術者・科学者の倫理」、「生活と社会」から「キャリアプラン」、「自然と技術」から「理工学概論」を修得してください。
- ② 創成科学科目群の「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。
- ③ その他、教養科目群及び創成科学科目群（医療基盤科目を除く）の中から、6単位分の授業題目を選択し、修得してください。ただし、上記①及び②で修得した授業題目以外で、科目毎に上限を2単位として修得してください。

(2) 基礎科目群（15単位）

- ① SIH 道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

- ③ 基礎数学8単位、基礎物理学2単位、基礎化学2単位の合計12単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(3) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

理工学部履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 発信型英語1クラス 後期 主題別英語1クラス

又は

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 主題別英語1クラス 後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(4) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「技術英語入門」、「技術英語基礎1」及び「技術英語基礎2」が算入されます。

⑤ 理工学部

2. 理工学部理工学科機械科学コース(昼)、応用化学システムコース(昼)、電気電子システムコース(昼)、知能情報コース(昼)、光システムコース

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 39 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数			
				小計		
教養科目群	歴史と文化	技術者・科学者の倫理	2	6	16	
	人間と生命					
	生活と社会	キャリアプラン	2			
	自然と技術	理工学概論	2			
	ウェルネス総合演習					
創成科学科目群	グローバル科目			2		
	イノベーション科目		2			
	地域科学科目		2			
	医療基盤科目					
基礎科目群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	2	15	
	高大接続科目					
	基礎数学	線形代数学Ⅰ				2
		線形代数学Ⅱ				2
		微分積分学Ⅰ				2
		微分積分学Ⅱ				2
	基礎物理学	基礎物理学・力学概論				2
		基礎物理学・電磁気学概論				2
	基礎物理学実験					
	基礎化学					
	基礎化学実験					
基礎生物学						
基礎生物学実験						
情報科学			2			
外国語科目群	英語	情報科学入門	2	2 ^{**}	8	
		基盤英語	2			
		主題別英語	2			
		発信型英語	2			
	初修外国語	ドイツ語入門				
		フランス語入門				
		中国語入門				
		ドイツ語初級				
		フランス語初級				
中国語初級						
合計			39			

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	技術英語入門	60～100	必修	
	技術英語基礎1	60～100	必修	
	技術英語基礎2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
理工学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群・創成科学科目群（16単位）

- ① 必修科目として、教養科目群の「歴史と文化」から「技術者・科学者の倫理」、「生活と社会」から「キャリアプラン」、「自然と技術」から「理工学概論」を修得してください。
- ② 創成科学科目群の「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。
- ③ その他、教養科目群及び創成科学科目群（医療基盤科目を除く）の中から、6単位分の授業題目を選択し、修得してください。ただし、上記①及び②で修得した授業題目以外で、科目毎に上限を2単位として修得してください。

(2) 基礎科目群（15単位）

- ① SIH 道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

- ③ 基礎数学8単位、基礎物理学4単位の合計12単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(3) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

理工学部の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 発信型英語1クラス 後期 主題別英語1クラス

又は

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 主題別英語1クラス 後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(4) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「技術英語入門」、「技術英語基礎1」及び「技術英語基礎2」が算入されます。

⑤ 理工学部

3. 理工学部理工学科医光／医工融合プログラム

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 39 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数		
				小計	
教 養 科 目 群	歴史と文化	技術者・科学者の倫理	2	16	
	人間と生命	医学概論	2		
	生活と社会	キャリアプラン	2		
	自然と技術	理工学概論	2		
	ウェルネス総合演習				
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目				
	イノベーション科目	起業を知ろう	2		
		「ニーズ」からの医療機器開発入門	2		
	地域科学科目		2		
医療基盤科目					
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1		
	高大接続科目				
	基礎数学	線形代数学Ⅰ			2
		線形代数学Ⅱ			2
		微分積分学Ⅰ			2
		微分積分学Ⅱ			2
	基礎物理学	電気磁気学		2	
		基礎物理学・力学概論		2	
	基礎物理学実験				
	基礎化学				
	基礎化学実験				
基礎生物学					
基礎生物学実験					
情報科学	情報科学入門		2		
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2		
		主題別英語	2		
		発信型英語	2		
	初修外国語	ドイツ語入門	2 [*]	8	
		フランス語入門			
		中国語入門			
		ドイツ語初級			
		フランス語初級			
		中国語初級			
合計			39		

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」（1単位）を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修／選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	技術英語入門	60～100	必修	
	技術英語基礎1	60～100	必修	
	技術英語基礎2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
理工学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群・創成科学科目群（16単位）

- ① 必修科目として、教養科目群の「歴史と文化」から「技術者・科学者の倫理」、「人間と生命」から「医学概論」、「生活と社会」から「キャリアプラン」、「自然と技術」から「理工学概論」を修得してください。
- ② 創成科学科目群の「イノベーション科目」から「起業を知ろう」と「ニーズ」からの医療機器開発入門」の2授業題目（4単位）、「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。
- ③ その他、上記①及び②で修得した授業題目以外で、教養科目群及び創成科学科目群（医療基盤科目を除く）の中から、2単位分の授業題目を選択し、修得してください。

ウェルネス総合演習については指定クラスを設けていないため、全学部を対象とするクラスから選択し履修してください。

(2) 基礎科目群（15単位）

- ① SIH 道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

- ③ 基礎数学8単位、基礎物理学4単位の合計12単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(3) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

医光／医工融合プログラムの履修パターン

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス
2年前期 主題別英語1クラス 後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(4) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「技術英語入門」、「技術英語基礎1」及び「技術英語基礎2」が算入されます。

⑥ 理工学部夜間主コース

1. 理工学部理工学科社会基盤デザインコース(夜)

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 39 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数			
				小計		
教 養 科 目 群	歴史と文化	技術者・科学者の倫理	2	6	16	
	人間と生命					
	生活と社会	キャリアプラン	2			
	自然と技術	理工学概論	2			
	ウェルネス総合演習					
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目			6	15	
	イノベーション科目		2			
	地域科学科目		2			
	医療基盤科目					
基 礎 科 目 群	S I H道場	S I H道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	6	15	
	高大接続科目					
	基礎数学		線形代数学Ⅰ			2
			線形代数学Ⅱ			2
			微分積分学Ⅰ			2
			微分積分学Ⅱ			2
	基礎物理学	基礎物理学・力学概論	2			
	基礎物理学実験					
	基礎化学	基礎化学概論	2			
	基礎化学実験					
基礎生物学						
基礎生物学実験						
情報科学	情報科学入門		2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	2 ^{**}	8	
		主題別英語	2			
		発信型英語	2			
	初修外国語	ドイツ語入門				
		フランス語入門				
		中国語入門				
		ドイツ語初級				
		フランス語初級				
中国語初級						
合計			39			

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	技術英語入門	60～100	必修	
	技術英語基礎1	60～100	必修	
	技術英語基礎2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
理工学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群・創成科学科目群（16単位）

- ① 必修科目として、教養科目群の「歴史と文化」から「技術者・科学者の倫理」、「生活と社会」から「キャリアプラン」、「自然と技術」から「理工学概論」を修得してください。
- ② 創成科学科目群の「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。
- ③ その他、教養科目群及び創成科学科目群（医療基盤科目を除く）の中から、6単位分の授業題目を選択し、修得してください。ただし、上記①及び②で修得した授業題目以外で、科目毎に上限を2単位として修得してください。

(2) 基礎科目群（15単位）

- ① SIH道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。
また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。
高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。
- ③ 基礎数学8単位、基礎物理学2単位、基礎化学2単位の合計12単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(3) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

理工学部の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語2クラス
2年前期 発信型英語1クラス

又は

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語2クラス
2年後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(4) 昼間コースの履修登録について

教養科目群（ウェルネス総合演習を除く）、創成科学科目群の授業題目を昼間コースから前期・後期にそれぞれ2授業題目（4単位）まで履修することができます。

昼間コースで履修する場合は、教養教育院 HP の申請用フォーム（Microsoft Forms）から申請してください。教務システムでは履修登録できません。申請用フォーム（Microsoft Forms）からの申請期限は、Web 登録と同じです。

なお、高大接続科目、ドイツ語、フランス語、中国語の授業を昼間コースで履修する場合は、教務システムから登録ができます。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「技術英語入門」、「技術英語基礎1」及び「技術英語基礎2」が算入されます。

⑥ 理工学部夜間主コース

2. 理工学部理工学科機械科学コース(夜)、応用化学システムコース(夜)、電気電子システムコース(夜)、 知能情報コース(夜)

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 39 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数			
				小計		
教 養 科 目 群	歴史と文化	技術者・科学者の倫理	2	6	16	
	人間と生命					
	生活と社会	キャリアプラン	2			
	自然と技術	理工学概論	2			
	ウェルネス総合演習					
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目			2		
	イノベーション科目		2			
	地域科学科目		2			
	医療基盤科目					
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	2	15	
	高大接続科目					
	基礎数学	線形代数学 I				2
		線形代数学 II				2
		微分積分学 I				2
		微分積分学 II				2
	基礎物理学	基礎物理学・力学概論				2
		基礎物理学・電磁気学概論				2
	基礎物理学実験					
	基礎化学					
	基礎化学実験					
基礎生物学						
基礎生物学実験						
情報科学	情報科学入門		2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	2 ^{**}	8	
		主題別英語	2			
		発信型英語	2			
		ドイツ語入門				
	初修外国語	フランス語入門				
		中国語入門				
		ドイツ語初級				
		フランス語初級				
	中国語初級					
合計			39			

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」(1単位)を計2単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第4章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	60～100	必修	
専門教育科目	技術英語入門	60～100	必修	
	技術英語基礎1	60～100	必修	
	技術英語基礎2	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
理工学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700以上		

(1) 教養科目群・創成科学科目群（16単位）

- ① 必修科目として、教養科目群の「歴史と文化」から「技術者・科学者の倫理」、「生活と社会」から「キャリアプラン」、「自然と技術」から「理工学概論」を修得してください。
- ② 創成科学科目群の「イノベーション科目」から2単位分の授業題目、「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。
- ③ その他、教養科目群及び創成科学科目群（医療基盤科目を除く）の中から、6単位分の授業題目を選択し、修得してください。ただし、上記①及び②で修得した授業題目以外で、科目毎に上限を2単位として修得してください。

(2) 基礎科目群（15単位）

- ① SIH道場は1単位必修の科目です。
- ② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。
また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。自由に選択できる科目ですが、卒業に必要な単位として認められないので注意してください。
高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。
- ③ 基礎数学8単位、基礎物理学4単位の合計12単位を修得してください。
- ④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(3) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

理工学部の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語2クラス
2年前期 発信型英語1クラス

又は

1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語2クラス
2年後期 発信型英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(4) 昼間コースの履修登録について

教養科目群（ウェルネス総合演習を除く）、創成科学科目群の授業題目を昼間コースから前期・後期にそれぞれ2授業題目（4単位）まで履修することができます。

昼間コースで履修する場合は、教養教育院 HP の申請用フォーム（Microsoft Forms）から申請してください。教務システムでは履修登録できません。申請用フォーム（Microsoft Forms）からの申請期限は、Web 登録と同じです。

なお、高大接続科目、ドイツ語、フランス語、中国語の授業を昼間コースで履修する場合は、教務システムから登録ができます。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入され、それぞれの評点がマイレージポイントになります。

専門教育科目は、「技術英語入門」、「技術英語基礎1」及び「技術英語基礎2」が算入されます。

7 生物資源産業学部

卒業に必要な教養教育の単位数は総計で 33 単位です。

(単位数)

科目群	授業科目	授業題目	単位数		
				小計	
教 養 科 目 群	歴史と文化		6	2	8
	人間と生命				
	生活と社会				
	自然と技術				
	ウェルネス総合演習				
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		2	6	
	イノベーション科目		2		
	地域科学科目		2		
	医療基盤科目				
基 礎 科 目 群	S I H 道場	S I H 道場 ～アクティブ・ラーニング入門～	1	11	
	高大接続科目				
	基礎数学	統計学	2		
	基礎物理学	基礎物理学	2		
	基礎物理学実験				
	基礎化学	基礎化学	2		
	基礎化学実験	基礎化学実験	2		
	基礎生物学				
	基礎生物学実験				
情報科学	情報科学入門	2			
外 国 語 科 目 群	英語	基盤英語	2	8	
		主題別英語	2		
		発信型英語	2		
	初修外国語	ドイツ語入門	2*		
		フランス語入門			
		中国語入門			
		ドイツ語初級			
		フランス語初級			
		中国語初級			
合計			33		

※ひとつの外国語を選択し、その外国語の「入門」（1 単位）を計 2 単位履修すること。

<語学マイレージ・プログラム>

卒業に必要な語学マイレージ・プログラムの基準は次のとおりです。

詳細は第 4 章及び学部の履修の手引を参照してください。

区分	授業科目名等	ポイント	必修/選択	備考
教養教育科目	主題別英語	60～100	必修	2 授業題目を履修すること
	主題別英語	60～100	必修	
	発信型英語	120～200	必修	
専門教育科目	生物資源産業学基礎英語	60～100	必修	
	生物資源産業学専門英語	60～100	必修	
	英語論文講読Ⅰ	60～100	必修	
	英語論文講読Ⅱ	60～100	必修	
外国語技能検定試験	TOEIC 又は TOEIC-IP	10～990	必修	
語学教育センターが実施するプログラム		0～	選択	
語学留学等		0～100	選択	
生物資源産業学部が実施するプログラム		0～	選択	詳細は別に定める
その他のプログラム		0～	選択	
卒業要件		700 以上		

(1) 教養科目群（8単位）

「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」、「自然と技術」の4つの授業科目の中から3授業科目を選択し、それぞれ2単位分の授業題目（6単位）を修得してください。その他、「教養科目群の全科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(2) 創成科学科目群（6単位）

「グローバル科目」から2単位分の授業題目を修得してください。「イノベーション科目」から2単位分の授業題目を修得してください。「地域科学科目」から2単位分の授業題目を修得してください。

(3) 基礎科目群（11単位）

① SIH 道場は1単位必修の科目です。

② 高大接続科目の「数学」は、数Ⅲについての補習的な内容を含んだ授業です。また、高大接続科目の「物理学」、「化学」、「生物学」は単なる高校の補習ではありません。高校の物理学・化学・生物学を勉強しながら、身の回りの出来事を理解し、さらには基礎物理学・基礎化学・基礎生物学への繋がりを目指した授業です。

「数学」、「物理学」、「化学」、「生物学」を修得した場合、1授業題目（2単位）まで、教養科目群の「自然と技術」の単位に充てることができます。ただし、下記のように、入学時の選抜方法によって、「自然と技術」の単位に充てることができる授業題目が異なるので注意してください。

〔「自然と技術」に充てることができる授業題目〕

1) 大学入学共通テストを課す入試により入学した者

（「一般選抜（前期日程・後期日程）」又は「学校推薦型選抜Ⅱ」の合格者）

・・・「数学」又は「大学入学共通テストの理科で選択しなかった科目」

2) 大学入学共通テストを課さない入試により入学した者

（「学校推薦型選抜Ⅰ」又は「私費外国人留学生選抜（渡日前入学許可制度による入試を含む）」もしくは「第3年次編入学試験」の合格者）

・・・「数学」又は「化学」

高校までの英語学習を振りかえり大学での学びに備えること、さらには自律的に学修を続けるための基礎と習慣を確立するため、高大接続科目に「英語」が開講されています。卒業の単位として認められませんが、マイレージポイントに算入されます。

③ 基礎数学2単位、基礎物理学2単位、基礎化学2単位、基礎化学実験2単位の合計8単位を修得してください。

④ 情報科学は2単位必修の科目で、クラス指定があります。

(4) 外国語科目群（8単位）

英語6単位、初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）から2単位の計8単位を修得してください。外国語科目については、受講者の調整を行うため、クラス指定があるものがあります。

① 英語（6単位）

基盤英語2単位、主題別英語2単位、発信型英語2単位、合わせて6単位を修得してください。

基盤英語と主題別英語は1科目1単位ですが、発信型英語は2単位の授業です。

生物資源産業学部の履修パターン：1年前期 基盤英語2クラス 後期 主題別英語1クラス

2年前期 発信型英語1クラス 後期 主題別英語1クラス

② 初修外国語（2単位）

ドイツ語、フランス語、中国語からいずれかひとつを選択し、その外国語の「入門」を前期1単位、後期1単位計2単位修得してください。

特別な事情によりすでに相当の知識・技能を有している外国語を、初修外国語として履修するのは望ましくないこともあります。このような場合は、事前に関係教員と相談してください。

(5) 語学マイレージ・プログラム

教養教育科目は、「主題別英語」及び「発信型英語」が算入されます。「主題別英語」はそのままの評点、「発信型英語」は評点を2倍し、マイレージポイントに算入します。

専門教育科目は、「生物資源産業学基礎英語」、「生物資源産業学専門英語」、「英語論文講読Ⅰ」及び「英語論文講読Ⅱ」が算入されます。

⑧ 留 学 生

留学生のみなさんには、所属する学部・学科の履修方法に加え、次の方法が認められています。

- 1 外国人留学生対象の科目として、日本事情（Ⅰ～Ⅳ）が開講されています。外国人留学生が、日本事情の単位を修得したときは、教養科目群の「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」もしくは「自然と技術」又は創成科学科目群の「グローバル科目」もしくは「地域科学科目」の単位に充てることができます。

具体的な題目については年度により異なることがありますので、日本事情担当教員に問い合わせてください。

- 2 外国人留学生対象の科目として、日本語（1～8）が開講されています。外国人留学生が、日本語の単位を修得したときは、外国語科目群の「英語」又は「初修外国語」の単位に充てることができます。日本語1～8が開講され、1年生、2年生共にどの授業も受講することができます。

語学マイレージ・プログラム【英語】（総合科学部は4言語から選択）に基づき、英語を履修する必要がありますが、特例として、語学マイレージ・プログラムのマイレージポイントに算入できることがありますので、履修前に教育支援課教養教育係へ問い合わせてください。

- 3 コミュニケーションのための日本語1～10は、特別聴講学生（非正規生）用に開講されている科目です。正規生は受講できません。

第4章

語学マイレージ・プログラム

第4章 語学マイレージ・プログラム

1. 目的

語学マイレージ・プログラムは、学部教育において一貫した語学教育体制を構築し、学生の目標・目的に合った語学力、コミュニケーション力・自己主導型学修力を養うことにより、十分な語学運用能力を持つ人材を育成することを目的にしています。

2. 概要

語学マイレージ・プログラムは英語を基本としますが、英語以外の語学を専攻している学生のために、総合科学部ではドイツ語、フランス語、中国語の語学マイレージ・プログラムを用意しています。

語学マイレージ・プログラムは、

- ①教養教育科目の外国語科目の成績
- ②専門教育科目の外国語関連科目の成績
- ③外国語技能検定試験の成績
- ④教養教育院語学教育センターが実施する語学教育プログラムの履修
- ⑤語学留学等の実績
- ⑥各学部が実施する語学教育プログラムの履修
- ⑦その他マイレージ・プログラムの対象として認めた事項

からなり、それぞれの点数をマイレージポイントとして加算します。マイレージポイントの合計によってマイレージレベルが上がっていき、**ブロンズクラス以上（700ポイント以上）が卒業要件**となります。ブロンズクラスに達しない場合は卒業できないので注意してください。指定する科目やマイレージレベルのポイントは、学部によって異なります。

大部分の者は①～③でブロンズクラスに達するようになっていますが、それだけではブロンズクラスに達しない場合、④～⑦のプログラムを受講し、ポイントを加算することが可能です。

なお、④～⑦のプログラムは英語が苦手な人だけに提供するものではありません。積極的に選択プログラムにチャレンジし、さらに語学力の向上に努めてください。成績上位の者は、成績優秀者として学部長表彰・学長表彰の対象になりますので、就職活動等に生かすことができます。

① 教養教育科目の外国語科目の成績

外国語科目群の英語、ドイツ語、フランス語、中国語が指定されています。指定科目及びマイレージポイントの換算方法は、学部学科により異なります。

② 専門教育科目の外国語関連科目の成績

それぞれの学部で開講されている語学教育に関する専門教育科目のうち、数科目が指定されています。指定科目及びマイレージポイントの換算方法は、学部学科により異なります。

③ 外国語技能検定試験の成績

学部によって、語学検定の種類が TOEIC-IP または TOEFL ITP のどちらかに指定されています。総合科学部の場合は入学時に選択することができ、TOEFL ITP の点数は、TOEIC-IP の点数へ換算して使用します。

試験は1年次及び3年次にそれぞれ1回ずつ受験し、高得点のものを採用します。大学で一斉に実施する試験の他、在学期間中及び休学期間中に個人で受験した試験の点数をマイレージポイントに認定することも可能です。在学中は何度でも高得点の成績に更新することができます。ただし、入学前に受験して取得した外国語技能検定試験は該当しません。

TOEIC-IP、TOEFL ITP の他、TOEFL iBT や IELTS 等も使用できます。それぞれの換算点数は、各学部学務（教務）係又は教育支援課教養教育係へ問い合わせてください。

④ 語学教育センターが実施するプログラムの履修

地域創生・国際交流会館1・2階にある多言語交流コモンラウンジ及び英語学習・コミュニケーションプラザ（English Learning Communication Space：通称 ELCS^{エルクス}）では、正課外に多様なワークショップやイベント等の英語プログラムを実施しています。この英語プログラムを修了することで、マイレージポイントが認定されます。各種プログラムは、オンラインで行なわれることがあります。

プログラムの日程や内容等については、語学教育センター HP (<https://www.las.tokushima-u.ac.jp/language-education-center/>) で確認してください。

令和4年度から、高大接続科目に「英語」が開講されました。高大接続科目の「英語」の単位を修得したときは、卒業に必要な単位には含まれませんが、語学教育センターが実施するプログラムのマイレージポイントに算入されます。

⑤ 語学留学等の実績

本学の指定大学が主催する語学研修を受講し、成績評価が合格に達した者に対し、各学部が語学マイレージ・プログラムで指定した教養教育科目の単位を認定（履修の手引10ページ参照）するとともに、語学マイレージ・プログラムの「語学留学等」のマイレージポイントを加算します。マイレージポイントは、研修内容、研修時間数や取得した成績等及び面接によりポイントが認定されます。

ただし、各学部の語学マイレージ・プログラムで指定した教養教育科目について適用し、各学部が指定していない教養教育科目については単位認定とします。

その他、指定大学以外での語学留学についても、マイレージポイントを認定することがあります。

詳しくは、各学部学務（教務）係又は教育支援課教養教育係へ問い合わせてください。

⑥ 各学部が実施する語学教育プログラムの履修

各学部が独自に実施する語学プログラムに参加すれば、マイレージポイントが加算されます。

⑦ その他マイレージ・プログラムの対象として認めた事項

e-learningで受講できる「スーパー英語」のほか、各学部で独自の語学プログラムを用意しています。詳細は各学部学務（教務）係にお問い合わせください。

3. 卒業要件

卒業要件を満たすためには、各学部で定める修得単位のほか、マイレージレベルのうちブロンズクラス以上（700ポイント以上）を取得していなければなりません。

(1) 総合科学部

総合科学部の学生には、4言語での語学マイレージ・プログラムを提供しています。基本は【英語】としていますが、【フランス語】【ドイツ語】【中国語】を希望する場合は、原則として2年次終了までに総合科学部学務係へ申請してください。

語学マイレージレベル（総合科学部共通）

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	1,200 以上	
ゴールドクラス	1,000 ～ 1,199	
ブロンズクラス	700 ～ 999	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	600 ～ 699	
ビジタークラス	600 未満	

① 語学マイレージ・プログラム【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120 ～ 200	注 1
	発信型英語	120 ～ 200	
専門教育科目	Academic English I	60 ～ 200	注 2
	Academic English II		
	Extensive Reading		
	グローバル日本語交流		
	国際交流・協力体験		
外国語技能検定	TOEIC、TOEFL、実用英語技能検定又は IELTS	10 ～ 990	注 3
語学教育センターが実施するプログラム		0 ～ 上限なし	
語学留学等		30 ～ 200	
海外実践プロジェクトのプログラム（短期プログラム）		0 ～ 上限なし	注 4
協定校への長期留学プログラム		0 ～ 上限なし	注 5
その他、総合科学部が実施するプログラム		0 ～ 上限なし	注 6
スーパー英語		0 ～ 80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0 ～ 上限なし	

(注 1) 主題別英語、発信型英語については、それぞれ 2 授業科目を履修することとし、1 授業科目に対して 60 ～ 100 ポイントを付与する。

(注 2) 5 科目の中から高得点の 2 科目まで採用する。

(注 3) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績については、TOEIC-IP 成績に換算してポイント化する。

(注 4) 認定単位 1 単位につき 25 ポイントを付与する。

(注 5) 1 セメスターにつき 500 ポイントを付与する。

(注 6) 総合科学部が留学と認定したプログラムについては、留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1 日につき 1 ポイント付与する。

② 語学マイレージ・プログラム【ドイツ語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	ドイツ語入門 I・II	120 ～ 200	注 1
	ドイツ語初級 I・II	120 ～ 200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習 I（ドイツ語）	60 ～ 100	
	実用外国語基礎演習 II（ドイツ語）	60 ～ 100	
外国語技能検定	ドイツ語技能検定試験	0 ～ 950	
語学留学等		30 ～ 200	
海外実践プロジェクトのプログラム（短期プログラム）		0 ～ 上限なし	注 2
協定校への長期留学プログラム		0 ～ 上限なし	注 3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		0 ～ 上限なし	注 4

(注 1) ドイツ語入門 I・II、ドイツ語初級 I・II については、それぞれ 1 授業科目を履修することとし、1 授業科目に対して 60 ～ 100 ポイントを付与する。

(注 2) 認定単位 1 単位につき 25 ポイントを付与する。

(注 3) 1 セメスターにつき 500 ポイントを付与する。

(注 4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1 日につき 1 ポイント付与する。

③ 語学マイレージ・プログラム【フランス語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	フランス語入門Ⅰ・Ⅱ	120～200	注1
	フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	120～200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習Ⅰ(フランス語)	60～100	
	実用外国語基礎演習Ⅱ(フランス語)	60～100	
外国語技能検定	実用フランス語技能検定試験	0～950	
語学留学等		30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム(短期プログラム)		0～上限なし	注2
協定校への長期留学プログラム		0～上限なし	注3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		0～上限なし	注4

(注1) フランス語入門Ⅰ・Ⅱ、フランス語初級Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ1授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注3) 1 Semesterにつき500ポイントを付与する。

(注4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

④ 語学マイレージ・プログラム【中国語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	中国語入門Ⅰ・Ⅱ	120～200	注1
	中国語初級Ⅰ・Ⅱ	120～200	
専門教育科目	実用外国語基礎演習Ⅰ(中国語)	60～100	
	実用外国語基礎演習Ⅱ(中国語)	60～100	
外国語技能検定	中国語検定試験又はHSK	0～950	
語学留学等		30～200	
海外実践プロジェクトのプログラム(短期プログラム)		0～上限なし	注2
協定校への長期留学プログラム		0～上限なし	注3
その他、総合科学部が留学と認定したプログラム		0～上限なし	注4

(注1) 中国語入門Ⅰ・Ⅱ、中国語初級Ⅰ・Ⅱについては、それぞれ1授業科目を履修することとし、1授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 認定単位1単位につき25ポイントを付与する。

(注3) 1 Semesterにつき500ポイントを付与する。

(注4) 留学願が許可された学生による付与申請に基づき、留学プログラムの内容等を教務委員会にて審議の上、1日につき1ポイント付与する。

(2) 医学部

語学マイレージレベル (医学部共通)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	1,200 以上	
ゴールドクラス	1,000 ~ 1,199	
ブロンズクラス	700 ~ 999	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	600 ~ 699	
ビジタークラス	600 未満	

① 医学科

語学マイレージ・プログラム 【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	発信型英語	120 ~ 200	注 1
専門教育科目	terminology	0 ~ 100	注 2
	論文読解・抄録作成	0 ~ 100	注 3
	医学英語	60 ~ 100	
外国語技能検定	TOEFL ITP	310 ~ 677	注 4
語学教育センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	
語学留学		30 ~ 200	留学 1 回につき
USMLE		20	受験 注 5
		100	合格
日本医学英語検定試験		5	受験 注 5
		30	基礎級 (4 級) 注 6
		45	準応用級 (準 3 級) 注 6
		60	応用級 (3 級) 注 6
		100	プロフェッショナル級 (2 級) 注 6
		200	エキスパート級 (1 級) 注 6
留学生のキャンパスアテンダント担当		1	1 日につき
留学生との交流会・勉強会・講習会		1	参加のみ 1 回につき
		2	プレゼン等 1 回につき
		3	企画担当 1 回につき
国際学会発表 (演者のみ)		20	学会発表 1 回につき
英語論文発表 (筆頭著者のみ)		50	論文発表 1 回につき
海外留学		20	文化交流 1 回につき
		30	実習 1 週につき
スーパー英語		0 ~ 80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	

(注 1) 評点を 2 倍する。

(注 2) 「基礎医学 I」、「基礎医学 II」、「社会医学」のそれぞれの terminology についての成績を集計し、100 点満点に換算する。

(注 3) 「医学研究実習」において英語論文読解と英文抄録作成を評価し、100 点満点に換算する。

(注 4) TOEFL iBT を受験した場合は、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注 5) 不合格の場合は受験ポイントのみを付与し、合格の場合は規定のポイントに加えて受験ポイントを付与する。

(注 6) 同一試験の上位級取得による申請においては、上位級のポイントを上限とし、既にポイント付与済みの等級との差分を付与する。

② 医科栄養学科

語学マイレージ・プログラム【英語】

区分	授業科目名等	ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120～200	注1
	発信型英語	120～200	注2
専門教育科目	栄養英語	120～200	注3
	外書講読		
	臨床栄養学総合演習		
	ライフステージ栄養学総合演習		
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	注4
語学教育センターが実施するプログラム		0～上限なし	
語学留学		30～200	留学1回につき
日本医学英語検定試験		5	受験 注5
		30	基礎級（4級）注6
		45	準応用級（準3級）注6
		60	応用級（3級）注6
		100	プロフェッショナル級（2級）注6
		200	エキスパート級（1級）注6
留学生のキャンパスアテンダント担当		1	1日につき
留学生との交流会・勉強会・講習会		1	参加のみ1回につき
		2	プレゼン等1回につき
		3	企画担当1回につき
国際学会発表（演者のみ）		20	学会発表1回につき
英語論文発表（筆頭著者のみ）		50	論文発表1回につき
海外留学		20	文化交流1回につき
		30	実習1週につき
スーパー英語		0～80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0～上限なし	

(注1) 主題別英語については、2授業科目を履修することとし、それぞれの授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 評点を2倍する。

(注3) 4科目の中から高得点の2科目を採用する。履修が1科目の場合は評点を2倍する。

(注4) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績については、TOEFL ITP成績に換算してポイント化する。

(注5) 不合格の場合は受験ポイントのみを付与し、合格の場合は規定のポイントに加えて受験ポイントを付与する。

(注6) 同一試験の上位級取得による申請においては、上位級のポイントを上限とし、既にポイント付与済みの等級との差分を付与する。

③ 保健学科看護学専攻

語学マイレージ・プログラム【英語】

区分	授業科目名等	ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120～200	注1
	発信型英語	120～200	注2
専門教育科目	原書講読 I	60～100	注3
	国際看護学概論	60～100	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	注4
語学教育センターが実施するプログラム		0～上限なし	
語学留学		30～200	留学1回につき
日本医学英語検定試験		5	受験 注5
		30	基礎級（4級）注6
		45	準応用級（準3級）注6
		60	応用級（3級）注6
		100	プロフェッショナル級（2級）注6
		200	エキスパート級（1級）注6
留学生のキャンパスアテンダント担当		1	1日につき
国際学会発表（演者のみ）		20	学会発表1回につき
英語論文発表（筆頭著者のみ）		50	論文発表1回につき
海外留学		30	1週につき
スーパー英語		0～80	
看護学専攻が実施する英語学修プログラム		0～300	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0～上限なし	

(注1) 主題別英語については、2授業科目を履修することとし、それぞれの授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 評点を2倍する。

(注3) 履修が1科目の場合は評点を1.6倍する。

(注4) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注5) 不合格の場合は受験ポイントのみを付与し、合格の場合は規定のポイントに加えて受験ポイントを付与する。

(注6) 同一試験の上位級取得による申請においては、上位級のポイントを上限とし、既にポイント付与済みの等級との差分を付与する。

④ 保健学科放射線技術科学専攻

語学マイレージ・プログラム【英語】

区分	授業科目名等	ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120～200	注1
	発信型英語	120～200	注2
専門教育科目	専門外国語	60～100	注3
	国際医療活動論	60～100	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	注4
語学教育センターが実施するプログラム		0～上限なし	
語学留学		30～200	留学1回につき
日本医学英語検定試験		5	受験 注5
		30	基礎級（4級）注6
		45	準応用級（準3級）注6
		60	応用級（3級）注6
		100	プロフェッショナル級（2級）注6
		200	エキスパート級（1級）注6
留学生のキャンパスアテンダント担当		1	1日につき
国際学会発表（演者のみ）		20	学会発表1回につき
英語論文発表（筆頭著者のみ）		50	論文発表1回につき
海外留学		30	1週につき
スーパー英語		0～80	
放射線技術科学専攻が実施する英語学修プログラム		0～300	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0～上限なし	

(注1) 主題別英語については、2授業科目を履修することとし、それぞれの授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 評点を2倍する。

(注3) 履修が1科目の場合は評点を1.6倍する。

(注4) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注5) 不合格の場合は受験ポイントのみを付与し、合格の場合は規定のポイントに加えて受験ポイントを付与する。

(注6) 同一試験の上位級取得による申請においては、上位級のポイントを上限とし、既にポイント付与済みの等級との差分を付与する。

⑤ 保健学科検査技術科学専攻

語学マイレージ・プログラム【英語】

区分	授業科目名等	ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120～200	注1
	発信型英語	120～200	注2
専門教育科目	専門外国語	60～100	注3
	国際医療活動論	60～100	
外国語技能検定試験	TOEFL ITP	310～677	注4
語学教育センターが実施するプログラム		0～上限なし	
語学留学		30～200	留学1回につき
日本医学英語検定試験		5	受験 注5
		30	基礎級（4級）注6
		45	準応用級（準3級）注6
		60	応用級（3級）注6
		100	プロフェッショナル級（2級）注6
		200	エキスパート級（1級）注6
留学生のキャンパスアテンダント担当		1	1日につき
国際学会発表（演者のみ）		20	学会発表1回につき
英語論文発表（筆頭著者のみ）		50	論文発表1回につき
海外留学		30	1週につき
スーパー英語		0～80	
検査技術科学専攻が実施する英語学修プログラム		0～300	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0～上限なし	

(注1) 主題別英語については、2授業科目を履修することとし、それぞれの授業科目に対して60～100ポイントを付与する。

(注2) 評点を2倍する。

(注3) 履修が1科目の場合は評点を1.6倍する。

(注4) その他の外国語技能検定試験（英語）の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注5) 不合格の場合は受験ポイントのみを付与し、合格の場合は規定のポイントに加えて受験ポイントを付与する。

(注6) 同一試験の上位級取得による申請においては、上位級のポイントを上限とし、既にポイント付与済みの等級との差分を付与する。

(3) 歯学部

① 歯学科

語学マイレージレベル (歯学科)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	1,100 以上	
ゴールドクラス	900 ~ 1,099	
ブロンズクラス	700 ~ 899	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	500 ~ 699	
ビジタークラス	500 未満	

語学マイレージ・プログラム【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	60 ~ 100	注 1
	発信型英語	60 ~ 100	
専門教育科目	歯科英語 1	120 ~ 200	注 2
	歯科英語 2	120 ~ 200	注 2
外国語技能検定	TOEFL ITP	310 ~ 677	注 3
語学教育センターが実施するプログラム		3 ~ 上限なし	
語学留学		30 ~ 上限なし	注 4
歯学部が実施するプログラム (国際学会発表)		30 ~ 上限なし	1 回につき
歯学部が実施するプログラム (国際交流活動・IFR)	留学生の滞在アテンダント担当	10	注 5
	留学生との交流会	3	注 5 1 回につき
	論文の抄読会	3	
	国際学会発表・交換学生プログラムにおける派遣先での発表のリハーサル	3	
	自由討論	3	
スーパー英語		0 ~ 80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	

(注 1) 主題別英語の 2 授業題目の平均点とする。

(注 2) 専門英語 歯科英語 1 及び歯科英語 2 の点数 (100 点満点) × 2 とする。

(注 3) その他の外国語技能検定試験 (英語) の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注 4) 歯学部では、インドネシア及びフィンランドプログラムに 30 ポイント。夏季あるいは春季の短期語学研修 (高等教育研究センター実施) にも 30 ポイント加算する。

(注 5) 国際交流活動 (IFR での活動を中心としたプログラム)、国際学会発表には加点をする。

② 口腔保健学科

語学マイレージレベル (口腔保健学科)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	900 以上	
ゴールドクラス	800 ~ 899	
ブロンズクラス	700 ~ 799	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	500 ~ 699	
ビジタークラス	500 未満	

語学マイレージ・プログラム【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	60 ~ 100	注 1
	発信型英語	60 ~ 100	
専門教育科目	歯科衛生士概論	24 ~ 40	注 2
	早期臨床実習	36 ~ 60	
	コミュニケーション論	60 ~ 100	
外国語技能検定	TOEFL ITP	310 ~ 677	注 3
語学教育センターが実施するプログラム		3 ~ 上限なし	
語学留学		30 ~ 上限なし	注 4
歯学部が実施するプログラム (国際学会発表)		30 ~ 上限なし	1 回につき
歯学部が実施するプログラム (国際交流活動・IFR)	留学生の滞在アテンダント担当	10	注 5
	留学生との交流会	3	注 5 1 回につき
	論文の抄読会	3	
	国際学会発表・交換学生プログラムにおける派遣先での発表のリハーサル	3	
	自由討論	3	
スーパー英語		0 ~ 80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	

(注 1) 主題別英語の 2 授業題目の平均点とする。

(注 2) 専門英語 歯科衛生士概論 (Dental Hygiene in English)・早期臨床実習 (実践歯科英語)・コミュニケーション論を合計 (200 点満点)

(注 3) その他の外国語技能検定試験 (英語) の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(注 4) 歯学部では、インドネシア及びフィンランドプログラムに 30 ポイント。夏季あるいは春季の短期語学研修 (高等教育研究センター実施) にも 30 ポイント加算する。

(注 5) 国際交流活動 (IFR での活動を中心としたプログラム)、国際学会発表には加点をする。

(4) 薬学部

語学マイレージレベル (薬学部共通)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	900 以上	
ゴールドクラス	800 ~ 899	
ブロンズクラス	700 ~ 799	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	650 ~ 699	
ビジタークラス	650 未満	

語学マイレージ・プログラム 【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	60 ~ 100	
	発信型英語	60 ~ 100	
専門教育科目	薬学英語 1	60 ~ 100	
	薬学英語 2	60 ~ 100	
外国語技能検定	TOEFL ITP	310 ~ 677	注 1
語学教育センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	
語学留学		30 ~	
スーパー英語		0 ~ 80	
高等教育研究センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	
薬学部が実施するプログラム (英語論文発表)		50	1 件につき
薬学部が実施するプログラム (国際学会発表)		20	1 件につき
薬学部が実施するプログラム (海外留学、海外研究機関等への研究研修)		0 ~ 200	語学留学に該当するものを除く
薬学部が実施するプログラム		0 ~ 上限なし	

(注 1) その他の外国語技能検定試験 (英語) の成績については、TOEFL ITP 成績に換算してポイント化する。

(5) 理工学部

語学マイレージレベル (理工学部共通)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	1,200 以上	
ゴールドクラス	1,000 ~ 1,199	
ブロンズクラス	700 ~ 999	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	500 ~ 699	
ビジタークラス	500 未満	

語学マイレージ・プログラム【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120 ~ 200	注 1
	発信型英語	60 ~ 100	
専門教育科目	技術英語入門	60 ~ 100	
	技術英語基礎 1	60 ~ 100	
	技術英語基礎 2	60 ~ 100	
外国語技能検定	TOEIC 又は TOEIC-IP	10 ~ 990	注 2
語学教育センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	
語学留学		0 ~ 100	
国際連携教育開発センターが実施するプログラムで理工学部が認定するもの		0 ~ 100 (注 3)	注 4
高等教育研究センターが実施するプログラムで理工学部が認定するもの			注 5
理工学部が認定する海外留学プログラム			注 6
理工学部等が実施するプログラム			注 7
スーパー英語		0 ~ 80	

(注 1) 主題別英語については、2 授業科目を履修することとし、それぞれの授業科目に対して 60 ~ 100 マイレージポイントを付与する。

(注 2) その他の外国語技能検定試験 (英語) の成績については、TOEIC-IP に換算してマイレージポイント化する。

(注 3) 左欄に定めるプログラムのマイレージポイントを合計した上限は、100 マイレージポイントまでとする。

(注 4) 協定校と実施するサマースクール等に参加した学生に、1 日につき 1 マイレージポイントを付与する。その他本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえマイレージポイントを付与する。

(注 5) 本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。

(注 6) 留学を許可された学生に、留学プログラムの内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。ただし、他のプログラム等でマイレージポイントが付与される場合を除く。

(注 7) 本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。

(6) 生物資源産業学部

語学マイレージレベル (生物資源産業学部共通)

クラス	ポイント合計	備考
プラチナクラス	1,200 以上	
ゴールドクラス	1,000 ~ 1,199	
ブロンズクラス	700 ~ 999	700 ポイント以上が卒業要件
フリークエントクラス	500 ~ 699	
ビジタークラス	500 未満	

語学マイレージ・プログラム【英語】

科目等		ポイント	備考
教養教育科目	主題別英語	120 ~ 200	注 1
	発信型英語	120 ~ 200	注 2
専門教育科目	生物資源産業学基礎英語	60 ~ 100	
	生物資源産業学専門英語	60 ~ 100	
	英語論文講読 I	60 ~ 100	
	英語論文購読 II	60 ~ 100	
外国語技能検定	TOEIC 又は TOEIC-IP	10 ~ 990	注 3
語学教育センターが実施するプログラム		0 ~ 上限なし	
語学留学等		0 ~ 100	
国際連携教育研究センターが実施するプログラムで生物資源産業学部が認定するもの		0 ~ 100	注 4
高等教育研究センターが実施するプログラムで生物資源産業学部が認定するもの		0 ~ 上限なし	注 5
生物資源産業学部が認定する海外留学プログラム		0 ~ 上限なし	注 6
生物資源産業学部等が実施するプログラム		0 ~ 上限なし	注 7
スーパー英語		0 ~ 80	

(注 1) 主題別英語については、2 授業題目を履修することとし、それぞれの授業題目に対して 60 ~ 100 マイレージポイントを付与する。

(注 2) 評点を 2 倍する。

(注 3) その他の外国語技能検定試験 (英語) の成績については、TOEIC-IP に換算してマイレージポイント化する。

(注 4) 協定校と実施するサマースクール等に参加した学生に、1 日につき 1 マイレージポイントを付与する。
その他本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえマイレージポイントを付与する。

(注 5) 本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。

(注 6) 留学を許可された学生に、留学プログラムの内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。
ただし、他のプログラム等でマイレージポイントが付与される場合を除く。

(注 7) 本プログラムに参加した学生に、内容等を審議のうえ、マイレージポイントを付与する。

4. 特別な単位認定に伴うマイレージポイントの認定

次の(1)~(4)の方法により教養教育科目の単位を認定した場合、併せてマイレージポイントも認定します。原則として、単位認定と併せてマイレージポイントを認定しますので、マイレージポイントのみの認定はありません。

また、単位認定された科目であっても、各学部で語学マイレージ・プログラムとして指定していない科目については、マイレージポイントの認定はありません。

(1) 単位互換協定による単位認定に係るマイレージポイントの認定

本学在学中に、大学間の単位互換に関する協定により他の大学において修得した単位を教養教育科目として単位認定するとともに、以下のマイレージポイントを認定します。

放送大学はこの基準を適用します。

他の大学での成績評価	マイレージポイント
④	95
A	85
B	75
C	65

(2) 外国語技能検定試験による単位のマイレージポイント認定

本学在学中に受験して取得した外国語技能検定試験の成績により、以下のとおり単位認定するとともに、その科目に対するマイレージポイントを認定します。

なお、単位認定に使用した外国語技能検定試験は、「外国語技能検定試験」としてのマイレージポイントにはなりません。再度、外国語技能検定試験を受験する必要があります。

① 英語

検定試験の種類	評価等	単位認定	マイレージポイント認定 (1授業題目につき)	備考
実用英語技能検定（英検） (公益財団法人 日本英語検定協会)	1 級	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	95	
		発信型英語 2 単位	95	
	準 1 級	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	90	
TOEFL iBT (ETS Japan 合同会社)	100 点以上	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	95	
		発信型英語 2 単位	95	
	80 ~ 99 点	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	90	
TOEFL ITP (Level 1) (ETS Japan 合同会社)	600 点以上	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	95	
		発信型英語 2 単位	95	
	550 ~ 599 点	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	90	
TOEIC (一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会)	870 点以上	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	95	
		発信型英語 2 単位	95	
	730 ~ 869 点	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	90	
IELTS (Academic) (公益財団法人 日本英語検定協会、ブリティッシュ・ カウンシル)	7 以上	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	95	
		発信型英語 2 単位	95	
	6 ~ 6.5	基盤英語 2 単位	なし	
		主題別英語 2 単位	90	

注：医学部医学科は、外国語技能検定試験（英語）の成績による単位認定は行わない。

② ドイツ語

総合科学部において、ドイツ語によるマイレージ・プログラムを選択した場合は、以下のとおりとする。

検定試験の種類	評価等	単位認定	マイレージ ポイント認定 (1授業題目につき)	備考
ドイツ語技能検定試験（独検） (公益財団法人 ドイツ語学文学振興会)	準1級以上	ドイツ語入門Ⅰ 1単位	95	
	2級	ドイツ語入門Ⅱ 1単位	90	
	3級	ドイツ語初級Ⅰ 1単位	80	
		ドイツ語初級Ⅱ 1単位		
	4級	ドイツ語入門Ⅰ 1単位	70	
ドイツ語入門Ⅱ 1単位				
5級	ドイツ語入門Ⅰ又はⅡ 1単位	60		

③ フランス語

総合科学部において、フランス語によるマイレージ・プログラムを選択した場合は、以下のとおりとする。

検定試験の種類	評価等	単位認定	マイレージ ポイント認定 (1授業題目につき)	備考
実用フランス語技能検定試験（仏検） (公益財団法人 フランス語教育振興協会)	2級以上	フランス語入門Ⅰ 1単位	95	
	準2級	フランス語入門Ⅱ 1単位	90	
	3級	フランス語初級Ⅰ 1単位	80	
		フランス語初級Ⅱ 1単位		
4級	フランス語入門Ⅰ 1単位	70		
	フランス語入門Ⅱ 1単位			

④ 中国語

総合科学部において、中国語によるマイレージ・プログラムを選択した場合は、以下のとおりとする。

検定試験の種類	評価等	単位認定	マイレージ ポイント認定 (1授業題目につき)	備考
中国語検定試験 (一般財団法人 日本中国語検定協会)	2級以上	中国語入門Ⅰ 1単位	95	
	3級	中国語入門Ⅱ 1単位	90	
		中国語初級Ⅰ 1単位		
	4級	中国語初級Ⅱ 1単位	80	
	準4級	中国語入門Ⅰ又はⅡ 1単位	75	
中国政府漢語水平考試（HSK） (中国国家漢語水平考試委員会)	5級以上	中国語入門Ⅰ 1単位	95	
	4級	中国語入門Ⅱ 1単位	90	
		中国語初級Ⅰ 1単位		
3級	中国語初級Ⅱ 1単位	80		

(3) 留学による単位のマイレージポイント認定

本学が指定する大学が主催する語学研修を受講し、成績評価が合格に達した者に対し、単位を認定するとともに、その科目に対するマイレージポイント及び「語学留学等」のマイレージポイントを認定します。留学によるマイレージポイントの認定は、該当科目が修得済みのために単位認定ができなかった場合であっても、留学ポイントは単独で認定できることがあります。科目ポイント及び留学ポイントは、研修先で修得した成績等に基づき判断しますが、成績が点数化されていない場合は、(1)単位互換協定による単位認定に係るマイレージポイントの認定の基準を準用します。

その他、指定大学以外での語学留学についても、マイレージポイントを認定できることがあります。詳しくは、各学部学務（教務）係又は教育支援課教養教育係へ問い合わせてください。

① 英語

研修時間	認定する題目 及び単位数	マイレージポイント		備考
		科目ポイント (1単位につき)	留学ポイント (1回につき)	
60時間以上 90時間未満	主題別英語 2単位	60～100	90	
90時間以上 120時間未満			120	
120時間以上			150	

注：医学部医学科においては、科目ポイントの認定は行わない。

② フランス語

総合科学部において、フランス語によるマイレージ・プログラムを選択した場合、2単位をひとまとまりに、4単位を上限として認定する。ただし、各クラスとも60時間以上の研修時間をもって2単位に相当するものとする。

研修クラス	認定する題目 及び単位数	マイレージポイント		備考
		科目ポイント (1単位につき)	留学ポイント (1回につき)	
初心者対象	フランス語入門Ⅰ 1単位 フランス語入門Ⅱ 1単位	60～100	30～200	
既修90時間以上の能力を要するクラス	フランス語初級Ⅰ 1単位 フランス語初級Ⅱ 1単位			

③ 中国語

総合科学部において、中国語によるマイレージ・プログラムを選択した場合、以下のとおりとする。

研修時間	認定する題目 及び単位数	マイレージポイント		備考
		科目ポイント (1単位につき)	留学ポイント (1回につき)	
30時間以上 60時間未満	次のうちから1単位 中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ 中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	60～100	60	研修内容により認定する題目を判断する
60時間以上 120時間未満	中国語入門Ⅰ 1単位 中国語入門Ⅱ 1単位		90	
120時間以上	中国語入門Ⅰ 1単位 中国語入門Ⅱ 1単位 中国語初級Ⅰ 1単位 中国語初級Ⅱ 1単位		150	

(4) 入学前の既修得単位のマイレージポイント認定

本学入学前に単位を修得した大学・短期大学等の成績により、本学の教養教育科目の単位として認定するとともに、以下のとおりマイレージポイントを認定します。徳島大学の卒業生・中途退学者については、在学中に修得した点数がそのままマイレージポイントとなります。

① 大学又は短期大学等を卒業あるいは中途退学した者で、新たに第1年次に入学した者

入学前に修得した成績評価	マイレージポイント
秀(A)	95
秀(A)の定めがない場合の優(A)	90
秀(A)の定めがある場合の優(A)	85
良(B)	75
可(C)	65
認定	70 又は面接により評価し60～100ポイントを認定する場合もある

- ② 編入学、補欠入学した者
①の取扱いに準じてマイレージポイントを認定します。
- ③ 本学の学生で転学部、転学科を許可された者
転学部（転学科）前に修得したマイレージポイントを、転学後の学部（学科）が指定する換算表に基づき再度付与します。

5. 語学マイレージ・プログラムにおけるマイレージポイントの換算

- (1) 外国語技能検定試験の成績によるマイレージポイントの認定
外国語技能検定試験に基づき取得した成績は、学部が指定する語学検定の成績に換算の上マイレージポイントに認定するものとし、換算方法は次のとおりとします。

① 英語

- TOEIC テスト、TOEFL ITP テスト、TOEFL iBT テスト

それぞれのテスト間の換算は、別表のとおりとする。ただし、医学部医学科は、TOEFL iBT テストを受験した場合のみ、TOEFL ITP に換算する。

（別表については、教養教育院ホームページから確認してください）

- ・ 実用英語技能検定（英検）

英 検	準 2 級	2 級	準 1 級	1 級
TOEIC-IP	350 点	550 点	785 点	950 点
TOEFL ITP	410 点	500 点	565 点	620 点

- ・ IELTS

IELTS	3.0	4.0 - 5.0	5.5 - 6.5	7.0 - 8.0
TOEIC-IP	350 点	550 点	785 点	950 点
TOEFL ITP	410 点	500 点	565 点	620 点

総合科学部において、ドイツ語、フランス語又は中国語によるマイレージ・プログラムを選択した場合、以下のとおりとする。

② ドイツ語

- ・ ドイツ語技能検定試験（独検）

独 検	5 級	4 級	3 級	2 級	準 1 級	1 級
換算ポイント	300 点	350 点	500 点	650 点	800 点	950 点

③ フランス語

- ・ 実用フランス語技能検定試験（仏検）

仏 検	5 級	4 級	3 級	準 2 級	2 級	準 1 級	1 級
換算ポイント	300 点	350 点	500 点	650 点	800 点	900 点	950 点

④ 中国語

- ・ 中国語技能検定試験

中国語技能検定試験	準 4 級	4 級	3 級	2 級	準 1 級	1 級
換算ポイント	400 点	550 点	600 点	650 点	800 点	950 点

- ・ 中国政府漢語水平考試（HSK）

HSK	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
換算ポイント	300 点	350 点	500 点	650 点	800 点	950 点

- (2) 語学教育センターが実施する語学教育プログラムの受講によるマイレージポイントの認定
- ① 語学教育センターが実施する語学教育プログラムを受講した者に対し、マイレージポイントを認定します。
 - ② 成績評価は、参加状況、学修状況等によって担当講師が行います。
 - ③ 語学教育プログラムでは、原則として90分の学修につき、成績評価に応じて3ポイント程度のマイレージポイントを認定します。
 - ④ 高大接続科目「英語」については、取得した単位の評価点をマイレージポイントとして認定します。
- (3) スーパー英語によるマイレージポイントの認定
- ① スーパー英語を受講した者に対し、獲得マイルに応じてマイレージポイントを認定します。

スーパー英語獲得マイル	マイレージポイント
0～199	0
200～499	10
500～999	20
1,000～1,999	30
2,000～2,999	40
3,000～3,999	50
4,000～5,999	60
6,000～7,999	70
8,000～	80

6. 外国人留学生の特例

外国人留学生も各学部における語学マイレージ・プログラムの取扱い第1項に指定する言語により語学マイレージ・プログラムを実施します。ただし、学部長が認めた外国人留学生が、日本語の単位を修得したときは、外国語科目群の英語又は初修外国語の単位に充てることができるとともに、学部が指定する授業題目のマイレージポイントとして認定できる場合がありますので、教育支援課教養教育係に相談してください。

7. マイレージポイント等の確認

教務システムから、現在のマイレージポイントの合計やマイレージレベルを確認することができます。詳しくは、『徳島大学教養教育学びのファーストステップ』を参照してください。

8. 表彰

マイレージレベルが上位にある者は、学部長表彰の対象になります。さらに、プラチナレベルを取得し特に優秀な成績を修めた者は、学長表彰されます。

9. 証明書の発行

マイレージポイント及びマイレージレベルに応じた証明書を発行します。希望する者は、所属学部の学務（教務）係へ申請してください。

第 5 章

教養教育 開講授業科目・ 授業題目・担当者一覧(2025年度)

第5章 教養教育 開講授業科目・授業題目・担当者一覧（2025年度）

1 教養科目群

1) 歴史と文化

授 業 題 目	担 当 教 員	前 期	後 期	所 属
中国思想史入門	新田 元規		○	総科
東アジアの近代	荒武 達朗		○	総科
文明と地球環境変遷	安間 了		○	理工
技術者・科学者の倫理	岩田 克己	集中		非常勤
技術者・科学者の倫理	太田 光浩		○	理工
技術者・科学者の倫理	大和 真樹	集中		非常勤
日本近現代の幻想小説	河田 和子	○		総科
日本の近代文学と科学	河田 和子		○	総科
日本の古代史	衣川 仁	○		総科
古代・中世日本の社会	衣川 仁		○	総科
日本近世史入門	越坂 裕太	○		総科
日本近世史をめぐる諸問題	越坂 裕太		○	総科
この良さをわかってほしい	佐藤 征弥	○		生物資源
ことばと社会	塩川 奈々美	○	○	高等教育
技術者・科学者の倫理	下村 直行		○	理工
沖縄社会文化論	高橋 晋一		○	総科
和歌から俳諧, 俳諧から俳句へ	堤 和博	○		総科
日本古典文学『蜻蛉日記』を読む	堤 和博		○	総科
フィールドワーク入門Ⅰ	内藤 直樹	○		総科
フィールドワーク入門Ⅱ	内藤 直樹		○	総科
技術者・科学者の倫理	中村 浩一		○	理工
技術者・科学者の倫理	滑川 達		○	理工
徳島県の方言	村上 敬一	○		総科
考古学概論Ⅰ	山口 雄治	○		総科
考古学概論Ⅱ	山口 雄治		○	総科
名著講読－未知との出会い～文学作品や随筆を読む－	依岡 隆児		○	総科
技術者・科学者の倫理	鷲尾 修司	集中		非常勤

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前 期	後 期	所 属
技術者・科学者の倫理	太田 光浩		○	理工
技術者・科学者の倫理	大和 真樹	集中		非常勤
技術者・科学者の倫理	下村 直行		○	理工
技術者・科学者の倫理	滑川 達		○	理工
技術者・科学者の倫理	鷲尾 修司	集中		非常勤
名著講読－世界の見方～文学作品や科学随筆を読む－	依岡 隆児	○		総科

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前 期	後 期	所 属
マンガと社会（eラーニング科目（知プラe））	岩崎 保道	○		非常勤
日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920－四国の収容所を中心に－（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英		○	高等教育
インドネシアの文化と会話（eラーニング科目（知プラe））	島上 宗子		○	非常勤
香川の文化と歴史（eラーニング科目（知プラe））	藤本 憲市	○		非常勤
ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり（eラーニング科目（知プラe））	村上 恭通		○	非常勤
四国の歴史と文化 その1 歴史編（eラーニング科目（知プラe））	守田 逸人	○		非常勤
英語文学・英語学探訪（eラーニング科目（知プラe））	森山 倭成		○	非常勤
四国の歴史と文化 その2 文化編（eラーニング科目（知プラe））	渡邊 史郎	○		非常勤

2) 人間と生命

授 業 題 目	担 当 教 員	前 期	後 期	所 属
人体の構造と機能	稲垣 明浩	○		医

授 業 題 目	担 当 教 員	前 期	後 期	所 属
キャンパスライフデザイン入門	井ノ崎 敦子	○		キャンパスライフ
地球外生命研究は、科学か？	大藪 進喜	○	○	教養教育
心理学概説	佐藤 健二	○		総科
自然保護論	佐藤 征弥		○	生物資源
数でとらえる細胞生物学	柴田 桂太朗	○		医
くらしと栄養	田井 章博		○	生物資源
生命科学史	田中 保	○		生物資源
リーダーシップ入門	畠 一樹	○		高等教育
コミュニケーション入門	畠 一樹	○		高等教育
心理学概論	福森 崇貴	○		総科
生命現象・生体材料とバイオミメティクス	南川 慶二	○		教養教育
医学概論	安友 康二	○		医
心理学初歩	山本 哲也	○	○	総科
ニュービジネス概論	理工学部教員	○		理工
生命科学と現代社会	渡部 稔		○	教養教育

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前 期	後 期	所 属
心理学入門	佐藤 裕		○	総科
ニュービジネス概論	理工学部教員	○		理工

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前 期	後 期	所 属
知の探訪（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英		○	高等教育
文化心理学入門（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英		○	高等教育
タンパク質で生命を斬る（eラーニング科目（知プラe））	澤崎 達也		○	非常勤
発達障害児者の理解と支援（eラーニング科目（知プラe））	高橋 由子		○	非常勤
絵本の研究（eラーニング科目（知プラe））	余郷 裕次	○		非常勤

3) 生活と社会

授 業 題 目	主担当教員	前 期	後 期	所 属
国際政治学入門	饗場 和彦	○		総科
平和と戦争のアポリア	饗場 和彦		○	総科
現代社会と法	上原 克之	○	○	総科
生命保険を考える	一般社団法人 生命保険協会	○	○	非常勤
政策学入門	小田切 康彦		○	総科
法学入門	清水 真人	○		総科
会社法入門	清水 真人		○	総科
消費者が主役の社会へ	消費者庁職員	○	○	非常勤
建築デザイン入門	田口 太郎	○		総科
日本国憲法	田中 遼太郎		○	非常勤
人口経済学入門	趙 彤	○		総科
SDGs 地球環境問題	豊田 哲也	○		総科
ライフデザイン	豊田 哲也		通年集中	総科
地理空間情報と人間社会	夏目 宗幸	○		総科
キャリアプラン	畠 一樹		○	高等教育
ソーシャルデザイン～未来社会とキャリアの構想～	畠 一樹		○	高等教育
日本国憲法	兵田 愛子	○	○	総科
経営学	武 学穎	○	○	総科
日本国憲法	堀井 秀知	○		非常勤
社会学のパーспекティブ	矢部 拓也	○		総科
都市の人間関係	矢部 拓也		○	総科
障害と社会	渡邊 克典	○		総科
医療と社会	渡邊 克典		○	総科

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
政策学入門	小田切 康彦	○		総科
ライフデザイン	豊田 哲也	通年	集中	総科
キャリアプラン	畠 一樹		○	高等教育
日本国憲法	兵田 愛子		○	総科

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
研究倫理（eラーニング科目（知プラe））	裏 和宏		○	非常勤
現代科学と研究倫理（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英		○	高等教育
アクティブラーニング入門（eラーニング科目（知プラe））	高畑 貴志	○		非常勤
就職活動の基本と対策（eラーニング科目（知プラe））	谷口 ちさ	○		非常勤
学びをデザインする：インストラクショナルデザイン入門（eラーニング科目（知プラe））	田巻 公貴		○	高等教育
アンケート調査法入門（eラーニング科目（知プラe））	寺田 悠希		○	非常勤
地域コンテンツと知財管理 その1（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩		○	非常勤
地域コンテンツと知財管理 その2（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩		○	非常勤
香川を学ぶ（eラーニング科目（知プラe））	藤本 憲市		○	非常勤
大学教育を考える（eラーニング科目（知プラe））	吉田 博		○	高等教育

4) 自然と技術

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
岩石と鉱物	青矢 陸月	○		総科
プレートテクトニクス	青矢 陸月		○	総科
英語テキストで学ぶ地球学・環境学	安間 了	○		理工
SNS時代のリテラシー	飯尾 健	○		高等教育
生活と化学	上野 雅晴		○	理工
AI総合演習	瓜生 真也	○	○	AI教育
防災・減災基礎	小川 宏樹	○		理工
宇宙線観測入門	折戸 玲子		○	理工
情報メディアと現代社会	金西 計英	○		高等教育
情報基盤の運用技術について考える	金西 計英		○	高等教育
健康医療と最新技術の社会への活用	先端脳機能研究開発分野	○		医
AI総合演習	鳥井 浩平	○	○	AI教育
物理学実験室としての宇宙：星と銀河に関わる天文学の基礎	古屋 玲	○		教養教育
物理の単位を落とさないための数学と物理学の教室	古屋 玲		○	教養教育
現代天文学への招待	古屋 玲		○	教養教育
身近な高分子物質の科学と技術	南川 慶二		○	教養教育
リチウムイオン電池と無機工業化学	森賀 俊広	○		理工
理工学概論	理工学科応用化学システムコース教員		○	理工
理工学概論	理工学科機械科学コース教員	○		理工
理工学概論	理工学科社会基盤デザインコース教員	○		理工
理工学概論	理工学科数理科学・自然科学コース教員	○		理工
理工学概論	理工学科知能情報コース教員	○		理工
理工学概論	理工学科電気電子システムコース教員		○	理工
理工学概論	理工学科光システムコース教員	○		理工

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
理工学概論	理工学科応用化学システムコース教員		○	理工
理工学概論	理工学科機械科学コース教員	○		理工
理工学概論	理工学科社会基盤デザインコース教員	○		理工
理工学概論	理工学科知能情報コース教員	○		理工
理工学概論	理工学科電気電子システムコース教員		○	理工
現代社会に革新を引き起こした生命科学技術	渡部 稔		○	教養教育

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
飛行機はなぜ飛ぶのか（eラーニング科目（知プラe））	岩本 幸治		○	非常勤
身の回りの放射線（eラーニング科目（知プラe））	岡野 聡		○	非常勤
数理科学の世界（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英	○		高等教育
数理科学の展開（eラーニング科目（知プラe））	金西 計英		○	高等教育
和算の世界（eラーニング科目（知プラe））	河村 泰之		○	非常勤
高度情報化社会の歩き方（eラーニング科目（知プラe））	後藤田 中		○	非常勤
私たちの生活と材料（eラーニング科目（知プラe））	小林 千悟		○	非常勤
人工魚礁の開発と環境保全（eラーニング科目（知プラe））	末永 慶寛	○		非常勤
体験的に学ぶ生成 AI（eラーニング科目（知プラe））	高畑 貴志	○		非常勤
キャリアで活かす IT リテラシー（eラーニング科目（知プラe））	高畑 貴志		○	非常勤
業務効率化のための IT 活用入門（eラーニング科目（知プラe））	高畑 貴志		○	非常勤
学校と ICT 教育（eラーニング科目（知プラe））	竹口 幸志	○		非常勤
四国の自然環境と防災 その1（eラーニング科目（知プラe））	寺尾 徹		○	非常勤
四国の自然環境と防災 その2（eラーニング科目（知プラe））	寺尾 徹		○	非常勤
初等中等教育における情報活用能力育成（eラーニング科目（知プラe））	長井 映雄	○		非常勤
コンピュータと教育 その1（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩	○		非常勤
コンピュータと教育 その2（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩	○		非常勤
情報のいろは（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩		○	非常勤
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産（eラーニング科目（知プラe））	藤内 直道		○	非常勤
デジタルものづくり入門（eラーニング科目（知プラe））	宮下 晃一		○	非常勤
インタフェースデザイン概論（eラーニング科目（知プラe））	三好 康夫		○	非常勤
海洋地球科学概論（eラーニング科目（知プラe））	村山 雅史	○		非常勤
昆虫と環境（eラーニング科目（知プラe））	吉富 博之		○	非常勤

5) ウェルネス総合演習

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
ウェルネス総合演習	榎 将太		○	総科
ウェルネス総合演習	金子 憲一		○	非常勤
ウェルネス総合演習	紺田 俊	○	○	総科
ウェルネス総合演習	佐藤 充宏		集中	総科
ウェルネス総合演習	高橋 啓悟		○	非常勤
ウェルネス総合演習	土岡 大介		○	非常勤
ウェルネス総合演習	中塚 健太郎	○	○	総科
ウェルネス総合演習	中塚 多恵子	○		非常勤
ウェルネス総合演習	仁木 哲哉		○	非常勤
ウェルネス総合演習	范 永輝	○		非常勤
ウェルネス総合演習	板東 正記		○	人と地域
ウェルネス総合演習	藤原 秀朗		○	総科
ウェルネス総合演習	三浦 哉		○	総科
ウェルネス総合演習	羅 成圭	○	○	教養教育

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
ウェルネス総合演習	藤原 秀朗	○		総科

6) 日本事情 (留学生対象)

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
日本事情Ⅰ	坂田 浩	○		高等教育
日本事情Ⅱ	坂田 浩		○	高等教育
日本事情Ⅲ	藤原 由紀子	○		高等教育
日本事情Ⅳ	藤原 由紀子		○	高等教育

2 創成科学科目群

1) グローバル科目

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
国際協力論-入門編	饗場 和彦	○		総科
平和のための軍事的安全保障研究入門	齊藤 隆仁	○		教養教育
異文化交流から学ぶグローバル化	齊藤 隆仁	○		教養教育
異文化交流体験から何を学ぶのか	齊藤 隆仁		○	教養教育
異文化交流プロジェクトワーク(2)	坂田 浩		○	高等教育
Culture and Society in Japan	坂田 浩	集中		高等教育
異文化交流プロジェクトワーク(1)	坂田 浩	○		高等教育
現代世界の展開Ⅰ	佐久間 亮	○		総科
異文化/自文化研究へのいざない	高橋 晋一	○		総科
貧困の経済学	趙 彤		○	総科
世界の中の日本語	村上 敬一		○	総科
グローバルコミュニケーション-日本の伝統工芸を学ぶ	山城 考		○	生物資源
アメリカ社会の形成と展開	吉岡 宏祐	○		総科
アメリカ社会の諸問題	吉岡 宏祐		○	総科
英語で学ぶグローバルヘルス入門	チャン ホアン ナム		○	高等教育

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
現代世界の展開Ⅰ	佐久間 亮	○		総科

【eラーニング科目(知プラe)】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
「モラエスの徳島」～グローバルズムと異邦人～(eラーニング科目(知プラe))	金西 計英		○	高等教育

2) イノベーション科目

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
考える・調べる・伝える	飯尾 健		○	高等教育
データサイエンスへの誘い	石田 基広		○	総科
次世代事業創造入門	石原 佑	○		高等教育
プロダクトデザイン入門	石原 佑	○		高等教育
未来のあるべき大学像	井貫 恵利子	○		産官学
イノベーション・プロジェクト入門	浮田 浩行	通年集中		理工
イノベーション・プロジェクト実践	浮田 浩行	通年集中		理工
データサイエンスへの誘い	瓜生 真也	○		A I教育
データサイエンスへの誘い	大藪 進喜		○	教養教育
アーツ・アンド・テクノロジー	河原崎 貴光	○		総科
世界のアントレプレナーシップから学ぶ	北岡 和義	○		教養教育
イノベーション思考入門	北岡 和義	○		教養教育
「ニーズ」からの医療機器開発入門	北岡 和義		○	教養教育
起業を知ろう	北岡 和義	集中		教養教育

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
ビジュアルコミュニケーション	佐原 理	○		総科
グラフィック・ファシリテーション入門	玉有 朋子	○		高等教育
グラフィックレコーディング演習	玉有 朋子		○	高等教育
テクノロジーとビジネス	徳島イノベーションベース	○		非常勤
空間情報論入門	夏目 宗幸		○	総科
プロフェッショナルリズム入門	西田 憲生	○		医
ソーシャルベンチャー・マネージメント	橋爪 太	○		非常勤
ICTとイノベーション	橋爪 太		○	非常勤
課題解決実践演習～社会で活躍するチカラを養う～	畠 一樹		○	高等教育
知的財産法入門	馬場 良泰	○		産官学
環境とバイオテクノロジー	平田 章		○	理工
ゲノムと発生のテクノロジー	真壁 和裕	○		理工
バイオインスパイアード技術論	南川 慶二		○	教養教育
ものづくり基礎	森口 茉莉亜	○		高等教育
サイエンスコミュニケーターに挑戦しよう！科学イベントの計画と実践	森口 茉莉亜	○		高等教育
大学とイノベーション	山口 裕之		○	総科
大学での学び方を考える ～大学での経験を将来につなげるために～	吉田 博	○	○	高等教育

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
イノベーション・プロジェクト入門	浮田 浩行	通年集中		理工
イノベーション・プロジェクト実践	浮田 浩行	通年集中		理工
自らの未来を創造する	北岡 和義		○	教養教育
「つたえること」と「ものづくり」-科学と遊ぼう-	齊藤 隆仁		○	教養教育

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
災害とデータサイエンス（eラーニング科目（知プラe））	石塚 正秀		○	非常勤
大学生のための『安全・安心』の基礎講座（eラーニング科目（知プラe））	伊藤 和貴		○	非常勤
NPOと大学の経営（eラーニング科目（知プラe））	岩崎 保道		○	非常勤
レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション（eラーニング科目（知プラe））	岡崎 慎一郎		○	非常勤
大学の知の活用（eラーニング科目（知プラe））	山本 光治		○	産官学
データ利用とオープンイノベーションで創る未来のまちづくり（eラーニング科目（知プラe））	米谷 雄介		○	非常勤
アカデミック・プレゼンテーション（PowerPoint編）（eラーニング科目（知プラe））	仲道 雅輝		○	非常勤
データサイエンスを活用した防災・危機管理（eラーニング科目（知プラe））	野々村 敦子		○	非常勤

3) 地域科学科目

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
徳島の魅力・徳島で働く	川崎 修良	集中		人と地域
地球環境と持続可能な社会	齊藤 隆仁	集中	○	教養教育
まちづくり入門	田口 太郎		○	総科
実践・地域創生学	段野 聡子		○	人と地域
とくしまの環境を学ぼう	徳島県地球温暖化防止活動推進センター		○	非常勤
徳島を考える	豊田 哲也	○		総科
食の地域経済学	中澤 慶久		○	生物資源
気象災害から身を守る	西山 賢一	○		理工
地震・火山災害から身を守る	西山 賢一		○	理工
ボランティア・パスポート入門	橋本 直史	○		生物資源
防災・減災の実践	松重 摩耶		○	環境防災
エクスターンシップ（地域企業を知る・読み解く）	松本 卓也	通年集中		人と地域
実践型インターンシップ	森脇 一恵	通年集中		人と地域
ボランティア実践	矢部 拓也	○		総科
未来の食を考える	渡辺 崇人		○	バイオイノベーション

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
徳島の魅力・徳島で働く	川崎 修良	集中		人と地域
地球環境と持続可能な社会	齊藤 隆仁	○		教養教育
エクスターンシップ（地域企業を知る・読み解く）	松本 卓也	通年集中		人と地域
実践型インターンシップ	森脇 一恵	通年集中		人と地域

【eラーニング科目（知プラe）】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
徳島を考える（eラーニング科目（知プラe））	豊田 哲也		○	総科
高齢者福祉と地域（eラーニング科目（知プラe））	畠山 輝雄		○	非常勤
四国の経済・産業（eラーニング科目（知プラe））	林 敏浩		○	非常勤

4) 医療基盤科目

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
放射線医学入門	生島 仁史		○	医
医療者としてのコミュニケーション	岩佐 幸恵	○		医
臨床心理学	榎本 拓哉		○	総科
臨床検査学入門	片岡 佳子	○		医
口腔と健康	歯学部教授	○		歯
アートから学ぶ見方・観方・診方	西田 憲生	○		医
医と法・倫理	西村 明儒		○	医
医学心理行動学	沼田 周助	○		医
実験動物学・放射線概論	松本 高広	○		医

3 基礎科目群

1) SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（総合科学部）	教務・学生委員	集中		総科
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（医・医）	教務・学生委員	通年集中		医
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（医・医科栄養）	教務・学生委員	集中		医
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（医・保健）	教務・学生委員	集中		医
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（歯学部）	教務・学生委員	通年集中		歯
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（薬学部）	教務・学生委員	通年集中		薬
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（理工）	教務・学生委員	○		理工
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（生物資源産業学部）	教務・学生委員	集中		生物資源

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～（理工）	教務・学生委員	○		理工

2) 高大接続科目

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
英語－これからの英語学習：インタラクティブ・ラーニングの実践－	内山 八郎		集中	教養教育
数学	大沼 正樹	○		理工
物理学	齊藤 隆仁	○		教養教育
化学－化学のしくみ－	南川 慶二	○		教養教育
生物学－基礎からの細胞生物学－	渡部 稔	○		教養教育

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
英語－これからの英語学習：インタラクティブ・ラーニングの実践－	内山 八郎		○	教養教育

3) 基礎数学

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
微分積分学Ⅰ	宇野 剛史	○		理工
微分積分学Ⅱ	宇野 剛史		○	理工
統計学	大沼 正樹		○	理工
統計学	大橋 守	○	○	非常勤
微分積分学	大橋 守	○		非常勤
微分積分学	大淵 朗	○		非常勤
線形代数学Ⅰ	大淵 朗	○		非常勤
線形代数学Ⅱ	大淵 朗		○	非常勤
微分積分学Ⅰ	大淵 朗	○		非常勤
微分積分学Ⅱ	大淵 朗		○	非常勤
微分積分学Ⅰ	岡本 邦也	○		理工
微分積分学Ⅱ	岡本 邦也		○	理工
線形代数学Ⅰ	小野 公輔	○		理工
線形代数学Ⅱ	小野 公輔		○	理工
線形代数学Ⅰ	片山 真一	○		非常勤
線形代数学Ⅱ	片山 真一		○	非常勤
微分積分学Ⅰ	片山 真一	○		非常勤
微分積分学Ⅱ	片山 真一		○	非常勤
微分積分学Ⅰ	國川 慶太	○		理工
微分積分学Ⅱ	國川 慶太		○	理工
線形代数学Ⅰ	白根 竹人	○		理工
線形代数学Ⅱ	白根 竹人		○	理工
微分積分学Ⅰ	竹内 敏己	○		理工
微分積分学Ⅱ	竹内 敏己		○	理工
微分積分学Ⅰ	竹内 博	○		非常勤
線形代数学Ⅰ	蓮沼 徹	○		理工
線形代数学Ⅱ	蓮沼 徹		○	理工
線形代数学Ⅰ	村上 公一	○		理工
線形代数学Ⅱ	村上 公一		○	理工
統計学	守安 一峰		○	理工
微分積分学Ⅰ	安本 真士	○		理工
微分積分学Ⅱ	安本 真士		○	理工

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
微分積分学Ⅰ	鶴見 裕之	○		理工
微分積分学Ⅱ	鶴見 裕之		○	理工
線形代数学Ⅰ	松井 紘樹	○		理工
線形代数学Ⅱ	松井 紘樹		○	理工

4) 基礎物理学

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎物理学・力学概論	井澤 健一	○		理工
基礎物理学・電磁気学概論	井澤 健一		○	理工
基礎物理学・力学概論	犬飼 宗弘	○		理工
基礎物理学・電磁気学概論	犬飼 宗弘		○	理工
基礎物理学・力学概論	川崎 祐	○		理工
基礎物理学・力学概論	岸本 豊	○		理工
基礎物理学・電磁気学概論	岸本 豊		○	理工
基礎物理学	齊藤 隆仁	○		教養教育
基礎物理学Ⅰ・物理学概論	齊藤 隆仁	○		教養教育
基礎物理学Ⅱ・物理学概論	齊藤 隆仁		○	教養教育
基礎物理学・力学概論	中村 浩一	○		理工
基礎物理学・電磁気学概論	中村 浩一		○	理工

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎物理学Ⅰ・物理学概論	久田 旭彦	○		理工
基礎物理学・力学概論	久田 旭彦	○		理工
電気磁気学	藤方 潤一	○		ポストLED
力学及び熱力学	古屋 玲	○		教養教育
基礎物理学・力学概論	真岸 孝一	○		理工

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎物理学・力学概論	岸本 豊	○		理工
基礎物理学・電磁気学概論	岸本 豊		○	理工

5) 基礎物理学実験

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎物理学実験	齊藤 隆仁		○	教養教育
基礎物理学実験	伏見 賢一		○	理工

6) 基礎化学

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎化学概論	今井 昭二		○	理工
基礎化学Ⅰ・物理化学（平衡と反応速度）	植野 哲	○		非常勤
化学の基礎	植野 哲	○		非常勤
基礎化学Ⅰ・物理化学（化学平衡と反応速度論）	植野 哲		○	非常勤
基礎化学Ⅲ・薬の科学	大高 章		○	薬
基礎化学Ⅱ・有機化学（ライフサイエンスの基礎）	小笠原 正道	○		理工
基礎化学	佐々木 千鶴	○		生物資源
基礎化学Ⅰ・電子と有機化学	中尾 允泰	○		薬
基礎化学Ⅱ・有機化学（ライフサイエンスの基礎）	三好 徳和		○	理工
基礎化学Ⅱ・細胞生物化学の基礎	山崎 尚志	○		薬
基礎化学概論	山本 孝		○	理工
基礎化学	米村 重信	○		医
生化学入門	米村 重信		○	医

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎化学概論	今井 昭二		○	理工

7) 基礎化学実験

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎化学実験	小笠原 正道		○	理工
基礎化学実験	友安 俊文		○	生物資源
基礎化学実験	三好 徳和	○		理工

8) 基礎生物学

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎生物学DⅠ	工藤 保誠	○		歯
基礎生物学DⅡ	工藤 保誠		○	歯
解剖生理学入門M	平山 晃斉		○	医
基礎生物学M	米村 重信	○		医
基礎生物学N	渡部 稔	○		教養教育
基礎生物学H	渡部 稔	○		教養教育
基礎生物学P	渡部 稔	○		教養教育

9) 基礎生物学実験

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基礎生物化学実験M	野間口 雅子		○	医
基礎生物学実験N	渡部 稔	○		教養教育
基礎生物学実験D	渡部 稔		○	教養教育

10) 情報科学

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
情報科学入門	石田 基広	○		総科
情報科学入門	石丸 善康	○		生物資源
情報科学入門	伊藤 伸一	○		理工
情報科学入門	瓜生 真也		○	AI教育
情報科学入門	大藪 進喜	○	○	教養教育
情報科学入門	掛井 秀一	○		総科
情報科学入門	金西 計英	○	○	高等教育
情報科学入門	鈴木 浩司	○		理工
情報科学入門	谷岡 広樹	○		情報
情報科学入門	田卷 公貴	○		高等教育
情報科学入門	蓮沼 徹	○		理工
情報科学入門	平山 晃斉	○		医
情報科学入門	武 学穎	○		総科
情報科学入門	松本 和幸	○		理工

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
情報科学入門	松浦 健二	○		情報

4 外国語科目群

1) 英語

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基盤英語	石田 和枝	○		非常勤
基盤英語	内山 八郎	○		教養教育
基盤英語	小笠原 麻衣子	○		非常勤
基盤英語	谷川 奈緒子	○		非常勤
基盤英語	中島 浩二	○		総科
基盤英語	ニムチャック アーレン	○		非常勤
基盤英語	服部 恒太	○		総科
基盤英語	パトリック ジェフリー	○		非常勤
基盤英語	早内 ジュディス	○		非常勤
基盤英語	林 ひかり	○		非常勤
基盤英語	樋口 友乃	○		総科
基盤英語	フェネリー マーク	○		非常勤
基盤英語	藤滝 香織	○		教養教育
基盤英語	フロレス デイビッド	○		非常勤
基盤英語	フロレス 祐子	○		非常勤
基盤英語	マーシェソ ジェラード	○		非常勤
基盤英語	マクドナルド アンガス	○		非常勤
基盤英語	マックス ハトリ マシュー	○		非常勤
基盤英語	三宅 恵美	○		非常勤
基盤英語	山内 暁彦	○		総科
基盤英語	山田 紀美	○		非常勤
基盤英語	山田 仁子	○		総科
基盤英語	吉田 文美	○		総科
基盤英語	ラックストン ロバート	○		非常勤
基盤英語	長崎 ラサ	○		非常勤

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基盤英語	マッケンディ タニヤ	○		総科
主題別英語	石田 和枝		○	非常勤
主題別英語	内山 八郎		○	教養教育
主題別英語	小笠原 麻衣子	○	○	非常勤
主題別英語	カイザー メイガン レネー		○	総科
主題別英語	坂田 浩	○	○	高等教育
主題別英語	谷川 奈緒子		○	非常勤
主題別英語	中島 浩二		○	総科
主題別英語	ニムチャック アーレン	○	○	非常勤
主題別英語	服部 恒太		○	総科
主題別英語	パトリック ジェフリー		○	非常勤
主題別英語	早内 ジュディス		○	非常勤
主題別英語	樋口 友乃	○	○	総科
主題別英語	フェネリー マーク		○	非常勤
主題別英語	藤滝 香織	○	○	教養教育
主題別英語	フロスト ダニエル		○	非常勤
主題別英語	フロレス デイビッド		○	非常勤
主題別英語	フロレス 祐子		○	非常勤
主題別英語	マーシェソ ジェラード		○	非常勤
主題別英語	マクドナルド アンガス	○		非常勤
主題別英語	マドックス ノトリ マシュー		○	非常勤
主題別英語	三宅 恵美	○	○	非常勤
主題別英語	山内 暁彦		○	総科
主題別英語	山田 紀美		○	非常勤
主題別英語	山田 仁子	○	○	総科
主題別英語	山森 直人		○	非常勤
主題別英語	吉田 文美		○	総科
主題別英語	ラックストン ロバート		○	非常勤
主題別英語	マッケンディ タニヤ		○	総科
主題別英語	長崎 ラサ		○	非常勤
発信型英語	内山 八郎	○	○	教養教育
発信型英語	小笠原 麻衣子	○	○	非常勤
発信型英語	カイザー メイガン レネー		○	総科
発信型英語	坂田 浩		○	高等教育
発信型英語	谷川 奈緒子	○	○	非常勤
発信型英語	ニムチャック アーレン	○	○	非常勤
発信型英語	服部 恒太	○	○	総科
発信型英語	パトリック ジェフリー	○	○	非常勤
発信型英語	早内 ジュディス	○	○	非常勤
発信型英語	林 ひかり	○		非常勤
発信型英語	藤滝 香織		○	教養教育
発信型英語	フロスト ダニエル	○	○	非常勤
発信型英語	フロレス デイビッド	○	○	非常勤
発信型英語	フロレス 祐子	○	○	非常勤
発信型英語	マーシェソ ジェラード		○	非常勤
発信型英語	マクドナルド アンガス	○	○	非常勤
発信型英語	マドックス ノトリ マシュー	○	○	非常勤
発信型英語	三宅 恵美		○	非常勤
発信型英語	ラックストン ロバート		○	非常勤
発信型英語	マッケンディ タニヤ		○	総科

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基盤英語	石田 メグ	○		非常勤
基盤英語	ポーブ クリストファー	○		非常勤
基盤英語	マクドナルド アンガス	○		非常勤

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
基盤英語	マドックス ノトリ マシュー	○		非常勤
主題別英語	石田 メグ		○	非常勤
主題別英語	ポーブ クリストファー		○	非常勤
主題別英語	マクドナルド アンガス		○	非常勤
主題別英語	マドックス ノトリ マシュー		○	非常勤
発信型英語	パトリック ジェフリー	○	○	非常勤
発信型英語	ポーブ クリストファー	○		非常勤

2) ドイツ語

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
ドイツ語入門	井戸 慶治	○	○	非常勤
ドイツ語入門	今井 晋哉	○	○	非常勤
ドイツ語入門	今崎 高秀	○	○	非常勤
ドイツ語入門	東風谷 太一	○	○	総科
ドイツ語入門Ⅱ	東風谷 太一	○		総科
ドイツ語入門	ヘルベルト ヴォルフガング	○	○	総科
ドイツ語入門	依岡 隆児	○	○	総科
ドイツ語入門Ⅱ	依岡 隆児	○		総科
ドイツ語入門Ⅰ	シートゲス オラフ	○		総科
ドイツ語入門	シートゲス オラフ	○	○	総科
ドイツ語初級Ⅱ	東風谷 太一		○	総科
ドイツ語初級Ⅱ	依岡 隆児		○	総科
ドイツ語初級Ⅰ	シートゲス オラフ		○	総科

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
ドイツ語入門	依岡 隆児	○	○	総科

3) フランス語

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
フランス語入門	田島 俊郎	○	○	非常勤
フランス語入門Ⅰ	田島 俊郎	○		非常勤
フランス語入門Ⅱ	田島 俊郎	○		非常勤
フランス語入門Ⅰ	田中 佳	○		総科
フランス語入門Ⅱ	田中 佳	○		総科
フランス語初級Ⅰ	田島 俊郎		○	非常勤
フランス語初級Ⅱ	田島 俊郎		○	非常勤
フランス語初級Ⅰ	田中 佳		○	総科
フランス語初級Ⅱ	田中 佳		○	総科

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
フランス語入門	田島 俊郎	○	○	非常勤

4) 中国語

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
中国語入門	新田 元規	○	○	総科
中国語入門Ⅱ	新田 元規	○		総科
中国語入門Ⅱ	荒武 達朗	○		総科
中国語入門	大村 和人	○	○	教養教育
中国語入門Ⅱ	大村 和人	○		教養教育
中国語入門	施 国恩	○	○	非常勤
中国語入門Ⅰ	施 国恩	○		非常勤

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
中国語入門	趙 紅	○	○	非常勤
中国語入門	鄭 嵐	○	○	非常勤
中国語入門 I	鄭 嵐	○		非常勤
中国語初級 II	新田 元規		○	総科
中国語初級 II	荒武 達朗		○	総科
中国語初級 II	大村 和人		○	教養教育
中国語初級 I	施 国恩		○	非常勤
中国語初級 I	鄭 嵐		○	非常勤

【理工学部夜間主コース】

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
中国語入門	鄭 嵐	○	○	非常勤

5) 日本語（留学生対象）

授 業 題 目	主担当教員	前期	後期	所 属
日本語 1	遠藤 かおり	○		非常勤
日本語 2	遠藤 かおり		○	非常勤
日本語 5	橋本 智	○		高等教育
日本語 6	橋本 智		○	高等教育
日本語 3	藤原 由紀子	○		高等教育
日本語 4	藤原 由紀子		○	高等教育
日本語 7	藤原 由紀子	○		高等教育
日本語 8	藤原 由紀子		○	高等教育
コミュニケーションのための日本語 1	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 2	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 3	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 4	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 5	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 6	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 7	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 8	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 9	橋本 智	集中	集中	高等教育
コミュニケーションのための日本語 10	橋本 智	集中	集中	高等教育

第 6 章

規 則 集

1. 徳島大学教養教育履修規則 95
2. 徳島大学語学マイレージ・プログラム実施要領 98

第6章 規則集

1 徳島大学教養教育履修規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、徳島大学学則（以下「学則」という。）第31条の規定に基づき、教養教育の授業科目、単位、履修方法、試験等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 教養教育として開設する授業科目の区分は、教養科目群、創成科学科目群、基礎科目群及び外国語科目群とする。

(開設授業科目)

第3条 前条の各区分で開設する授業科目は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教養科目群
歴史と文化、人間と生命、生活と社会、自然と技術、ウェルネス総合演習
 - (2) 創成科学科目群
グローバル科目、イノベーション科目、地域科学科目、医療基盤科目
 - (3) 基礎科目群
S I H道場、高大接続科目、基礎数学、基礎物理学、基礎物理学実験、基礎化学、基礎化学実験、基礎生物学、基礎生物学実験、情報科学
 - (4) 外国語科目群
英語、初修外国語
- 2 前項に規定するもののほか、外国人留学生に対しては、日本事情及び日本語を置く。
- 3 授業科目に授業題目を設ける。
- 4 授業題目、授業概要等の授業計画等については、別に定める。

(単位の基準等)

第4条 前条の授業科目の単位数は、次の各号に定めるところにより計算する。

- (1) 講義は、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習及び実験は、30時間の授業をもって1単位とする。

(履修要件)

第5条 教養教育として履修する授業科目、単位数等の履修要件は、徳島大学教養教育専門委員会（以下「専門委員会」という。）における協議・調整を経て、各学部において定めるものとする。

(外国人留学生の履修の特例)

第6条 外国人留学生が、日本事情及び日本語の単位を修得したときの取扱いは、別に定める。

(履修手続)

第7条 学生は、学期の初めに第3条第4項に規定する授業計画から履修しようとする授業題目を選択して、別に定めるところにより履修の届出をしなければならない。

(授業科目の成績評価及び単位の認定)

第8条 授業科目の成績の評価は、試験、学習報告、学習状況等によって担当教員が行うものとし、合格者に対しては、学生が所属する学部の教授会の議を経て、当該学部長が単位を認定する。

(試 験)

第9条 試験は、原則として学期末に行う。ただし、演習、実験及び実習については、試験を行わないことがある。

2 試験を受けるには、授業時間数の3分の2以上出席していなければならない。

(成績評価等)

第10条 成績は、100点をもって満点とし、秀(90点以上)、優(80点以上)、良(70点以上)、可(60点以上)及び不(59点以下)の評語をもってあらわし、秀、優、良及び可を合格とし、不を不合格とする。

2 秀、優、良、可及び不の評価基準は、次の表のとおりとする。

評語	評 価 基 準
秀	科目の到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
優	科目の到達目標を十分に達成している。
良	科目の到達目標を達成している。
可	科目の到達目標を最低限達成している。
不	科目の到達目標の項目の全て又はほとんどを達成していない。

3 前2項の規定にかかわらず、入学前の既修得単位、放送大学の修得単位、外国語技能検定試験等による単位により判定する授業科目の成績は、認の評語をもってあらわすことができるものとし、合格とする。

(追試験及び再試験)

第11条 病気その他やむを得ない事情のため、定められた期日に受験できなかった者は、願い出により追試験を受けることができる。

2 試験を受けて合格しなかった者に対しては、再試験を行うことがある。

(既修得単位等の認定)

第12条 学則第34条の5の規定による入学前の既修得単位の教養教育に関する単位としての認定は、専門委員会の予備審査に基づき、各学部教授会の議を経て、各学部長が行う。

(留学及び他の大学又は短期大学において修得した単位の認定等)

第13条 学則第27条の2の規定により外国の大学又は短期大学に留学を許可された者及び第34条の2の規定により他の大学又は短期大学の授業科目の履修を許可された者の当該大学又は短期大学において修得した単位の教養教育に関する単位としての認定は、前条の規定を準用する。

2 学則第34条の3の規定による大学以外の教育施設等における学修の教養教育に関する単位としての認定は、前条の規定を準用する。

(雑 則)

第14条 この規則に定めるもののほか、教養教育の実施に関し必要な事項は、専門委員会が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 徳島大学全学共通教育履修規則（平成5年規則第1100号）は廃止する。
- 3 平成28年3月31日に本学に在学する学生、平成28年度に歯学部歯学科の2年次に編入学する者並びに平成28年度及び平成29年度に医学部保健学科及び工学部各学科の3年次に編入学する者の全学共通教育科目の履修については、なお従前の例による。この場合において、履修する授業科目が教養教育院の開設する授業科目に掲げられているときは、当該授業科目の履修をもって全学共通教育科目の履修に代えることができるものとし、履修については各学部で定める。
- 4 前項前段の場合において、廃止前の徳島大学全学共通教育科目履修規則第12条及び第13条の規定に基づき行う単位の認定において必要な予備審査は、教養教育院教授会が行うものとする。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 令和元年度に歯学部歯学科及び生物資源産業学部生物資源産業学科の2年次に編入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 令和元年度に医学部保健学科及び理工学部理工学科の3年次に編入学した者並びに令和2年度に医学部保健学科及び理工学部理工学科の3年次に編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度以前に入学した者並びに令和3年度に歯学部歯学科及び生物資源産業学部生物資源産業学科の2年次に編入学する者並びに令和3年度及び令和4年度に医学部保健学科及び理工学部理工学科の3年次に編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和3年11月17日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2 徳島大学語学マイレージ・プログラム実施要領

平成30年1月16日
学長制定

(目的)

第1条 この要領は、徳島大学（以下「本学」という。）の学部教育において学生に一定水準以上の語学力、コミュニケーション力及び自己主導型学修力を身に付けさせるため、徳島大学語学マイレージ・プログラム（以下「マイレージ・プログラム」という。）の実施について必要な事項を定めるものとする。

(マイレージ・プログラム)

第2条 マイレージ・プログラムは、語学に関して、学生が修得した内容を客観的に評価する。

(対象者)

第3条 マイレージ・プログラムの対象者は、本学の学部学生とする。

(マイレージポイント)

第4条 第2条の評価は、学生が修得した内容について、次の各号に掲げる事項ごとにマイレージポイントに数値化することにより行う。

- (1) 教養教育科目のうち語学教育に関し各学部が指定する授業科目の成績
- (2) 専門教育科目のうち語学教育に関し各学部が指定する授業科目の成績
- (3) 外国語技能検定試験の成績
- (4) 教養教育院語学教育センターが実施する語学教育プログラムの履修
- (5) 語学留学の実績
- (6) 各学部が実施する語学教育プログラムの履修
- (7) その他本学がマイレージ・プログラムの対象として認めた事項

(マイレージレベル)

第5条 学部長は、学生に対して、取得したマイレージポイントの合計に応じて次項に定めるマイレージレベルを付与する。

2 前項のマイレージレベルの区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) プラチナクラス
- (2) ゴールドクラス
- (3) ブロンズクラス
- (4) フリークエントクラス
- (5) ビジタークラス

(マイレージポイントの認定)

第6条 学部長は、学生が次の各号に該当する場合は、学生の申し出に基づき、修得単位及び学修をマイレージポイントとして認定することができる。

- (1) 学則第34条の2の規定により他の大学又は短期大学において単位を修得したとき。
- (2) 学則第34条の3の規定により大学以外の教育施設等において学修したとき。
- (3) 学則第34条の4の規定により外国の大学又は短期大学において単位を修得したとき。
- (4) 学則第34条の5の規定により既修得単位の認定を受けたとき。

(表 彰)

第7条 学部長は、マイレージレベルが上位にある学生に対し、学部長表彰を行うことができる。

2 学部長は、第5条第2項に定めるマイレージレベルにおいてプラチナクラスを付与された学生のうちから特に優秀な成績を修めた者を、学長表彰の対象として推薦することができる。

(証明書の交付)

第8条 学部長は、学生から当該学生の語学能力について証明の願い出があったときは、別記様式により証明書を交付するものとする。

(事 務)

第9条 マイレージ・プログラムに関する事務は、学務部教育支援課及び各学部事務部が行う。

(雑 則)

第10条 この要領に定めるもののほか、マイレージ・プログラムの実施について必要な事項は、学部長及び教養教育院長が別に定める。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から実施し、平成30年度入学者から適用する。ただし、歯学部歯学科の2年次に編入学する者については平成31年10月1日から、医学部保健学科及び理工学部理工学科の3年次に編入学する者並びに生物資源産業学部生物資源産業学科に入学する者については平成32年4月1日から、生物資源産業学部生物資源産業学科の2年次に編入学する者については平成33年4月1日から、それぞれ適用する。

附 則 (平成31年3月28日改正)

この要領は、平成31年4月1日から実施する。

第7章

教養教育に関わる学生生活

1. 学生窓口と取扱時間	101
(1) 教養教育履修学生の窓口事務	101
(2) 2年生以降の窓口事務	101
(3) 取 扱 時 間	101
2. 学生への連絡方法（掲示及び教務システム）	101
3. 学 生 証	102
4. 各種証明書の発行	102
5. 講義室の使用	104
6. 授 業 料	104
7. 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付奨学金）	104
8. 奨 学 金	105
9. 健康管理関係	105
10. 課外活動その他学生生活に関する事	105
11. 交通事故の防止	105
12. そ の 他	105
(1) 学生の呼び出し等について	105
(2) 郵便物について	105
(3) 喫 煙について	105
(4) 遺失物及び拾得物について	106
(5) 交通事故・盗難について	106
(6) 携帯電話等の使用について	106
(7) エレベーターの使用について	106
(8) そ の 他	106

第7章 教養教育に関わる学生生活

1. 学生窓口と取扱時間

(1) 教養教育履修学生の窓口事務

教育支援課教養教育係（教養教育4号館1階）では、主として1年生から2年生（前期）までの教養教育履修学生の窓口として、次の事務を取り扱っています。本履修の手引108ページ記載の配置図で位置を確認してください。

- 教養教育の教育課程に関すること。
- 教養教育の授業及び試験に関すること。
- 教養教育の成績に関すること。
- 教養教育に係る講義室の管理に関すること。
- その他教養教育に関すること。

(2) 2年生以降の窓口事務

2年生後期（医学部医学科、歯学部歯学科は前期）からの窓口事務は、所属学部の学務（教務）係が担当します。所属学部の履修の手引等で位置を確認してください。ただし、教養教育を引き続き履修する者に係る履修手続き等は、教育支援課教養教育係が担当します。

2年生以降の窓口事務

所属学部・学科	担当係	地区
総合科学部	学務係	常三島地区
医学部 医学科	第一教務係	蔵本地区
医科栄養学科	〃	蔵本地区
保健学科	第二教務係	蔵本地区
歯学部	学務係	蔵本地区
薬学部	学務係	蔵本地区
理工学部	学務係	常三島地区
生物資源産業学部	学務係	常三島地区

(3) 取扱時間

業務の取扱時間は、土・日・祝祭日を除き次のとおりです。

昼間コース学生 : 8:30～17:15

夜間主コース学生 : 8:30～21:30（金曜日は17:50まで）

2. 学生への連絡方法（掲示及び教務システム）

大学が、教養教育履修学生に対して行う一切の連絡・通知・告示等は、すべて教務システム及び掲示板（教養教育4号館1階のエレベーター前）により行います。

掲示板には、「教養教育履修に関する事項」のほか、「授業時間割や教室変更」「休講通知」「試験や補講の実施及び成績交付」「追試・再試の実施」「奨学金の申請・許可」「授業料の納付」「授業料免除の申請・許可」「健康診断の実施」「学生呼出」など学生生活に関わるものが掲示されます。

また、教務システムでは、休講・補講などの情報のほか、教員から直接発信されるメッセージ等、掲示板に掲示されない情報も発信されます。授業の諸連絡はmanabaから配信されることもあります。

教養教育掲示板及び教務システムを毎日確認しましょう。

3. 学 生 証

学生の身分を証明するもので、学期末試験の受験、各種証明書の発行や図書館の利用など、すべてに必要ですので常に携帯してください。

汚損・紛失等の理由で再交付が必要な場合は、総合科学部・理工学部・生物資源産業学部の学生は学務部教育支援課教務情報係で、医学部・歯学部・薬学部の学生は所属学部の教務係・学務係・学生係（教養教育の授業を受講している1、2年生は、学務部教育支援課教務情報係でも可）で学生証再交付願により手続きを行ってください。

なお、期間更新、氏名変更等による再交付は無料ですが、汚損又は紛失による場合は有料（1,100円）となります。

なお、学生証に記載されている内容は次のとおりです。

1 0	2 5	0 4	0 0 1	8
学部コード	入学年度	学科コード	一連番号	チェックディジット

総合科学部	1 0	社会総合科学科	0 5	
医学部	2 0	医学科	0 1	
		医科栄養学科	0 2	
		保健学科		
		看護学専攻	0 3	
		放射線技術科学専攻	0 4	
		検査技術科学専攻	0 5	
歯学部	3 0	歯学科	0 1	
		口腔保健学科	0 2	
薬学部	4 0	薬学科	0 4	
				[夜間主コース]
理工学部	6 1	理工学科	0 1	理工学科 2 1
生物資源産業学部	7 0	生物資源産業学科	0 1	

4. 各種証明書の発行

(1) 証明書発行機で交付される証明書

「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」、「在学証明書」、「成績証明書」、「卒業見込証明書」「健康診断証明書」は、『証明書発行機』により交付されます。

証明書発行機の利用には、「学生証」が必要です。

※証明書発行機の設置場所

常三島地区：教養教育4号館1階、理工学部共通講義棟1階

蔵本地区：医学基礎A棟（第一教務係）1階、薬学部棟1階

① 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）

学割証は、学生個人の自由な権利として使用することを前提としたものでなく、修学上の経済的負担の軽減と、学校教育の振興に寄与することを目的として設けられた制度で、原則として次の目的をもって鉄道旅行する場合に限り、年間10枚を限度として発行されます。ただし、JRの片道営業キロが101キロ以上の旅行でなければ利用できません。

* 10枚を超えて使用する必要がある場合は、所属学部の学務（教務）係または教育支援課教務情報係へ申請してください。

【使用目的】

- ・ 休暇等による帰省
- ・ 正課の教育活動（実習など）
- ・ 課外活動
- ・ 就職又は進学のための受験等
- ・ 学校が認めた見学又は行事への参加
- ・ 傷病の治療等
- ・ 父母等との旅行

【使用上の注意】

- ・ 学割証は、他人に譲渡してはならない。
- ・ 有効期限は、発行日から3か月以内であるので、有効期間を厳守すること。
- ・ 使用に際しては必ず学生証を携帯することとし、申請目的以外の目的で使用しないこと。
- ・ 学割証の不正使用に対しては、JRから、本人はもちろんのこと全学生に対する学割証発行停止等の措置を取られることがあるので、絶対に慎むこと。

② 在学証明書

③ 成績証明書

④ 卒業見込証明書

⑤ 健康診断証明書

(2) 窓口で交付される証明書

通学証明書は、教育支援課教務情報係（教養教育4号館1階）で交付されます。

通学証明書は、通学のため定期券を購入するために発行するものです。通学定期券使用時は、学生証を必ず携帯してください。また、通学以外のアルバイト等には使用できません。

【申請】教育支援課教務情報係に備えてある「通学証明書交付願」に必要事項を記入の上、申し込んでください。

【交付】申請日の次の日から3日後（土曜・日曜・祝祭日は除く。）に教育支援課教務情報係で発行されるので、受け取ってください。

(3) コンビニ発行サービス（有料）

各種証明書の発行について、学内の証明書自動発行機での発行に加えて、コンビニエンスストアで一部の証明書が発行できるサービス（有料）を開始しています。最寄りのコンビニエンスストアで証明書が取得可能ですので、ご利用ください。発行方法などの詳細については、ホームページに掲載しています。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/process/convenience/>

5. 講義室の使用

教養教育4号館の講義室は、授業及び大学の行事等に差し支えない場合で、学生が課外活動等で20名以上の会議等を行う場合に限り、使用することができます。希望する場合は、次により申請してください。

【申請】 教育支援課教養教育係で空き講義室を確認の上、使用日の3日前（土・日及び祝祭日は除く。）までに次により教育支援課教養教育係に願い出てください。

- 公認の学生団体又は大学祭実行委員会等（学生委員会で承認されたもの）が講義室を使用する場合は、所定の「講義室使用許可願」に必要事項を記入の上、学生支援課学生支援係長の認印を得るとともに所定の「集会者名簿」を添え、教育支援課教養教育係へ願い出てください。
- クラス単位で講義室を使用する場合は、所定の「講義室使用許可願」に必要事項を記入の上、所属学部の指導教員又は学務（教務）係長の認印を得るとともに所定の「集会者名簿」を添え教育支援課教養教育係へ願い出てください。

【許可】 使用を許可したときは、使用許可証を交付します。講義室の使用時間は特に許可された場合を除き、月曜日から木曜日の18時から20時までとし、使用に当たっては次のことに留意してください。

【使用上の注意】

- ① 使用後は、整理・整頓に留意し、戸締まりや後片付けをすること。
- ② 火気の使用及び喫煙は禁止する。
- ③ 借りた物品は、その日のうちに速やかに教育支援課教養教育係へ返却すること。

6. 授 業 料

授業料は前期（4月から9月）分を5月末日までに、後期（10月から翌年3月）分を11月末日までに納入しなければなりません。

なお、申し出により、前期分納入の際、窓口納付の場合は後期分もまとめて納入することができます。

授業料の納入方法として、本学では、原則「口座振替制度」を実施しています。口座振替制度とは、指定金融機関（阿波銀行・三菱UFJ銀行・四国銀行・徳島大正銀行・ゆうちょ銀行）に開設された学生・保護者または保証人名義の預金口座から、前期・後期ごとに自動引落が行われる納入方法で、手数料は不要です。

前期授業料は5月27日に、後期授業料は11月27日（当該日が休日の場合は、直後の金融機関の営業日）に口座振替を行います。

正当な理由なく納付を怠り、催告しても、なお納付しない場合は、除籍となりますので期限内に必ず納付してください。

現金納付の場合は以下の窓口へ現金を持参してください。

- 総合科学部、理工学部、生物資源産業学部学生：経理部常三島会計課経理係
（理工学部共通講義棟1F）
- 医学部、歯学部、薬学部学生：経理部蔵本会計課経理係（医学基礎A棟1F）

7. 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付奨学金）

授業料の免除または減免（授業料等減免）と給付奨学金の支給の2つの支援からなる国の制度です。受付期間等詳細については、本学ホームページ、教務システムにてお知らせします。

8. 奨 学 金

日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間奨学金に関することは、「学生生活の手引」を参照してください。

9. 健康管理関係

定期健康診断の実施やキャンパスライフ健康支援センターの利用及び学生教育研究災害傷害保険に関することは「学生生活の手引」を参照してください。

10. 課外活動その他学生生活に関すること

これらに関することは、「学生生活の手引」を参照してください。

11. 交通事故の防止

交通事故が社会的に大きな問題となっていますが、本学学生の中にも、その当事者となり、身体的、精神的な打撃を受けて、勉学に支障を来している人もいます。また、学内においても、自動車、オートバイ及び自転車の無秩序な駐車等が原因の事故、並びに市道への飛び出しによる出会い頭の衝突事故が多発しており、その対策として、下記により学内の交通を規制しています。お互いに迷惑を掛けないう、自主的で規律のある行動を期待しています。

- 自動車及びオートバイのキャンパス内への乗り入れ・走行は禁止します。
- 総合科学部第一駐車場の使用は、許可車（夜間主コース学生等許可された者のみ）に限ります。
- オートバイ及び自転車は、必ず指定された場所へ置いてください。
- 総合科学部と理工学部との間の市道を走行するときには、特に次の点に注意してください。
 - ・市道での自動車・オートバイ走行は、制限速度を遵守するとともに、正門等からの自転車や学生の飛び出しにも十分注意してください。
 - ・市道での自転車走行や歩行は車等に注意し、道路端を一行に走行・歩行してください。
 - ・オートバイあるいは自転車の駐輪場への出入りの際は、必ず一時停止をして、十分に安全確認をしてください。
 - ・市道への駐車は交通の妨害となり、危険なので絶対にしないでください。

12. そ の 他

(1) 学生の呼び出し等について

電話による学生の呼び出しや住所・電話番号の照会には応じることはできませんので、保護者や知人に十分周知しておいてください。

(2) 郵便物について

学生個人あての郵便物等は、原則として取り扱いできません。

(3) 喫煙について

構内は全面禁煙です。喫煙は屋外の指定された場所で行ってください。なお、喫煙の際にはすいがらを灰皿に捨て、火気には十分に注意してください。

(4) 遺失物及び拾得物について

教養教育棟における遺失物及び拾得物は、教育支援課教養教育係に速やかに届けてください。
「教務システム」から落とし物の一覧を確認することができます。

(5) 交通事故・盗難について

交通事故、盗難被害の当事者になった場合は、速やかに届け出てください。体育館、総合運動場での盗難には十分注意しておいてください。

(6) 携帯電話等の使用について

携帯電話等は、授業中は電源を切るか、マナーモードにしてください。

(7) エレベーターの使用について

身体に障がいをもつ学生のため、教養教育4号館及び6号館にエレベーターを設置してあります。
ケガや病気等やむを得ない場合を除き、一般学生の使用は遠慮してください。

(8) そ の 他

大声でしゃべったり、大きな音を立てるなど、他の人に迷惑となる行為は慎んでください。

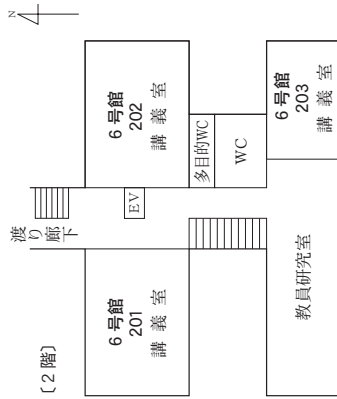
第 8 章

常三島キャンパス

総合科学部建物配置図（教養教育棟を含む）	108
理工学部建物配置図	108
教養教育 4、5、6 号館	109
総合科学部 1、2、3 号館	110
理工学部共通講義棟（K 棟）	110
総合運動場	111

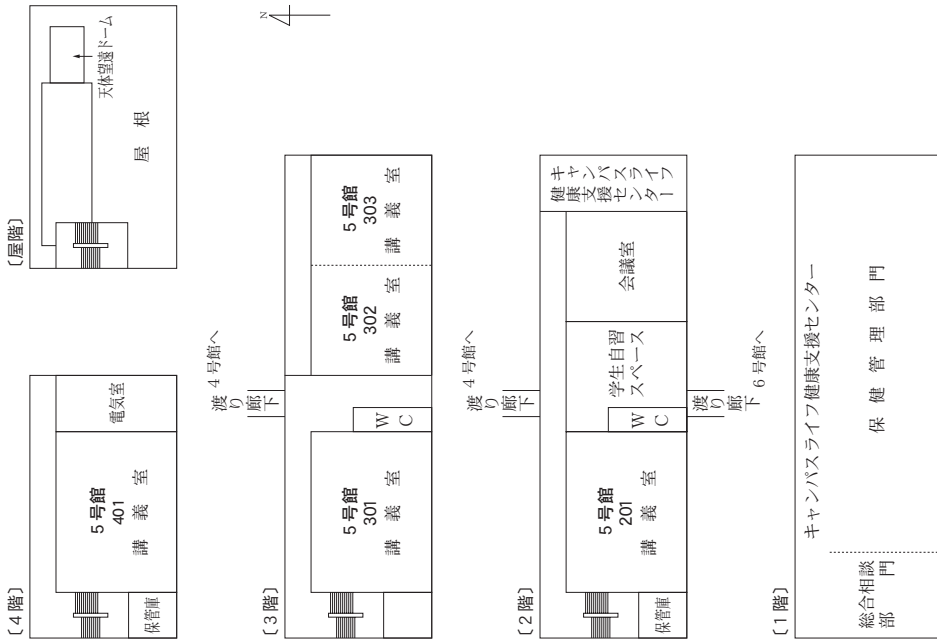
教養教育6号館

教養教育講義室などがあります。



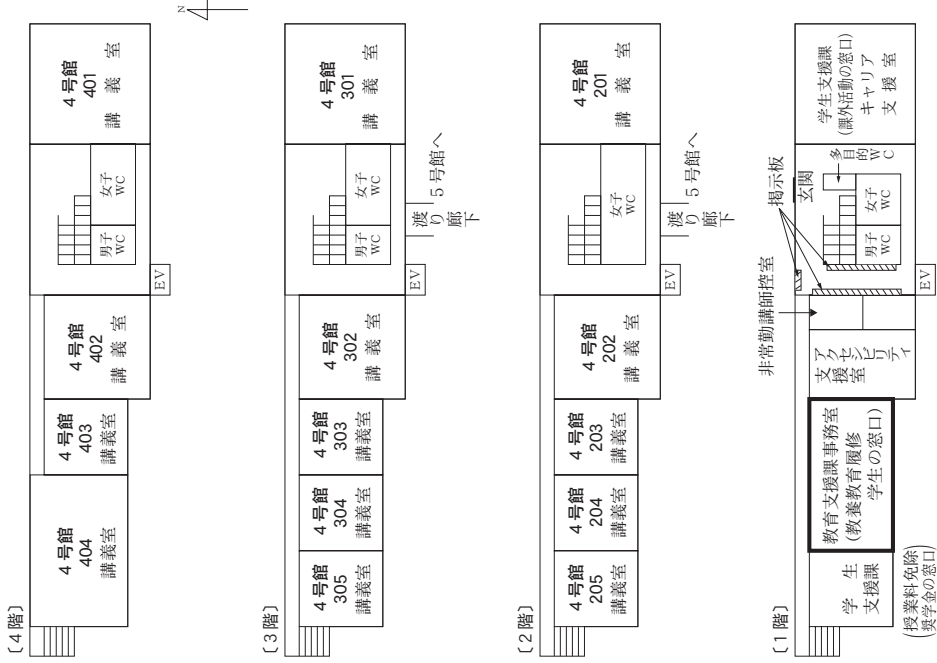
教養教育5号館

教養教育講義室（学生自習スペースを含む）と
キャンパスライフ健康支援センターがあります。



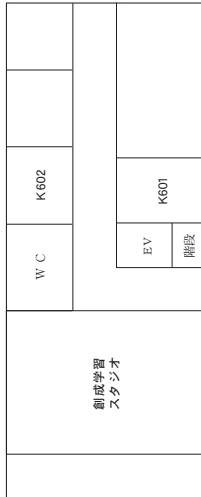
教養教育4号館

教養教育講義室と教養教育の窓口、授業料免除・
奨学金の窓口、キャリア支援室などがあります。

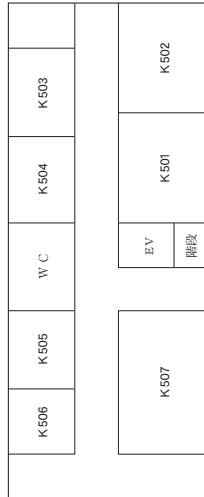


理工学部共通講義棟 (K棟)

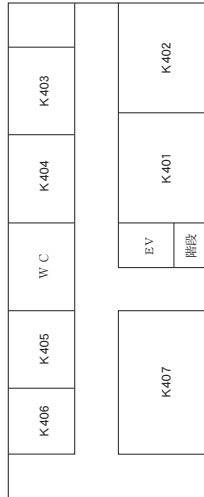
〔6階〕



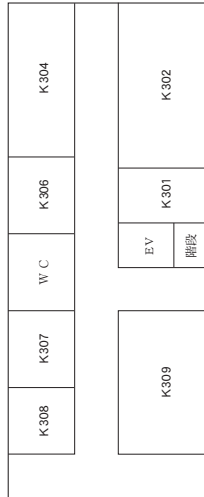
〔5階〕



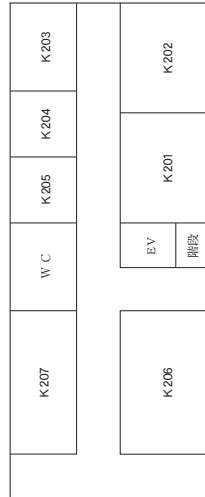
〔4階〕



〔3階〕

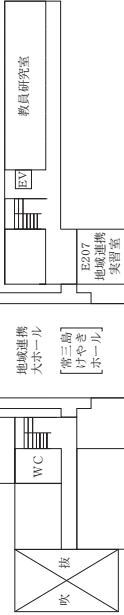


〔2階〕



総合科学部 2号館

〔2階〕



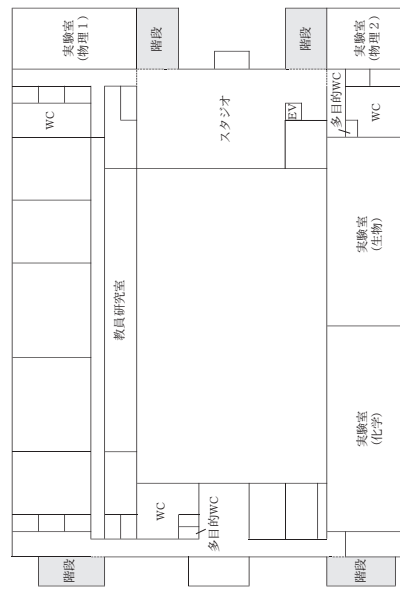
〔1階〕



総合科学部 3号館

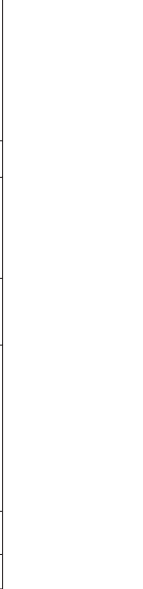
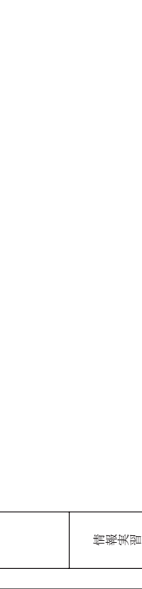
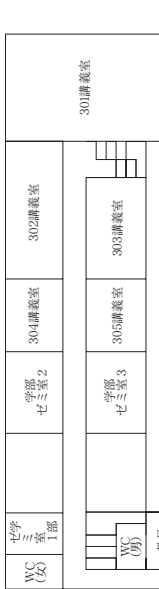
実験室などがあります。

〔1階〕



総合科学部 1号館

〔3階〕



●徳島大学総合運動場へのアクセス



2025 (令和7) 年度 教養教育履修の手引

徳島大学教養教育院

〒770-8502

徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-7308

E-mail:kykyotuk@tokushima-u.ac.jp

<https://www.las.tokushima-u.ac.jp>



教養教育院ロゴマーク

ロゴマークとしてバンジーの花を用いました。
バンジーの名称は、フランス語の“思う、考える”を意味する
バンセに由来します。
平成20年3月に全学共通教育センターのロゴとして採用され、
平成28年4月から教養教育院ロゴマークとして継承しました。

学 部	<input type="text"/>
学科・専攻	<input type="text"/>
学 生 番 号	<input type="text"/>
氏 名	<input type="text"/>

